

「カンタ・モルゲン」

于曉飛

はじめに

このイマカン「カンタ・モルゲン」は、ホジェン族の尤金良氏がホジェン語で語ったものをテキスト化したものである。早くにテキスト化にとりかかり、不明な点を尤金良氏に再確認し始めていた。しかし、別のイマカン「シタ・モルゲン」を採録してからは、そのテキスト化におわれ、「カンタ・モルゲン」の再確認が進んでいなかった。尤金良氏は、2003年に逝去され、このイマカンの確認ができなくなった。今回のテキストは、尤金良氏の従兄妹の尤翠玉氏に協力をお願いして確認し、完成したものである。

1. 謡手と採録時期

「カンタ・モルゲン」の採録は、1999年の年末から2000年の年始約10日間、ハルビンの尤金良氏の自宅で行なった。

尤金良氏は、ホジェン族男性（2000年初 68才）で、「シタ・モルゲン」の謡手でもある。現存する最後のイマカン謡手であった。黒龍江省放送局が「最後のイマカン歌手」という番組を企画し、収録を予定だったが、尤氏は2003年5月20日72歳癌で急逝した。

2. 確認時期と確認者

2004年の夏と、2005年新年の2回に分けて、街津口の尤翠玉氏の自宅で確認作業を行った。尤翠玉氏は1927年（兎年）旧暦8月10日に生まれ、2004年当時77歳、現在ホジェン語を話せる第一人者である。彼女の父親は尤金良氏の父親と兄弟で、尤志賢氏の妻は双子の姉妹の姉である。尤翠玉氏の話では、結婚して夫の母と一緒に暮したが、夫の母は漢語ができずホジェン語を使うしかなく、そのため完全なホジェン語を覚えた。同時に夫の母からホジェン族の生活、習慣などを習い、獲物の皮、魚の皮で服を作り、山菜の採集、魚肉獣肉の調理と保存等生活の技術を習得した。今でも魚の皮で服を作る。

尤翠玉氏は、尤金良氏の録音を聞いて、「子どもの時、よく河の北に柴を刈りにいった。夜、お爺さん達は一緒になって、イマカンを謡っていた。謡い方は尤金良氏のように、謡ったり語ったりしていた。内容は狩猟、漁と英雄の話だった」と語ってくれた。

「カンタ・モルゲン」の前半の確認作業は、2004年9月2日から6日にかけて、後半の確認作業は2005年1月3日から7日にかけて行った。尤翠玉氏は77歳で風邪をこじらせ肺炎にかかり点滴治療中であつたが、作業に協力してくれた。尤金良氏の録音を聞きすぐに中国語で意味を言ってくれた。尤金良氏の発音の間違いを指摘したり、意味の通じない所を訂正した。今回イマカン「カンタ・モルゲン」のテキスト化が行えたのは、尤翠玉氏のお陰である。ここに感謝の意を表したい。

3. 「カンタ・モルゲン」の伝承について

イマカン「カンタ・モルゲン」は、「同江市ホジェン族尤金良氏が、小さい時伯父のイマカン歌手尤貴連氏が語り歌ったものを、その印象と記憶を元に1995年夏に、記憶を整理して漢語で

書いた」と漢語版「坎特莫日根」に附記している。今回は、この漢語版の「坎特莫日根（カンタ・モルゲン）」を元にホジェン語で語り謡ったものを、ホジェン語のままテキスト化したものである。漢語の表現とホジェン語の表現を比較してみると、説明的平易なホジェン語の表現になっているところが見られる。

1930年代に凌純声氏が採集した「葛門主格格（ガメンジュ娘）」と、尤金良氏の「坎特莫日根（カンタ・モルゲン）」と比較してみると、内容は殆ど同じである。主人公3人の名が下表のように相違しているだけである。

坎特莫日根	葛門主格格	注
坎特 Kante	阿麻奇坎 Amacikan	主人公
索拉克 Solaki	葛門主 Gemenju	狐仙、主人公の妻
安特 Ante	多尔坎 Dorkan	主人公の親戚（兄）

他の登場人物28名の名は同じである。

「葛門主格格（ガメンジュ娘）」には、謡はなく、「坎特莫日根（カンタ・モルゲン）」には謡がある。凌純声氏は、「採集は内容を主として、謡は採録しなかった」と記している。

これから、尤金良氏の「坎特莫日根」の成立を考えてみると、

- ① 尤金良氏は小さいころ尤貴連氏のイマカン聞いた、
- ② 恐らく主人公の名前はカンタ、ソラカであった。
- ③ しかし、話の詳細は、覚えていない。印象だけ記憶にある。もし、主人公以外の登場人物28名の一部の名前が別に記録してあったら、きっと名前が異なっていただろう。
- ④ 凌純声氏の「葛門主格格」には、謡は記録されていない。尤金良氏はこの物語に、謡の部分をつけて脚色し、イマカンを復元したと思われる。
- ⑤ 今回、漢語版の「坎特莫日根」を元に、実際にホジェン語でイマカンを演じた。

凌純声氏も1930年代に採集した19編の物語（イマカンとは呼んでいない）の内、1編「一新薩満（イーシン・シャーマン）」は、満州語で書かれたものを見ながら語られたものであると記している。

尤金良氏は既に逝去されたので、確かめる術はいまない。

4. テキストの表記法

テキストの表記で使用した文字は、下記の母音と子音である。子音の発音方法は下表に示す。

母音：a i u e o

子音：b p m f d t n l g k x r n g s c y w

		両唇音	歯茎音	歯茎音	後部歯茎音	そり舌音	軟口蓋音
破裂音	無気	b	d	s	j	j	g
破裂音	有気	p	t		c	c	k
鼻音		m	n				ng
摩擦音		f		s	s sy	sy	x
流音			l			r	

5. テキストの形式と注釈について

① テキストの形式

ホジェン語の表記は、筆者が提案した表記法を用いて書いた。

第一行目には、ホジェン語の文章を書き、

第二行目には、日本語の訳をつけた。

第三行目には、尤金良氏が、「伊玛玛（上巻）」に発表した漢語を併記した。

（必ずしも、ホジェン語の中国語訳にはなっていない）

② 脚注

訂正箇所と注釈箇所は、本文のホジェン語を四角で囲い番号をつけ、ページ下に注釈を入れた。
脚注に現れる A は謠手尤金良氏であり、B は今回テキストを確認してくれた尤翠玉氏である。

Imakan "Kante Mergen"
イマカン「カンタ モルゲン」

第1章

alang (1)

nanio-ni enduli-ni ba-du-ni Laksu ba-du-ni Kilin yoxon
ホジェン人の 神(話) の時代に 同江 の場所を 吉林 省が

xoton-du-ni guansie-le¹. Songgari mangme, Saxalin mangme,
街を 治めていた。 松花江 黒竜江

Usuli mangme yilan mangme embadu bi-xeni ba-du
ウスリー 江 三つの江が 合流している 場所では

Saxalin mangme-ni dengkin-ni Songgari mangme-ni xucuken² embadu
黒竜江(の水)は 清い 松花江(の水)は 濁っていて、一つに

bi-rsyen temken³ mangme tokon-dule-ni ene-re yicici-kisi
混ざらない。船が 江の 中心へ 行って 見ると

eme dulan sakerki eme dulan sorgian⁴
半分は 黒く 半分は 黄色く

eme dulan dengki eme dulan xurke⁵
半分は 清い 半分は 濁っている。

Saxalin mangme-ni muke eme-kini eu-siki ane-re
黒竜 江の 水が 来ると こちらへ 押し

Songgali mangme-ni eme-kini tau-siki ane-re,
松花 江 (水)が増え あちらへ 押す。

ukia muke-we eme-de eme bale da-rsyen.
いくら 水が 増えても 一つに ならない。

ilan mangme ejile-ni Laksu eme bale mangme da-kini
三つ 江の 下流 同江で 一緒の 江に なり

jule erge-le-ni culake bi-ren Gaijin culake-ni.
南に 河が あり ガイジン 河 と呼ぶ。

¹ guansie-le 「管治」+le 動詞化

² 渾(漢語)

³ 船は、temeteken

⁴ (ナーナイ語)と同じ

⁵ xurku 跳ぶ、xucukun の誤りか?

ei culake jap-kere-duni nanio-ni xoton bi-ren gerbi-ni Gaigin.
この 河 辺 ホジエン人の 村が ある。 その名は ガイジン。

ei yoxon-[du] eme morgen bi-ren. gerbi-ni Kante
この 村に 一人 モルゲンが いる。 名は カンタ (という)。

Kante isikuli-du-yi eni-ni ami-ni saktul bude-xeni ya de nioni-da anci.
カンタは 小さい時、 母 父 皆 死んだ。 何も 人も いない。

em sunja jalen-dui bi-si aki-ni bi-re aki-ni gerbi-ni Ante. edu
五 親族で ある 兄が いる。 兄の 名前は アンタ。ここに

mura bayin-ni baldi-ini tuinemi jog-dule xerbe-le ei xite-we uji-ini
非常に 豊かなで 生活する。 それゆえ 家の中に 引き取って この子を 養った。

ei xite juan-sunja da-xan juan-sunja se da-xan-duni begedele-ni unu-le
この子 十 五 になると、 十 五 才 になったときに 脚が 痛い。

Ante ei yoxon-dule eme Fakasi samen bi-ren ta-we gete-le
アンタは この 村 中に 一人の ファカス・シャーマン いて 彼を 招き

unku-ni takure-kune tuinemi tule-le dere-we nede-xeni
病を 治させた。 このように、外で 卓を 置いて

dili-dui komaka enduli awu-ni juan-sunja cake titi-rgi-ini
頭の上に 鹿 神仙 帽子 十 五に 枝分れしている かぶる。

tuinele enduli samen tergele yeti titile-kini
神仙 シャーマンの 衣服を も 着て

tori eme bulku samen bulku loko-kin tuinele xuli-mi deriu-xen
銅鏡 一つの鏡 シャーマン 神鏡を 首に下げる。そして 歩いて はじめた。

emedan xuli-ki yilan madam dilgan-ini⁶
一回 歩くと(条件) 三 回 響かせる。

xelan xelan xelan
ハーラン ハラン ハラン (鈴の音)

eme nale-ji mo-we jafu-le eme nale-ji samen gu-ni eme dan
一つの手で 木の棒を つかんで 一つの手は シャーマン 鼓を

eme dan langtele-ini tuileni samen dere-ni kere-duni miakure-xele
繰り返し 打つ。 このように シャーマン 神卓の へりに 膝をつき

⁶ jagale-le

samen samen gele-i tuinemi samen-ni amile-du eme-xen
シャーマン、シャーマンを 請う。 それで シャーマン神 その後に 来る。

tuinemi samen pisile-mi xurkur-mi deriu-xen jargi-ni
そこで シャーマンは 踊り 跳び はじめた。 謡う。

謡(1)

xelila xelila xelei xelilala xelei
ハリラハリラ ハレイハリララ ハレイ

Kante-yi xite unku-ni anci
カンタ この子 病 ない。

eyi niani baldi-xen-duni samen-dule eme-xeni
この 彼は 生まれたとき シャーマンの力を持って 来た。

xelei xelei

ei-yini niani-yini sagidi da-xani
今日 彼 大きくなった。

samen-ni seun-ni ele eme-rgi
シャーマン 神霊 ここに 来た。

niane-i-meni samen-me gaji-rgi-kune-le
彼に(させる) シャーマン達 つれてこさせた。

xelei xelelie xelelei

xonji samen-me tati-kune-ro
すぐ シャーマン達を 学ばせた。

samen-me uluxi-kini niani unku-ni ayi-ji ayide-le
シャーマンを 出来ると 彼の 病 よく 治る。

xelalala xelelala xele xela

unku-ni ayi-ji agdene-le ayide-rgi-le
病は よく 喜ぶ 回復した。

謡終

alang (2)

Ante ei gisun-me doldi-mi odi-le agdene-mi deriu-xen
アンタは この 話を 聴いて 喜んだ。

eyi dere-kere-duni saman-gulun miakure-mi deriur-xen
この 神卓の前で シャーマンに 跪き 始めた。

tuinemi Kante neu-yi ayi-ji ayidele-kune-ro
このように カンタ 弟を よく 治させたまえと

eyi samen xesu-ini yilan yini saktul ayidele-kune-ki
この シャーマンに 祈る。 三日内に すべて 好くなる させたまえ。

niani-meni Kante naiani-meni Fakasi samen-me ayi-ji
彼は カンタに 彼に フカシ シャーマンを よく

tati-kune tuilemei niani-meni saman-me tati-kune-le uyin
学ばせる。 彼に シャーマンを 学ばる。 九日

uyin biadu uyin-duleni komaka yinin-ni tuinele gelen samen-me
九 月 九日 に 鹿祭の 日に その時 各 シャーマン達を

tati-kune-re eyi Fakesi samen-me ayiji ne-lo
学ばせた。 この 有能な シャーマンを 好く 学べ。

謡(2)

ilan yinin dulune-xen Katan unku-ni ayidele-ki
三 日 過ぎると カンタの 病は よくなった。

Ante yice-kini eskuli enduli mangge
アンタは みた すごい 神の 力を。

謡終

tuinele saman-ni jake-weni komaka au-meni enduli tergele-ni
そして シャーマンの 神具、 鹿 帽子、 神 衣、

toli-ini⁷ endule saman burku-ni mo-ni tergele juan inin-keci
鏡 神、 シャーマンの 鏡、 木の棒 神衣 十日 ばかり

jule-ni saktul ayiji saktul ne-ro⁸ tuilemi Fakesi samen e-duli
内に 皆 よく 準備した。 そして フカシ シャーマンに ここに

eme-le sini-we aji tati-kune-i
来てもらい あなたに 好く 学ばせよう。

⁷ burku-ini 鏡、toli 銅の鏡、Bが修正

⁸ ne-ro は「する」「置く」。準備するは、ayiji bu-rgi-si または tako-rgi-meteyi. Bが指摘。

tuileimi Fakasi samen ti dere-kere-duni duin-erge-rgi-ni furku-mi
そして ファカシ シャーマンは その 机の側に 4つの角を 跳びながら廻り

ei senkeli-we tayo-xoni tuinele eyi tergele titi-rgi-kini
ダズ香草に 火をつけた。そして この 神の衣を 着た。

Kante niani-meni ya jake-we bu-xei Faske samen niani-meni
カンタに 種々の神具を 渡した。ファスカ シャーマンは

aji saktul tako-rgi-ni tuinele eyi saman eyi gu-ni ti-weni
よく 全部 準備した。そして この シャーマンは この鼓を それを

Kante tantele-mi deriur-xen tantele-mi tantele-mi tadu miakure-re
カンタは 打ち はじめた。打ちながら 打ちながら そこに 膝まずき、

tadu xesu-re urken-we enduli xesu-re
そこで 祈る 山の 神に 言う。

謡(3)

xelilala xelilala xelila xelilala xelala xelei xela xelei

saman enduli xonji eme-rgi-ro
シャーマン 神 すぐ 来てください。

seun-si mindu beyi-le eme-ro
貴方の神霊 我に 身 来て下さい。

samen-me xonji mini beyi-leyi eme-ro
シャーマン神力 すぐ 我の 身に 来て下さい。

xelei xelei xeli xeli xelei

mini-wo niani-meni saktul sagdi saman
我に 彼を 皆 偉大な シャーマンに

dao-kune-ro gerbi-ki da-kune-ro
させたまえ。 有名に させたまえ。

amiski buti-gulun saktul unku-ni ayi-ji taku-uyi
以降 我ら たち 皆 病 よく 治った。

xelila xelala xelela xelei xelei xelei xelei

tuilemi gulun saman enduli saktul eme-rgi
そこで 個々の シャーマン 神 皆 来た。

tui enduli eme-re saktul gaji-rgi-re

神が 来て 皆 持ってこい。

aa xelila xalila

enduli gaji-rgi-ro
神が 持ってこい。

謡終

alang (3)

maci-li bi-kile Faksi samen yili-rgi tuinele ei dere sulia
少し すると フカシ・シャーマンは 立ち上がり そして 卓の 西側を

furku-mi deriu-xen emergeji furku-mi emergeji xesuci-le
跳び舞た。 一方では 跳びながら 一方では 祈った。

yoxon gulun-ni sagdi xaxa asen saktul eme-le isikuli yicikici ene-len
村の 人 老人 男 女 皆 きて 子供も 見にくる。

tuinemi esi Faske saman eme dulan-yinin furku-ini
そして ファスカ シャーマンは 半日(二三日) 跳び舞う。

Kante tuilemi eyi dere enduli gelen-gulun-du miakure-mi bi-ren
カンタは そして この 神卓の神仙 たちに 跪い いる。

seun-ni xe eme-rsyen tuinemi gulun nio xesuci-iti
神が こない。 そして みんな 言う。

ei xite ai samen nio katan de anci unakami ekeci guidami
「この子は 良いシャーマン 有能で ない。 どうして こんなに長く

soun-ni eme-roen yame faksi
神が こない。 どれだけ 有能か(全然有能でない)。」

tuilemi maci bi-ren-dule soyin-ni eme-xen
そして 少し 経ったとき 旋風(soyin)が 来た。

teineile eyi urke-men jule-erge eme edin eme-xen. edin eme-le
そして その 門の 南から 一陣の 風が 来た。 風が きた。

tule-sike kere-duni edin odi da-xan
外 辺 付近に 風が 止まった。

Kante tui edin-du fuligi-mi te-rgi-ni yili-kini
カンタは その風に 吹かれて 起き 立ち上がると

eyi Faske samen ami-le goro-duleni furku-mi deriu-xen
その ファスカ シャーマンの 後ろの 遠くで 跳び跳ねた。

esi Kante seun eme-xen eskuli gerbiluki saman da-xani
今 カンタに 神が 来た。 大変 有名な シャーマンに なった。

tuinele aki-ni Ante eskule agdenele-mi deriu-xen
そして 兄 アンタは 大変 喜んだ。

謡(4)

xalila xalila xelila xalei xelei xelei

eyi samen soun-ni eme-xen
シャーマン 神は 来た。

Kante uruken-dule bixan-dule wa-keci ene-xen
カンタは 山に 野外に 狩りに 出かけた。

xalila xalilala xalei xaxalei

eyinini uruken-dule xuli-xeni
この日 山に 行った。

urken-duleni saktul xuli-ene-ni
山に 行った。

emade wa-keci-mi de bake-ni
いくつか 狩りして も 取れる。

xalei xalei xalei xaxalei

tuileni bei-ji ya-we urken-du
そして 弓で なんでも 山で

wa-kele eme-kini eme-rki-ni
狩って 帰った。 帰った。

tule eyi arne orokte saktul niu-sikini⁹
この 一年 春草 皆 芽が出て

uruken-dule tukuti-le bixan-dule wa-keci-xeni
山に のぼり 狩りをした。

tuilemi eme-ken eme-ken de wa-keci-mi bake-cin
そして 一つ 一つ も 獲れ なかった。

⁹ bake-xeni bake-yini 拾う、Bが修正

a-

tuinemi eme·rgi·mi de eme·rgi aki·niyi
帰って 帰って 兄

oni yiciki·yini xaleji·mi deriu·xen
どのように 見ても 恥じた。

xelei xeleila xelele

eyi culake jap·kere·dulen molin·ni ta·du kinda·xani
河 辺に沿って 馬を そこで 放した。

molin·ni oroktu·we jefe·le muke omi·le
馬は 草を 食べ 水を 飲む。

Kante xebeli·ni jeme·xeyi
カンタ 腹が 餓える。

gulu gulu·li jeme·xeyi manggele·xe
グルグル 餓える たいへんに。

xelei xelei xelei

tuinemi eme uruken·jap·kere·duni
一つの 山のふもと

mo·we maci gaji·re tayo·xoni
柴を すこし 取り 火をつけた。

mo·we tayo·mi ulse·we maci·we syolon·mi jefe·xeni
木を 燃やし 肉を 少し 焼き 食べた。

xalei xalei xalelala xaxalei

mo urken eu·rgi·ini muke·we maci omi ulse·ni jefe·xeni
林 山 流れる 水を 少し 飲み 肉を 食べ

niani·meni edu afine·mi deriu·xen
彼は そこに 眠った。

xaxalei xaxalalei xalei

molin·ni yalu·yi mo·duni tirengku·ni niani·meni afine·mi
馬に 騎る鞍を 枕に 彼は 眠り

esi feci-keni afine-mi eskuli mangge-ji afine-xeni
今 疲れて 眠り 非常に ぐっすり 眠った。

torti-xeni torti-xeni yimjake torte-xeni
夢をみた。 夢をみた。 何かの 夢をみた。

eme edin eme-xen eme-le
一陣の風が きた。 来た。

tuilemi niani-kere-duni
彼の 辺りで

ya yale yale-mi doldi-mi dam mete-rsyen
何かを 聞いが ただ はっきりしない。

tuinemi niani-uileni tuo-ni
彼の上に 火が

yilan jalen-guguda guguda-keci degde-mi tayo-le
三 丈 高い 飛んで 燃えて
bia usiakte ergen-dule-ni ba-le xurku-mi degde-le
月 星 そばで 空に 舞いながら 飛ぶ。

xelei xelei xelelala xelei xelei

niani yisale-yi degede-le yicicile-xeni
彼の 目が (火が) 飛ぶのを 見た。

tuinemi niani eyi edin jule-erge-ji eme-xei
彼は この風 南から 来た。

niani-meni kere-meni xonji mangge-ji fuligi-xen
彼の すぐそばに はなはだしく 吹いた。

tui-nemi niani-meni dili-meni degde-mi
彼の 頭が 飛ぶようで

nikte-ni tunimi sene-u-kune-xeni¹⁰
頭髮は 目覚めさせた。

xelei xaxalei xalilala xelei

nikute-ni degede-mi dili-ni sene de kune-xeni¹¹
髪の毛が 飛ぶように吹かれ 頭が 目覚めさせられた。

¹⁰ 肯定過去形であるが、「cien」否定過去形でないと意味が通じない。

¹¹ 肯定過去形であるが、「cien」否定過去形でないと意味が通じない。

xelei

謡終

alang (4)

eyi maci bi-ren·duleni Kante eleke·ji sene·rgi·ini yisale·yi tura·kini yicici·xen
少し 経った間に カンタは 徐々に 気がついた。眼を 開けて 見た。

eyi kere·duni eme naxan·du uisiki·du dudule·mi bi·ren
この そばに オンドルの 上に 横になって いる。

eme fuligian xulse niani uilen·ni·duni dasi·xan, xergele cilan sektu
一枚の赤い 布団が 彼の 上に 被せ、 下に 藍色の 敷き布団。

ayi·ji yici·kini ei unakami ei yale kere·duni
よく見ると どうしてか この 近くに

eme asen xite gujikule asen xite dedu te·re bi·ren
一人 女 子 美しく 女 子 娘が 座っている。

eyi dedu eyi site eme juan jakun uyun keci·ni
この 娘 この 子は 十 八 九 位である。

eyi ferxi naxan·duni xa eme orin se·keci bi·ren eme asen dedu
北の オンドルに `また 二十歳位の 一人の娘がいる。

dedu baldi·xeni gujikuli eyi beyi·ni kere·duni eyi dedu
娘は 美しい。 自分の傍に いる 娘は、

Kante sene·rgi·re xonji eme damixin bu·xen
カンタが 目覚めると すぐ タバコを あたえた。

tui-nemi eyi damixin tou-le niani Kante-du bu-xen.
そして タバコを のせ 彼に カンタに 与えた。

Kante eme yilga ca-we niani-duni omi-kune-xen tou-xen
カンタに 野菊花 茶を かれに 飲ませ 茶を注いだ。

esi furxi-ki naxan site asen site dedu xangke-mi te-rgi-le ene-xen
北側の オンドルの 娘は 怒って 立ち上がり 行った。

eyi dedu ekeci unakami ene-xeni eyi Kante xesu-ini
この娘は この様に 一寸 来て カンタに 言った。

morgen akini eyi unakami eme goni-sini e eyi dedu solaki
モルゲン兄 どのして 心配するの? 私は 狐ですよ。」

xesu-ini eyi saktul buda ulu-xen
と言い 飯を 作りにいった。

tuine maci bi-re saktul buda solgi saktul gaji-xen
少し 経つと すべて 飯 菜 すべて 持って来た。

tinele eyi julu katand-e¹² Kante dedu yilan arki dao-xen
そして 2人 強い カンタと 娘は 三杯 酒を 注いだ。

eyi yilan arki omi odi-re ayi eskuli agdene-mi te-rgi
三杯酒を 飲み 大変 喜び 座り

esi eyi dedu jari-mi deriu-xen
今 娘は 歌い始めた。

謡(5)

xelilala xelila xenilala xeni xeli xeli xeni--

buti jule jule sagdi-gulun-me embadu
私達 2人は 前世の2人は 一緒に

baldi-u-kune-mi xesuci-xeni
住ませられていた と話した。

xeninini lei nelexeni le-- xele--

morgen age sini mini kere-duni
モルゲン兄 あなたは 私の傍に来て

¹² kante を katen といい間違う。

arki-we bu julu embadu ayi-jini omi-ui
酒を 2人で 一緒に おいしく 飲む。

xenini xeninele xelele xelei-xeni-xenina

guguda guguda keci ayi-ji agdene-mi buti edi-asen-ji baldi-ure
非常に 非常に よく 喜んで 私達は 夫婦に なる

edi-asen-keci baldi-uyi eyi ami-siki edi-asen da-xa oyie
夫婦に なる これ以後 夫婦に なった。

xeninana xeninana xenina xeni-

edi-asen-keci da-xao yie
夫婦に なる

謡終

alang (5)

Kante morgen eyi gisun-we doldi-xeni agdene-mi jari-mi deriu-xen
カントモルゲンは、この話を 聞いて 喜んで 歌い始めた

謡(6)

xelilala xelilala xelila-xelei

dedu gege sini mini-we gisun-mei doldi-ro
娘さん 貴方は 私の 話を 聞いてください。

si mini-we gade-yi¹³ xala-ki bi esikuli tiaxeleyi
貴女は 私と 結婚し 一族になる 私も 同意します。

xelilele xelilala xelila xelila xelila

sini oni xesu-kisi bi-ni oni ayiji-de doldi-yi
貴女が何を言おうとも、私は すべて良いと 聞く。

xelixelexelile

buti julu ba-tule miakure-ye
私達 天に向かって ひざまづき

embadu gase afu-yi
一緒に 一緒に 戦い。

¹³ 結婚するは giamte-xeti、Bが補足

buti embadu ayi·ji sindolo gujikuli·si agdene·yi
私たちは一緒に よくあなたが 美しいことは 人をよろこばせる。

muno embadu edi·asen·keci
私たちは一緒に 夫婦に

ayi·ji xoron·du ayi·ji baldi·uye
末永く 幸福に 暮らそう。

xelilala xelilala xelila·· xelilala xelei··

embadu ayi·ji baite·uyi
一緒に 幸せに 生活しよう。

謡終

alang (6)

arki omi·re eyi Kante eyi dedu medele·ne jia¹⁴·dusi ya bi·re
酒を 飲み カンタは 娘に 問うた 「貴女の家は どこにある。」

nianie xesu eyi dedu, ti dedu ya·siki ene·xeni
彼は 言う 「娘に、 あの娘は 何処へ 行ったか。

unakami xankele·xen eyi dedu xesu·ini morgen age
どうして 怒ったか。」 この娘が 言う 「 Morgenよ、

eyi esi ene·xeni dedu bu embadu bi saktul buti na nio·ni
今 行った 娘は 私と一緒に 私とすべて 私たちの郷の人で

niani Songgali ferxi·erge·duni Gale ureken·duni baldi·re
彼女は 松花江 北岸にある ガル 山に 住んでいる。

wo¹⁵ embadu adi arne embadu bi·su yilan arne julur·dule bu julur
私は 一緒に 幾年 三 年 前に 私達二人

ekin·dui tagde·xeni tuilemi niani·meni mitiki sagdi mini·ni ekin xodele
姉と 知り合った。 女は 私より 年上で 私の 姉と 呼び、

niani mini·we xunaji ne·mi xesu·le bu julur embadu baldi·xen
彼女は 私を 妹と 呼ぶ。 私達二人は一緒に 住んでいる。

¹⁴ 家 (漢語)

¹⁵ 我 (漢語)

sikse dolbu-ni niani munu-julu eme-rgi-le jog-dule ene-du
昨日 夜 彼女と私二人は 帰る 家に 帰る途中、

eyi Gaijin ureken-ni jule-ni tuile eyi isikuli tua degde-re bi-ren
ガイジン 山の 南に 小さい 火が 飛んでいた。

tuinemi bu xuli-mi tui-le eme-xen ei edin fusylini-duni munu-le
そこで 私たちは 走って そこへ 行き 風の 旋回の中を 私達の所へ

eme-ren ekin ti-nio sini-wo editkuli ne-mi edule xerbe-xen¹⁶
つれ帰った。姉は あの人 貴方が 寒いと心配し ここへ 連れてきた。

edu ekin niani-meni buti-jule edi-asen da-ro ne-mi
姉 自身は 『私達は 夫婦になりたい』と（言うが）、

tuilemi niani tiaxele-rsyen niani xangke-mi ene-xen
しかし（私は）彼女に 同意しない。彼女は 怒って 行った。」

tuinemi niani-meni (xesu-ini) bi isikuli-duni ami eni anci.
そして 彼女（ソラカ）は 「私は 小さいとき 父 母が 亡くなった。

eme site-mele baldi-i " munu bu-jule jule-jalen gulun saktul
子一人で 大きくなった。私達 二人は、前世に縁のある人で

embadu edi-asen dao-kunu-mi xesu-xeni eyi ini-ni eme-re embadu
一緒に 夫婦に させられる。」と言った。 「現世に なって 一緒に

dao-xon". Kante morgen xelinei xesu-re
なった。」 カンタモルゲンが すぐ 言う

dedu gege¹⁷ tiaxele-siyi¹⁸ mini tiaxele-syen
「娘姉（ソラカ）が そのように思うなら、 私も そう思わないわけではありません。

tuinemi bie¹⁹ niani-me lele-mi
そして （別） 彼女を 恐れるな。

bi xa sini-we min-du ukeci-mi xesu-mi goni-xei
私は 貴女が 私を からかって 言っていると 思った。」

dedu xesu-ini "mini miaun-ji goni-duni te-keci xesu-xei
娘は 言った 「私は 『心 心から 慕っている』と 言いました。

¹⁶ B が意味を言う。それを発音に近いホジェン語に直した。

¹⁷ 一般には、fujin gege という。B が指摘。

¹⁸ xonji unake xonji ne-jia を B が修正

¹⁹ 別（漢語）ホジェン語では eji

ni sini-we

誰が あなたを(からかうのですか)。」

Kante tui-nemi yili-le dedu nale-we jafu-rgi

カンタ そして 立ち上がり 娘の 手を つかみ

tuinemi esi-du yafun-duni²⁰ saktul miakure-re bat-tiki ba ui-siki

すぐ 中庭に すべて ひざまつき 天に向い 天の上に

miakure-mi deriu-xen tui-nemi edi-asen da-xan nale-ji nale-ji embadu

頭を下げ祈った。 そして 夫婦に なった。 手に 手を 一緒に

jafu-rgi-re eyi buda jefe-kune-le arki omi-re

取り 飯を 食べ終り、 酒を 飲み

siun xergile ureken-dulu eu-rgi-mi deriu-xen tui-nemi ju inin juluna

太陽が 下に 山に 沈み はじめた。そして 二日間 二人は

bulin-dui yimaxa imekse-ni²¹ bulin-dui tayo-rgi-ren

灯りを 魚の 油の 灯りを 燃やし

damin omi-re laokele-mi bi-ren²² tui-nemi julu afine-kini

タバコを飲み、話をした そのように 二人は 楽しんだ。

tumake-du niani-meni eme ini teine-xel na eme ini

翌朝と 彼らは 一日 休んだ もう 一日。

eyi dedu xesu-ini ei-inin dolbe-ni mini sini-we²³ nuku-rgi jog-dule ene-ki

ダドは 言う 「今晚 私が 貴方を 送ります。家に 帰り

si mini-we goni-rgi dolbu-si tui-nemi siksarin da-xe, mini-we goni-rgi-ro

貴方が私を思うたら、夜まで待ち 夜になってから 私を 思い出してください。

jog-jule yilan-madan mini-we xodale Solaki Solaki Solaki

部屋で 三回 私を 呼べ 『ソラカ ソラカ ソラカ』

ilan-madan xodale-ki julu eme-i. Kante ne medele-ini

と三回 呼べば すぐ 行きます。」カンタは また 訊ねた。

Gaijin yoxon ukiya goro bi-le Solaki xesu-ini eyi lame-kere-duni bi-sia.

「蓋金 村は どれ位 遠いか。」ソラカは 答える 「海の近くです。

²⁰ molin-duni (馬上) と誤った。B が修正。

²¹ B が挿入

²² laoke は嘮嗑 (漢語)、xesu bi-le の方が良く B が指摘

²³ 元 mini-we (私を) は誤り、mini sini-we (私が貴方を) が意味が合う。

sini jog-kisi eme minge ba xulu-mi bi-ren ba eme minge ba xulu-mi bi-ren
あなたの 家から 千 里 以上 ある。 ここは 千 里 以上 ある。」

Kante eskuli ya ekeci goro ene-ni tuilemi goni-le goni-le
カンタは 大変「こんなにも 遠くに 来た。」 どう帰るか 考え 考え

na afine-kini tumaki erde Solake yici-rsyen
また 眠った。 次の朝 ソラカが 見えなくなった。

naini xai Gaijin-ni ureken-kere-duni ta-du xai ta-du bi-si
彼は また ガイジン山の近くに そこにまたそこに いた。

molin-ni xai tadu tokale-we jefu-mi mo orokte jefu-mi bi-le
馬は まだそこで 土を 食べ 木 草を 食べている。

tui-nemi ei-ke eskuli ayi tolki-xei eyi oni tolki-xei
大変 よい夢をみた よい夢をみた。

tui-nemi te-rgi-ini te-rgi-mi du molin yalu-ini ene-ki
起き上がり 馬に 乗り 行く

molin yalu-rgi-le jog-dule agdene-mi ene-le jo-jule ene-le.
馬に 乗り 家へ 喜んで 家に 向かった。

emergeji ene-mi emergeji jari-mi deriu-xen
行きながら 歌を歌った。

謡(7)

xelila xelila xelila xelei-- xelixelei--

mini Solaki-ji embadu edi-asen bake-i
私と ソラカは 一緒に 夫と妻になった。

esi eskuli axayi(ayi) amtekuli-ji yilan-inin baldi-xen
今 大変 よい 甘く 三日過ごした。

xeli-- xelila xelei-- xelei xelila xelala xelei--

asen-yi mini-we ene-kune-xe. bi de afine-mi sene-xei
妻は 私を 行かせた。 私は 眠り 目覚めると

eme tolki-keci sene tolki-xae
夢のようだ 目覚めると 夢だ。

xelilale -- xelele xelinanaxe -- xelei --

sene·rgi·le mesike eme nio da·ki
目覚めると 自分 一人 になった。

yisale·yi yicile·ki Gaijin yoxon·kere·duni bi·ren
眼が 見ると ガイジン 村の近くに いる。

molin·we yalu·ki xonji jog·dule e bi·yi
馬に のり すぐ 家に 行く。

xelilala xelele xelelile xele xelila – xelei

語終

ke ke ke

alang (7)

emadini bi·xen eyi Kante jog·dui eskuli ayi Solaki·we goni·rgi·mi
数日 経つと カンタは 家で 大変 ソラカに 会いたく

deriu·xen tuinemi jo·dule jo·yi eme jo ayiji taku·rgi·ni
なった。 屋敷の中に 部屋を 一つの 部屋を よく 修理し、

tuinele eyi jog·duni mesiki afine·ni eme dolbu·dulian da·xani
家に 自分だけ 寝た。 夜中 になった。

tuinele eyi Solaki·we goni·rgi·mi deriu·xen goni·rgi·re xodale·kini
ソラカを 思い出し、 思い出し 呼ぶと、

Solaki Solaki Solaki xonji eme·ro gisun·mi odi·ceni·du
「ソラカ ソラカ ソラカ すぐ 来い」 言い 終らないうちに

jule·ji eme edin degde·mi eme·xen edin isikuli da·xan
南から 一陣の風が 吹いて 来た。 風が 静かに なった。

eyi Solaki asen·ni urke tate·mi niu·xen tuile emedan furku·le
ソラカ 妻が 戸を 開けて 入ってきた。 ちょっと 跳ねて

xebeli·leni degde·xen Kante meifen·ni tebele·mi xesu·ini
懷に 飛び込み カンタの 首に 抱きつき 言った。

“ eyi edi mini goni·xesi a?” Kante agdenere·mi
「ご主人様 私に 会いたかったの？」 カンタは 喜んで

tebeli·rgi·re esikuli agdene·rgi·le tuinemi eyi asen·ji xesuci·mi afine·rgi·xen
抱いて 大変 喜んだ。 妻と一緒に 話をし 眠った。

tumaki-ni Solaki erde ene-xen dolubu-duleni Kante mesiki
翌日 ソラカは 早く 去った。 夜に カンタが 一人

jo-du bi-si-duni tioko de xodale-rsyen inakin de sane-rsyen-duni
家に いるときに 鶏 も 鳴かない 犬 も かまない 時に

niani gonin-dule Solaki goni-ini-dui bi-cen-du
彼の 心の中で ソラカと 思うと 少しも経たない内に

Solaki julan urke tati-mi erin-kini agdene-mi xesu-re
ソラカは ガラと戸を 引く とき 喜びながら 言う。

"eyi edin eyi edin si mini-we xodale-xesi a? bi goni-ni si-we sai-yi
「あなた、 あなた 私を 呼びましたか？私は 心に あなたを 慕っている。」

tuilemi julu jo-ni laokele deriu-xon te ayi gisun-mi ukeci baite-re
二人は 部屋で 話しをし始めた。 よい話をし 遊び 用事をし

laokele-xeti eskuli ocikoli-ki agdene-rgi-mi xesuci-xen
話をする。 大変 熱く 楽しみ 話した。

ayi dolubu-ni eyi julu na arki-omi-rgi arki-wo-omi-le agdene-rgi-mi
「今夜は 二人は 酒を 飲み 酒を 飲み 楽しみましょう。」

ayi Solaki ayi 卓²⁴ dere-ni saktul ayi tuki-ni arki carmi eyi dorubuke
ソラカは 卓に すべてを 置いて 酒の碗を 盆を

sapki tuilemi niani solgi saktul tuki-xen Kante goni-ini
箸を 彼女は 料理も すべて 置いた。 カンタは 思った

eyi ne oni gade-xeni ekeci gade-xeni oni jefe-dui ele-ni
これは どう 買ったか、 これだけ 買って どう たべれば たりるか。

tuilemi saktul tati-rgi-re Solaki ene-ni nede-ki
すべて 取り出し広げてソラカが 取り出し 置いた時、

maci bi-sin-du du dere-du jalun da-kini
少し 経つと 卓に いっぱいに なった。

arki ulse saktul eme-xe eyi saktul ocikoli da-ren
酒 肉 全て 出てきて 皆 熱いくなり。

tuinemi esi yuke-le niu-xen-keci-ki Kante agdene-mi eyi ini oni bi-si
今 鍋から 取り出したようだ。 カンタは 喜び 今日 これはなにか、

²⁴ 卓 (漢語)

esikuli asen-nele oni de sai-syen tuinemi Solaki xexe-ji xesu-mi agdenel-re
妻に 「どういふことだ。」 ソラカは ハハと笑いながら 喜ぶ。

esi tui-nemi urken-dule ekeci dulune baldi-xen arne-ni ukia bi-ren
「これは 山で このように 暮らした 年は どんなに多いか。

eyini eyini oni de xe ya de anci tuilemi arki-we tate-rgi-le omile-u-kune-mi
毎日 何もかも ない。」 酒を とりだし 飲ませた。

deriu-xen emedan saktul ju nio arki-we kobu-kobu omi-xen
一度 すべて 二人は 酒を ごくごく 飲んだ。

tuinemi laokele-ki dolubu-dulian da-ki afine-iti
話しをし 夜中になり 眠った。

謡(8)

xelilala xeli xexelei -- xelilala xelei -- xaxalei --

Solaki tumaki erde erde ene-xen turge ne-mi ene-xei.
ソラカは 朝 早く 早く 去った 急いで 去った。

niani esi ami-siki tumaki-le ene-re
彼女は 今 今後 翌朝 去り、

dolebu-dule eme-re
夜に 来る。

xelei xenila -- xelei
ju nio dolebun-dule arki omi-re
二人は 夜 酒を 飲み

ayiji ukeci-mi afine-re
楽しく 遊び 眠る。

xelila xele --

eyi dolebu-ni emedan Ante asen-ni²⁵ tule-siki niu-le
ある夜 一度 アンタの 妻が 外に 出ると

ayiji ney-yi jo-ni-duleni asen-duxa-ni xesu-mi bi-ren
弟の 家で 中で 女の客が 話している。

tui doldi-le xulegui²⁶ ayi
のが 聞こえる 不思議だ。

²⁵ 妻が主語なら、アンタが妻に言うことと矛盾する。ciken-rini (小便しに) の誤りか？

²⁶ Bが訂正。

ene-le asen-siki xesu-xeni
戻って 妻に 言った。

xele xelixelei -xelei

謡終

alang (8)

tuinele asen si niu-we ayiji yicici-ro oni bi-si baite bi-ren
妻に 「弟を よく 見てこい。 どのような 事か。」と

tuilemi eyi asen-ni Nayin dedu yicirci ene-xeni
そして 妻ナインダドは、 見いった。

Kante le jo-duleni ene-le fa-ni ilenggu-ji yileci-le²⁷
カンタの家に 行き 窓に 舌で 穴をあけ、

dujiga-ni²⁸ yici-xeni eme asen te te-le bi-ren
中を 見ると 一人の 娘が 座っている。

tuilemi eyi julu laokele-mi arki omi-rgi-mi esikuli agdene-rgi-mi
二人は 話をし 酒を 飲み 楽しんでいる。

tuinele esi ene-re edi-ki akin-tile xesu-xen
そして 今 戻り 夫に カンタの兄に 話した。

eyi esi eme asen site ta-du bi-ren baldi-xeni gujikuli
「一人の 娘が そこに いる。 美しい。

eyi wo²⁹ ya-me yao-ji eme-xeni sai-syi
私は 何か 何処から 来たか 知らない。」

tuilemi (Nayin dedu) xesu-ini Ante-du akin-ni xesu-i
そして ナイン・ダドが 報告する アンタ カンタの兄に 報告する。

eyi-ge oni bi-si de sai-syen ayi-ji ne-ki de ayiji
「これを どのようにするか わからない よく 扱いたい。」

ke ke ke

²⁷ yale を B が訂正

²⁸ tulusiki (外を) を dujiga-ni(内に du-siki-ni)と B が訂正

²⁹ 我 (漢語)

第2章

alang (9)

謡(9)

xelia xelexele xelila-- xelila xelei-- xelei xelixele xelilei --

Nayin dedu Ante-tiki xesu-ini tuilemi dolubun-dule-ni
ナイン・ダドが アンタに 言う。 「夜中に

unakami ya-ji niu eme-xeni gisun xesu-ini

何か 何処からか 出て 来て 話を する。

Kante jog-dule asen site dilgan bi-ren
カンタの 家で 女 子の 声が する。

xelei xelixeni xelei-- xenina xelei--

eyi-ke baite oni bi-si-du de sai-syi eyi ya-ji eme-xeni
この 事は なにか 知らない。 何処からか 来たか。

eyi asen site eyi yoxon-kere-duni yici-rcen o-xan³⁰
この 女 子は この 村の付近では 見たことがない。

xelei -- xelilala xeninana xeninana xenixelei --

embadu baldi-xeni gujikuli juan jakun-keci bi-ren
一緒の娘は 美しく 十 八 位 だ。

eyi eskuli eskuli xesu-ini baite-we
なかよく 話す内に

yinin yinin ayi-ji ne-ren
日に 日に 深くなる。

xelei xelili xelei --

amtekuli-keci xesu-mi odi-syen
甘く 話し 終わらない。

ju eli doldi-ini eli eskuli ayi.
二人は 聴けば聴くほど 甘い話だけだ。

³⁰ B が説明。

adi yini unakami ukeci-mi ne-ini oni bi-si baite de sai-sye
幾日 どうして 交際し 今どうかも 分からない。」

xelei

謡終

alang (10)

Ante xesu-re(doldi-re) eyi goni-rgi-kini eyi neu-ki xonji xodale-mi-xon.
アンタは 話しを聞き 考えた。 「弟を すぐ 呼べ。

eyi neu eme-kini oni medele-le oni bi-si baite ne-mi
弟が 来たら どうか 問い 『どのような事情か』と。」

eyi Nayin dedu eji-jige eji-dule jo-dule ene-re
ナインが 東の 東家に 行き

naini uruke-we tate-re ninge-xen niexe-le³¹ yinge-xeni
彼女は 戸を 引いて 入り 開いて 入いった。

eyi Solaki de sami-de suca-xen emedan yici-rcen
ソラカは、 すっかり 隠れ 少しも 見えない。

eiki ya-le tou ya-le de ne-mi de bugdene³² mi mete-syen
こちの どこか あちの どこか と 走って探しても 探し出せない。

eyi oni ne-yi
如何しよう。

tuilemi Nayin dedu jo-dule yingge-re Kante-tiki xesu-ini
ナインは 家に 入り カンタに 言う。

Kante akin sine-we xodale-le
「カンタ、兄が あなたを 呼んでいる。」

Kante eyi euke-yi xesu-kune-le xonji akin-dule ene-re
カンタは 兄嫁に 言う 「すぐ 兄のところに 行く。」

akin-duni yingge-re akin-tiki xesu-re
兄の部屋に入ると 兄に 言う。

³¹ acu-re 脱ぐを B が訂正

³² bute 私達 を B が修正

mini-we unakami xodale-si esi unakami xodale-sia
「私を なぜ よんだの？ なぜ よんだの？」

esi yao oni bi-si baite ne-si si ayiji xesu
「一体 如何した 事か。 貴方は よく 説明しなさい。

oni-dule jog-dule-si oni bi-si asen xite eme-xeni
どこに 家の何処に どのの 娘が 来たのか。

eyi xesu-syi da-kisi ukia exele
言わなければ 容赦しない。

nio-we sai-kini yoxon nio-we sai-kini
人も 知れば 村の人も 知れば

buti-we ayi udaule tui ne-mi xesuci-le
私達を あざける」と言う。

tuinele Kante oni xesu oni-de nede-mi da-xan
カンタが そう言えば そうなる。(事実を言わなければならない)

tuinemi

謡(10)

xelai xelai xelile xelai

mini ureken-dulu bixan-dule ene-re
「私が 山に 狩に 行き、

wakeci-dui eme niani-meni yici
狩りに 行き彼女に 出会った。

ta-du mini bude-keci-duni mini-we arki-ni³³
そこで 私が 死にそうにたつたとき 私に 酒を与え救った。

tuinemi mini ta-du afine-dui-ni
だから 私の家で 寝ながら

niani-meni mini-we mini-we xesu-mi xesu-xeni
彼女は 私と 私と 話を した。

tuinemi mini-we akin-dui ayi-ji xesu-yi-xeyi
そして 私の事を 兄に すべてを 説明した。」

謡終

³³ 話が少し飛んでいるようだ。筋が通らない。

Kante³⁴ yili-rgi-le ene-xeni Solaki mende-le-le: aki unakami sini-we
カンタは 立ち上がり 帰った。ソラカは問う 「兄さんは なぜ あなたを

xodale-ni e tuinemi xesu-ini eyi baite saktul xusu-i ye
よんだ の。」 カンタが答える 「事を 全て 話した。

xesu-syen da-kini euki-si sai-xeni
言わなければ 兄嫁も 知っているのです。」

tunele tumaki erde te-rgi-re ediasen saktul yaxen³⁵ dili-yi yakte-ni yukte-le
翌朝 早く 起き 夫婦は すぐ 頭髮に 櫛をかける。

tou³⁶ dou deuji silki-le jog-dule ene-le Solaki akin-dule
頭 と 顔を 洗い 母屋へ 行き ソラカは 兄に向かい

Kante miakure-xen akin-dule euki-ni solgi-we ulse-we saktul
カンタは 跪いた 兄に向かって。兄嫁は 料理 肉を 皆

naxan ayiji nede-le gaji-rgi-ki tuinele ta-du arki omi-rgi-mi deriu-xen
オンドルに 並べ 持って来て、 酒を 飲み始めた。

Ante xe Kante Solaki-dedu xesu-ini si julu su julu edi-assen da-xan-du
アンタは、カンタとソラカに 言う 「あなた方2人は 夫婦になった。

tuinemi jiu³⁷ embadu ayiji ne-ro bu dou³⁸ tiaxe-le-re eji goni-ni
長く 一緒に 幸せになれ。 私たちも うれしい。 決して 心を

gia bi-si goni-ro su jule ayiji sai-ro Ante jo-ni bayen baldi-ini
違えようと 想うな。2人 よく 覚えおけ。」 アンタの家は 裕福で

tuinemi eyi Kante julu edin-assen-dui mini-meni-dui-keci eme bi-ren
カンタら2人夫婦に対して 自分たちに対すると同様に する。

tuinemi Ante xesu-le saktul doldi-ren eyi yilan-bia-du yilan-bia
アンタ 言う 皆が 聞く。 三月 三月

yilan-inin Kante enduli-dui eyi gowin enduli³⁹ ni yisa-xan
三日 カンタは 神に 守護神が 到着した。

³⁴ 元は aki「兄」、kante が意味が通る。

³⁵ 口癖、B が指摘

³⁶ 頭 (漢語)

³⁷ 就 (漢語)

³⁸ 都 (漢語)

³⁹ 供神 (漢語)

ulgin-yi xoni-yi ya-yi saktul wa-re eyi tuinemi dere-duit tule-duit dui
豚 羊 等 すべて 殺し 神卓の前に神前に

nede saktul eyi gong⁴⁰-siki yoxon gelengulun xaxa asen mafe site
並べ 祈る。 村の 人達 男 女、 老人 子供も

saktul eme-re yicici-mi deriu-xen
皆 来て 見た。

第3章

alang (11)

Kante saman tergele titi-rgi-ini eyi enduli saman-ni mo-yi jafu-kini
カンタは 神の衣を着て、 神シャーマンの 木の棒を握り

jari-mi deriu-xen
歌を歌った。

謡(11)

xelila -- xelila -- xeei --

eyi ini yilan-bia yilan inin saman-ni ene-ini ele yisa-xen
三月 三日 シャーマン 来て ここに 着いた。

gelen samengulun-ni saman-gulun-ni saktul eme-ro
シャーマン達は シャーマンたちは みな 来てください。

xelilala -- xela -- xelilala -- xele -- xelei

sagdi gulun xaxa asen saktul
大人 男 女 みな

ulgin xoni yoxon-meni wa-keci-mi da-xan
豚 羊を 村人は 生贄に した。

unku-ini gulun eme-re unku-yi taku-ini
病の人達が 来て 病を 治し

saktul ayi-ji takune-xen
みな よく 治った。

xelilalaxela -- xelilalaxela -- xelei

⁴⁰ 供 (漢語)

saman-i gulun-ni saktul yixan xoni ulgin ulse-ni
シャーマン達は みな 牛 羊 豚 肉

yimaxa ulse-ni saktul de gaji-rgi-le
魚の 肉 すべて 持ってきて

ta-du saman gulun-ni jefu-kune
そこで シャーマン達に 食べさろ。

xelilala xeleila -- xelei xelili --

dili-dui dili-dui komaka awun-ni enduli uilen titi-rgi
頭に 頭に 鹿の 帽子を 神の 上に 冠り、

eyi tergele-yi (xajun) ya titi-rgi
服を 腰鈴を 着て、

bulku⁴¹-we saman bulku-ni loko-rgi
鏡を シャーマンの鏡を 下げ

nale-dui dui jafe-rgi mo-we saman mo-yi jafe-rgi
手に つかんだ ばちを シャーマンのばちを つかむ。

xelile xelei xelilele xelile --

julu enduli amileni da-xale
2つの神が 後ろに ついて来た。

xelei

fulgian bo-du arki-boixu-ni fulgian-ki xerke-le
赤い 布を 酒の 壺に 赤い布を まき

saman gulun amin-du amile-ni forsyu-le forsyu-le
シャーマン達の 後ろ 後を ぐるぐる 回る。

xelei

gelen nio amile-du ame-ni dulene-xen⁴²
人達は 後に 従って 行く。

gelen nio saktul saman-du pisile-mi bi-ren
みな シャーマンと 踊っている。

⁴¹ tori 銅鏡が正しい。B が指摘

⁴² B の注釈

eyi yoxon·dule eur·siki ene·le taur·siki ene·le
村中を こちらに 行き あちらに 行き

emaci muduri·keci xuli·mi pisile·mi furku·ren
まさに 竜のように 歩き 踊りながら 跳ぶ。

saman enduli·ni esi·ke eme·xen
シャーマン 神 今 現れた。

gulun adi unku·gulun·meni saktul ayi dao·kune·ro
人達 重い 病の人達を みな 治してください。

xele xelilele xelei xelilele xelei—

謡終

alang (12)

Kante tuinemi eyi seun·ni marxon Ayi seun Ecixe seun
カンタの 神は 多い。 アイミ神像 エチヘ神像

eyi Saleke seun Manggemo seun eyi Kanika seun marxon enduli seun·ni
サリカ神像 マンガモ神像 カニカ神像 多くの 神 神像を

saktul te·du nede·ki tuinemi eyi ulgin xoni yixan eyi dili·ni
みな そこに 並べ、 豚 羊 牛 その 頭

miaun·ni saktul tadu jule nede·ki tuinele Kante enduli tergele·we
心臓を すべて まえに 供えた。 カンタは 神衣を

saman telegele titire·kini saman awung titire·kini saman arme⁴³
シャーマン衣を 着て シャーマンの帽子を冠り シャーマンの手袋を

de titire·kini tuinemi eyi sabe·yi de titi·rgi·ni tuinele saman·da·mi deriu·xen
付け 神靴を 履き シャーマン踊りを始めた。

eyi asen·ni Solaki amile ami·jige xulxa·mi belgi·ni
彼の妻 ソラカは 後ろから 後ろで そっと 手助けする。

eyi tokon·ni yinin·tokon da·xani enduli·ni seun·ni eme·ni
正午 になって、 神 守護神が 来た。

tuinele gelen yoxon gulun saktul unku yici·ule eme·re eme·re
村の人たち みな 病を 見てもらう人が きた。

⁴³ cafu を B が訂正。

eme taun xuli-mi unku-gulun eme-xeni
百 以上 病人が 来た。

sagdi unku-ni de bi-ren eci unku de bi-ren
大病の人もある。 小病の人もある。

isikuli unku-ni emedan temri-ki ayi da-xani⁴⁴
一寸した病の人 ちょっと 撫でると 良くなり

xesu-mi de ayi dao-ro ayi dao-xele
病よ 治れということ 治る。

sagdi unku yilan yini ayi dale-kune yilan yini ayi dale-kune-xan
大病の人は 三 日で 治る (というと) 三 日で 治った。

sunjia ini ayi dale-kune sunjia inin ayi dale-kune-xan
五 日で 治る (というと) 五 日で よくなった。

tuinemi eyi eskuli eyi saman Kante da-xani
このようにシャーマンのカンタになった。

eme tau ge⁴⁵ urku-ni-gulun esi-dulu yicici-mi mete-xen
百人の 病人が ちょっと 診ることが 出来た。

tuinemi esi enduli saman gulun-ni saktul ene-xen
今 神 シャーマン みな 行った。

eyi Kante tergele-yi awun-yi acu-rgi tein-mi deriu-xen
カンタは 服を 帽子を 脱いで 休んだ。

Ante tuinimi eyi axa-gulun xodale-rgi-le.
アンタは 奴隷達を 呼んで (準備させ)、

eyi gelen-nio gulun-ni embadu jefu-mi xesu-ren,
人達は 一緒に 食べながら 話す。

ayi you seun-ki Kante ayi saman eskuli mangge tuinemi eskuli
守護神をえた カンタは シャーマン力が すごい。 すごい。

eyi gulun eyi axa-nio gulun eskuli ayiji xesuci-xen
人達 奴隷の人達は 大変 よく 誉める。

tuinemi eyi susai niun-ju gulun niun-ju gulun ayi-ji jefe-iti
50 60 人 60 人 よく 食べ、

⁴⁴ umbadu を B が修正

⁴⁵ 各 (漢語)

ayi ixan-yi xoni-ni ulgin-ni ulse-ni saktul yisa-cen-du jefe-ni
牛 羊 豚の 肉 たべたが足りない。

tuinemi ne juan julu ulgin wa-xeni
また 1 2 頭 豚を 殺した。

tuinele gulun agdene-mi omi-rgi-mi jefe-rgi-mi
人達は 喜んで 飲み 食べ

eme dolbun-dule dolbun dame dolbun da-xan dame jefu-maci
夜に 夜 ただ 夜中に なるまで ただ 食べ続けた。

本屯的回家了,道远的就住在安特家。安特招待得很热情

tuinemi eyi Kante xe asen-ni Solaki saktul ayi ne-mi xesu-ren
カンタと 妻ソラカを みな ほめた。

tui tumaki erde-ni eyi goro xokuto-gulun-meni
翌朝 早く 遠くの 人は

edu tumaki-ni ene-kune-yi
ここに留まり、明日 帰えらせる。

jo-dui yoxon yoxon-dule gulun-ni saktul ene-xen
家が 村 村にある 人は みな 帰った。

謡(12)

xelilaelei -- xelilala xeli xelei --

Kante edi-asen akin euke-ni
カンタ 夫妻 兄と 兄嫁と

eskuli ayiji baldi-mi deriu-xen
大変 よく 暮らした。

xelilala xelei -- xelei

tuinemi eyi saman bake-ni gelen nio saktul sai-xen
シャーマン神力を得たのを 皆が 知った。

kere-duni eskuli saktul eme-re unku taku-xen
近くの人も みな 来て 病気が治った。

goro-dule gulun de eme-ren
遠くの 人人 も 来る。

saktul eyi ixan-me ulgin-me molin-me xoni-me gaji-mi eme-xele
牛 豚 馬 羊を 持って きた。

xelilala xeli xelei--

ayi-ji gerbi-ni Kante da-xan jakun-bale saktul sai-ren
有名な カンタに なった。 八方の地方が 知る。

esi niani-meni saktul katan-gulun enduli katan gulun xesu-re
今 彼を みな 強い一家 神力強い家と 言う。

eyi Laksu-le mangme-ni jule ferxi erge-le
同江 江の 江南 江北に、

Usuli mangme eji-leni sulia-erge-ni
ウスリ江の 江東 江西に、彼のことを

saktul doldi-le saktul doldi-le saktul eme-mi deriu-xen
みな 聞いて、 みな 聞いて みな 来る。

xelei-- xenina-- xelei --

tuinemi gelen-gulun-ni niani-meni
そして 人々は 彼を

saktul ejin-keci dao-kune-xei
頭領に させた。

謡終

alang (13)

Kante niani-meni xesu-ini julexi-gulun eyi nujen-buluone⁴⁶ gulun xe
カンタは 言う。 南の人 女真 部落人 と

eyi nikan-gulun xesu-ini tigulun eskuli jaxa marxon bi-re xesu-ren
漢族（の争い）を話し 彼らは 大変 銭が 沢山 持っている と 話した。

eyi Gaijin yoxon-ni gelen-gulun saktul eme-mi ayi molin-yi xode-keci-ti
蓋金 村の 人達は 彼らが 来ると 馬を 売り 彼らは、

eyi baite ya-u baite saktul ne-iti
あれ これと（戦いの） 準備した。

⁴⁶ 部落（漢語）

nujen tousian-ni Wanyemu eyi niani-ji edu bu eme-le
女真の 使者と ワンイェムは 彼（女真の使者）と ここに 来て

tuiyi (sebe nase-ni) eyi solaki nase-ni gade-re
貂の皮 狐の 皮を 買う。

takuto nase na-du gaji-le gade-ren
倉庫の皮を そこに （ガイジンの人が）持って来て （女真が）買う。

tuinemi ele Ante gulun jo-duleni ene-iki tui eme-re eyi Ante saktul xesuci-ni
（女真の使者は）ここアンタ家の家に 行き 来して アンタに 言う。

eyi niken ba-duni bayan gulun marxon ta-le akin neu-ni ene-yi
「漢人 地方は 裕福な人が 多い。 そこへ 兄 弟が 行き

maci afe-mi tale tati-u-le xerbe afe-mi ene-ki ukia e
少し 戦いに行くなら （兵を）習わさせ 連れて 行き戦うのは どうか。」

tuinemi eyi Kante Ante xesu-ini eyi-ge tuinemi aci-si a
カンタ アンタが言う 「これは、よい。」
ke ke ke

第 4 章

alang (14)

eyi neu-ni akini julu jo-dule
弟 兄 二人 家で

eyi-we doldi-le te xesuci-xen tuinemi eyi-we xesuci
これを 聞いて 相談し これを 相談し

exele eme-mi mete-syen eme eskuli mangge ne-ye
「だめだ 行くことはできない。 大変 難しい。」

tuinemi Ante ene-ni jo-dule ene-re
アンタは 母屋に 行き

eyi nujun buluo-ni tousian-ji embadu ne laoke-mi deriu-xen
女真 部落の 使者と 一緒に また 話しをした。

eyi Kante eyi Solaki-tiki xusu-ini
カンタは これを ソラカに 話した。

Solaki xesu-ini ayi baite ne-mi imjake bi-le
ソラカは 言う 「よい 事を です 何でもなし。

eyi baite baite-ni anci niani eyi gelen-gulun-me
この事は 大した事ない。」 彼女が（言う）「村で

saktul eyi eme jo-du axendu julu bi-kini emken alben dao-kune-ro
みな 一戸に 兄弟 二人 いれば 一人 兵に させる。

marxon-kini jule alben dao-kune-ro
多いときは 二人 兵に させる。」

tuinemi ayi-we alben uji-ki
このように 兵を 集めれば よい。

tuinele Katan baite doldi-iti-ni Kante doldi-iti-ni xe aci-ren
カンタは この事を聞き カンタは 聞いて、 正しいとおもう。

tuinimi eyi dolbu-kere-duni
丁度 夜になり

tuinele Solaki you⁴⁷ jo-du solgi-yi dere-du ya-yi saktul gaji-rgi-mi deriu-xen
ソラカ 家で 料理を 卓に すべて 持ってきた。

eyi tuinile eyi eskuli ayi agdene-mi deriu-xen
大変 よく 楽しん だ。

eyi jeng⁴⁸ agdene-mi bi-ren-dui urkeni karan
将に(漢語) 楽しんで いるとき 門が カランと

dilgane-mi eme ninge-xeni Ante aseni Nayin dedu eme-ni.
音がして 入ってきた。 アンタの妻ナイン がきた。

eyi Kante edi-asen niani-meni eskuli uisiki te-ro te-re-giro
カンタ 夫妻は 彼女を すぐ 「上に 座って 座ってください。

eyi eme-rgi omi-ro euke eyi solagi saktul bi-re
来て 飲んで。 姉さん 料理は 揃っています。」

euki-ni xesu-ini eyi bi omi omi-mi su edinasen-ekeci
姉は 言う 「私が飲むと 飲みながら 貴方たち 夫婦の

ayiji laokele-su bi edu bi-ki aci-cen
良い 話をしているのを邪魔する。 私が ここに居ては よくない。」

onie baite ne-cin tuinemi eyi naxan-dulu neu-ni asen eur-le
「何でも ありません。」 オンドルから 弟嫁が 降りてきて

⁴⁷ 又 (漢語)

⁴⁸ 将 (漢語)

索拉克急忙下地把嫂子拉上炕来

naxan·dule tukti·ro usa·mi tukti·rgi·kune·re
「オンドルに お上りください。」 引いて 上らせた。

tuinele ilan e arki baoxu (omi·xen)
そして 酒を 3杯のむ。

tuinele Kante medele·ini akin afine anci.
カンタは 訊ねた 「兄は 眠りましたか。」

euki·ni xesu·inie aki·si nujen·buluo tuosian·duni laokele·mi bi·ren.
ナインは 答えた「兄は 女真 部落の使者と 話しをしている。」

tui xesu·mi odi·rcen aki·ni eme·xei. akin eme·ren
そう 話し終らない内に 兄が 来て、 兄が 来た。

naxan·dule tuinele neu·ni eu·re aki·ni tate·mile dere⁴⁹ tukti·kune·ren
オンドルから 弟は 降りて 兄を 引いて オンドルに 上らせた。

Ante xesu·ini
アンタが言う

謡(13)

xelixelei xelei ·· xelilala xelei xelei ··

mini nujen buluo nio duleni tuinemi embadu gulun laokele·xei
私と 女真 部落の人と 家の中で 一緒に 話した。

niani·meni munu·we ayi alben·mi tati·u·kune·re
彼は 私達に よく 兵を 習うさせる。

tuinemi molin·meni gaji·uyi afu·mi tati·u·kune·ni
馬を 連れてきて 戦いを 教えてくれる。

tuinemi buti esi oni ne·uyi
我々は 今 何を すべきか？

xelei

謡終

Kante xesu·ini
カンタは 言った

⁴⁹ dere はオンドルの上においた卓で、naxan·dule オンドルが正しい。

謡(14)

Solaki xesu-xen buti-i baite-ni anci
「ソラカが 語った 『我々の 問題が ない。

eyi oni baite-we saktul ne-mi mete-u
事情は すべて うまく 行く。』と」

xelilala xelilala xelei xelilala xelei --

tumaki tumaki buti jiu⁵⁰ eyi baite-we uile-ye
明日 我々は すぐ この事を 行う。

xelei

謡終

第5章

alang (15)

Ante newu-ji embadu bi-re eyi Solaki xesu-idu doldi-xeni
アンタと 弟と 一緒に いて ソラカの提案を 聞いて

esikuli ayi nemi agdene-mi buda de jefu-rcini ene-xen.
大変 よいと 喜び 飯 も 食わずに 行った。

Kante aki-ni nuku-rgi eme-rgi-re euke-ji asen-ji embadu omi-xen
カンタは 兄を 送って 帰ってきて 兄嫁と 妻と 一緒に 飲んだ。

Nayin dedu agdene-le omi-rgi-mi deriu-xen saktul mura marxon omi-xeni
ナインは 楽しんで 飲んだ みな 大変 沢山 飲んだ。

Solaki dedu niani-meni nuku-mi nuku-rgi eme-rgi-re
ソラカは 彼女を 送り 帰ってきて

Solaki-i ya-we saktul tako-re tako-rgi tuinele naxan-dule tukti-le Kante-ji
ソラカは すべてを 片付けた。 オンドルに 上がり カンタと

afine-xen tuinemi eyi dulebu-ni jursu otu-ini⁵¹ da-xan tuinele eyi site
寝た。 その 夜 子を 身ごもった。 その子は

⁵⁰ 就 (漢語)

⁵¹ 身ごもる Bが補足

isikuli morgen eyi julu afine-le yini-rgi-ren sene-rgi-le yicici-xeni
小モルゲン 二人は 眠り 昼になり 目がさめ 見ると

siun garfu-mi deriu-xen duin me keci gugu da-xei xonji te-rgi-le beyi
太陽は 輝いていた。 4 竿 位の 高さになった。すぐ 起きて 体と

deuji silki-rgi tuinele euke akin euke jo-duleni ene-le
顔を 洗い、 兄嫁 兄と 兄嫁の 家に 行き、

nujen tousian gulun-meni arki omi-kune-xen tuinemi eyi xergele bi-si nio-we
女真 使者 達に 酒を 振舞った。 手下の 人

orin ba bi-si nio-we ene-re yoxon-dulu duleni alben ne-iyi gelte-ni
20 人 位 人を やり 村に そこで 兵になる人を 探した。

esi eyi ani eyi ene-re odi-le bi-si erin tuinemi eyi gelen nio eyi yoxon gulun-ni
年が 終り 新年に 人々 村の人

saktul goro-ki kalce-ki eme tumen sunjia (sunjia) mingea nio eme-xen
みな 遠い 近い(者) 一 万 五 千 人 来た。

tuinele niani eme-iti eyi Gaijin yoxon-dulu saktul tati-rgi-kini
彼ら 来て、 蓋金 村で みなを 訓練し

jefu-mi odi-re afeni-re tuinemi eme-ini saktul embadu dao-kune-xeni
食べて 眠る(準備をした)。来て みな 一緒に 集めた。

謡(15)

xelei xelilala xexei --

eyi inin tokun eyi gulun-ni

正午に 人々に
这天中午

jog-dule saktul ayi yoxon-dule eme-kune-xeni

家に すべて 村に 来させた。

Ante Kante gulun yoxon-ni tousian-meni

アンタは カンタは 集め 村の 頭領を

saktul edu niani gisun-meni doldi-u-kune-ni

みな ここで 彼は 話を 聴かせた。

xelilala xelei xelilala xelei xelilala xelei --

tuinemi alben-yi saktul ene

兵は すべて 行かせ

embadu afe-mi tati-u-kune-itini
一緒に 戦いを 学ばせた。

tuinemi nikan-meni yoxon-meni ene-mi afe-keci-ini
漢人 村に 行き 戦うことを

xelilala xelei-

eyi nujen buluo tousian-duni eme gisun-meni xesu-xe
女真 部落の 使者の 話を 説明した。

gelen tousian gulun-ni esi saktul doldi-le
各 頭領 達に 今 すべて 聞いた。

xele

tuinemi eyi gulun-meni eme site gulun saktul ene-kune-xen
人達 一人っ子の人を みな 帰らせた。

site-ne marxon bi-si nio saktul tauke-xen
子供の多い 家は 皆 留めた。

yoxon tousian-ni embadu ene-le
村の 頭領と 一緒に 行き

saktul niani-meni oni afe-ni-we
みな 彼と どの様に 戦うか

afe-yi-nemi tati-le
戦い方を 習った。

xelei xenina

buti na-nio-ni isikuli-dui saktul
われ等ホジエン人は 小さい時からみな

molin-me yalu-mi luku-we garfu-mi ulixi-re
馬に 乗り 矢を 射ることが できる。

gida-we juguju⁵²-mi ulixi-re saktul tokun-du wa-le
槍で 突くことが でき みな 命中し 殺す。

⁵² jobgu ヤスで突くと同じか？

xelilala xelile xelilala xelei

tuinemi esi guansi yoxon gulu·meni saktul
管轄の 村の 人々も (習得が早い)。

Ante niani·meni ti burgin·duni gosin se·keci bi·le
アンタが そのとき 30 才 になるが

eyi eyi afe·mi tati·ini eskuli katen fakesi
戦い方は 大変 有能で 巧みだ。

xelila xelei

niani·ni Ante deuji·ni furgian beiyi·ni masi eskuli katen
アンタの 顔は 赤く 体は 頑丈で 大変 強い。

telegile titi·rgi·ini
服を 着て

tuinele molin·meni furgian molin·meni yalu·kini
馬に 赤い 馬に 乗り

nale·duni yao suke·we jafu·rgi·xeni
手に 今 斧を 握っている。

eskuli katan·keci gulun nio yicileci·kini
大変 強そうと 人たちは 見た。

agdene·mi(emergaji の誤り) Kante·nemi xesu·le
一方 カンタのことを 言うと、

xeli xelilala xelei xelilala xelei --

Kante tergele titi·rgi·kini
カンタは 服を 着て

molin·dui siangin molin yalu·rgi·ni
馬に 白い 馬に 乗り

eyi eyi gida·yi jafu·rgi·ni
長銃 握っている。

jakun erge·ji saktul ejin·keci eme·re
八 方からみて みな アジェンのようだ。

tuinemi aki·i·keci esikuli katan·keci bi·ren
兄より 大変 強そうである。

axendu julu eyi tunele saktul
兄弟 二人は このように

tuinemi tati-mi maci-ni eme dulan ini bi-xeti
練習し 互いに 半 日 経った。

xelilele xelei --

tumaki erde buda jefu-mi odi-le axendu julu
翌 朝 飯を 食べ 終わって 兄弟 二人は

gelen yoxon nio niani tati-ni baite-weni yici-ki ene-le
村 人 の 訓練を 見に 行った。

tuinemi eskuli ayiji Kante Ante axendu-ni agdene-re
大変 よい カンタ アンタ兄弟は 喜んだ。

tati-xeti eskuli ayi ne-mi agdenele-xele
練習が 大変 よいと 喜んだ。

話終

第 6 章

alang (16)

eme eyi esi Ante eyi gulun cuxai yicici-rgi-kini
有る時 アンタは 兵達を 見た。

eyi gelen yoxon tousian-ie saktul gaji-rgi-ni
各 村の 頭領を すべて 集め

tuinemi yici-le eyi Cinxai eyi eskuli asikte morgen eme
見ると チンハイ 非常に 若い モルゲンが いる。

eyi beyi-ni eme jale-keci guguda balde-xeni emaci mafeke-ci bi-ren.
その 身体は 一 丈位の 高さで 成長して ちょっと 熊のようで 有る。

eyi nio ni-tiki eskuli ayi ayi gisun-me xesu-re eskuli ya de ne-ini katan
人に誰にでも 大変 よい 話を 語るのは 何をしても 強く

dili-ni fusyule-ini turgen eyi Laksu-nio-ni Laksu xoton nio
頭脳は 回転が 早い。 同江の人で 同江 霍通の 人。

Ante eyi yici-xeni eyi tuinele ayi yici-keci eme gerbi-ni Yangle
アンタは 見ると よく見ると 一人の名は ヨンラが

ne-mi bi-ren eyi guguda-ni eme jalan yici-rsyen maci nikte⁵³
いる。 身の丈 一丈と 見えない 少し 低い。

baldi-ini eskuli kusun-ki jo-ni eskuli bayan
大変 力が強い。 彼の家は 大変 裕福である。

tuinemi eyi asen-yi gaji-le Kante-dule unku yicici-u-kune-xeni
彼の妻を 連れてきて カンタの所で 病を 見てもらったことがある。

tuinemi eyi Kante-ni axendu enduli-ni mangge
カンタ 兄弟の 神の 力が大と (信じ)

tuinemi gulun nio saktul niani gisun-meni doldi-re
人たち すべて 彼の 命令を 聞く。

xai eme ke bire eme sunja ca-keci guguda
さらに 一人いる。 5 尺位の 高さ

baldi-xeni eskuli isale-ni sakelki samikte-ni sakelki
大変 眼は 黒く 眉は 黒い。

eyi niani deuji-ni se-ki unku-keci bi-re
彼の 顔 色 (漢語) 病気のように灰色で

kesi⁵⁴ ayi niani unku-ni anci
しかし 彼は 病で ない。

niani gerbi-ni Leketuer eyi site de mura katan
彼の 名は ラカトル この子は 大変 強い。

tuinimi ekeci eyi gulun xai emeke bi-re
そして この中に さらに 1人 いる。

jakun ya-keci bi-le guguda eme jalan yici-rsyen
8 尺位 高さで 一丈に 見えない。

baldi-ini gujukuli deuji-ni siangin se-ni susai-keci bi-ren
成長して 美男で 顔は 白い 年は 50 位 で

eyi gerbi-ni Canyonjun xesu-xen eme sele jobgu-ji xerbe-re
その 名は チャンエンジン という。 一丁の 鉄の 槍で 持っている。

niani eskuli eyi wa-keci-ni ya-ni saktul katen
彼は 非常に 上手に狩をする 何でも すべて 上手い。

⁵³ carale 漢語 差一点、B が訂正

⁵⁴ 可是 (漢語)

eyi gidale-ni saktul tokun-du
打つと みな 当たる。

tuinemi ayi kosin duyin-ju (dexi) keci eyi tousia-xala-ni eme-rgi-iti
30 40 位 頭領 達が 来た。

tuinele ayi-we yisa-xen de Ante eyi gelen tousian-gulun jog-duleni
これを 招き アンタは 頭領達を 家に (招き)

yixan xoni jake-we gelen-nio-ni delede-xen
牛 羊 等の物を 人達に 分けた。

謡(16)
xelila xelei xelila xelaxelei ..

eyi dolbu-duleni yisa-xeni
夜に になると

tuinemi Ante Katen-ji xe Solaki-ji
アンタは カタン と (漢) ソラカに

arki-we saktul nede-u-kune-re
酒を すべて 準備した。

tuinemi eyi Cinxai gulun-ni duin eyi tousian
チンハイ 達 4人の 頭領

alben-me guansi-le tousian-xala-ni
兵を 統括する 頭領たち

Cinxai Yongle Leketuer Canyonjun
チンハイ ヨンラ ラケトル チャンエンジンを

eyi jo-ni sauli-kini
家に 招くと、

maci da-le eyi duin eme-rgi
少しして 4人は 来た。

Kante niani-meni eyi gulun-me
カンタは 彼等 を

saktul eme-rgi-u-kune-le te-rgi-kune-xe
みな 招き入れ 座らせ、

laoke-mi eyi axa-gulun-meni
話をし 奴隷たちに

solgi-we saktul gaji-rgi-u-kune-xen
料理を みな 持ってこさせた。

arki-we ertulde gaji-rgi-kune-xen
酒を すぐ 持って来させた。

Ante Kante eyi niu nio
アンタ カンタ, 6人は

saktul embadu arki omi-rgi-re
皆 一緒に 酒を 飲み

embadu omi-rgi-mi embadu
供に 飲みながら 供に

you nikan-gulun-meni ene-le ne-mi xesuci-ren
すぐ 漢人達と(戦いに) 行くと 話す。

謡終

tuinemi saktul ene-kile ete-uyi
一緒に 行き 勝つ。

tuinemi eyi you Cinxai eme carmi arki-we omi-u-kune-xeni
チンハイに 一杯 酒を 飲ませた。

eyi gulun saktul eyi you ilan carmi saktul dili-siki uisiki-ni tuki-re
人達 みな また 3 杯 みな 頭上に 掲げ

emedan saktul omi-kune-xeni ekeqi de ete-uyi
一気に 飲ませ 「このように 勝とう」と。

eyi erin
このとき

alang (17)

Ante niani tu-gulun jari-mi deriu-xen
アンタは 彼らに 歌い始めた。

謡(17)

xelilala xelila - xelilala xelei xelilala xelila xelei --

gulun-nio gulun sindu nio mini buti-we belci-kune-lo
皆さん あなた方 私 私たちに 援助してくれ。

esi buti alben-me xerbe-mi tale saktul ene-xei
今 我ら 兵を 連れて そこへ 行く。

tuinemi asi yoxon xoton gulun saktul embadu goni-iu ne-i
今 村の街の達 みな 一緒に 心を一つにして

tousian gulun-ni saktul embadu bi-ren
頭領 達 みな 集まっている。

esi butu esi arki-wo nede-le saktul ilan-inin omi-ue ei
我等 酒を 並べ 3 日 飲もう。

xelila xelei xelilala xelei -- xelilala xela -- xelilala xela xelei --

eyi dui⁵⁵-ni eyi Cinxai duin ba-du delde-yi
隊を チンハイら 4つの 部分に 分け

sunu-we eme ba-du eme ba tousian
あなた方を 一 小隊に 一人の 頭領に 任せる。

tuinemi Kante eyi you saktul sunu
カンタは (司令官として) あなた方

duin gelen-gulun saktul alben-me tousian guansile-le
4人を すべて 兵を 頭領を 統括する。

xelilala xelei -- xelilala xeni --

neu-yi asen-yi Solaki munu-we belci-ro
弟の 妻 ソラカ 我々 手助けよ。

esi gelen yoxon tousian-gulun dexe nio-du bi-ren
各 村の 頭領 達は 40 人 持ち

esi saktul mini-we gisun-meni-we doldi-ro
さらに みな 私の 命令を 聞け。

xelilala xele xelila -- xelei --

謡終

ke ke ke

⁵⁵ 隊 (漢語)

第7章

alang (18)

Ante tuinemi eyi Kante enduli-ni awun amidulu-ni ayi ayi-ji
アンタは カンタの 神の 帽子(力)を 後ろに(頼り)

duin jakun erge nio saktul eme-le niani-meni gisun-meni doldi-le
四方 八 方の 人 みな 来た。 彼が 言うことを 聴き

tuinemi Ante-we ejin ne-mi xodale-xen gulun ejin dao-xele-xeni
アンタを 首領と よび、 みんなの 首領に なった。

tuinemi Cinxai-yi eyi buluo-yili cuxa-yi ele gaji-mi eme-rgi-ki
チンハイに 部落の 兵を 連れて きたので

niani-meni jule-siki (bi-si tousian) dao-xele
彼は 前隊長に なった。

eyi Canyonjun ami-sike-du bi-sin tousian dao-kune-xen
チャンエンジンを 後ろにいる頭領(後隊長)に させた。

eyi Yongle eyi jap-kere-duni (xasukte-kere-duni)
ヨンラを 側面の隊の頭領に(左翼隊の頭領に)

Leketuer eyi icakte-kere-duni ju jap-kere-duni
ラカトルを 右翼隊の頭領に 2人を 両翼隊の頭領にした。

tuinemi eyi duin ba-du alben delde-xen
4 小 隊に 分け

duin tousian eyi duin-erge-ji dao-kune-xeni
4人の 頭領に 4小隊の頭領に させた。

tuinemi eyi naini afe-mi-dule-ki saktul Kante bi-ren-duni doldi-lo
彼ら 戦うとき カンタのいうことを 聞け。

tuinemi saktul eyi duin-gulun saktul embadu xodale-mi
皆 4人 皆 一緒に 同意して叫ぶ。

ayiji yicici-ki tuinemi esi emedan xesuci-mi odi-iti
良いと考え 今回 相談し 終え

eme dao⁵⁶ dolubu-duleni ene-rgi-xen
夜半になり 帰った。

⁵⁶ 到(漢語)

謡(18)

xelila xelila xelei xelilala xela xelilala xelei --

tumaki erde·duni tousian gulun

朝早く 頭領 達は

aluben·gulun saktul yimaxa ulse gaji·le

兵と 魚 肉を 持ってきた。

Ante axa·gulun·meni taketu⁵⁷·duleni bi·si ulse·we

アンタは 奴隷達に 倉庫の中に ある 肉と

yimaxa·we saktul gaji·le (eyi gulun·du bu·kune·xen)

魚を すべて 持って来させ (人々に 与えさせた)。

eyi gulun arki·we de gaji·rgi·xele

彼らに 酒席を も 持ってきた。

xelilala xelei

tuinemi eyi gulun gosin gulun yoxon tousian·meni

彼ら 30 人の 村 頭領に

arki omi·kune·mi sauli·ni

酒を 飲ませ 招く。

xelei

eskuli jefu·mi arki·mi omi·mi

沢山 食べ 酒を 飲み

eskuli agdene·mi saktul yao soku·xeti

大変 楽しみ 皆 酔った。

謡終

Ante eyi gulun·me axa·gulun·me saktul jo·jule ene·rgi·kune·xen

アンタは 人達を 奴隷達に みな 家まで 送らせた。

tuinemi Kante xesu·ini etiki ami·siki arki·we ekeci mangge

(アンタが) カンタに 言うには 今 後 酒を この様に

⁵⁷ 魚を保存する倉庫

marxon omi-kune-rsyen ekeci marxom omi-ki eyi baite exele⁵⁸
多く 飲ませるな。 この様に 多く飲むことは 良くない。

謡(19)

xelixela xelila -- xelilala xele xelilala xela -- xelei

ilan-bia-du yisa-xani axendu julu jog-dui xesuci-le
3 月 に なんと 兄弟 二人 家で 相談し

bosuku xodale-xen eme-dule eme-rgi-re xesu-le
役人が 報告に 来て 来て 言う

tuinemi eme nio nujen ~~tousian-ni~~
「一人の 女真の

buluo tousian ~~Jinwusyu~~ eme-xei
部落の 使者 来た。

Jinwusyu nio-we tousian-yi eme-kune-xen
ジンウシュは 人を 使者を 来させた。」

Ante doldi-xeni Kante xesuini
アンタは聴いて カンタに 言う。

Jingwusyu ejin tousian eme-kune-xeni
「ジンウシュ額真は 使者を 来させた。

buti oni ne-uye
我等は どうするか？

xelilala xelelexi xelei -

謡終

tuinemi jo-jule ya-rgi-re Solaki-ki xesu-ki eyi Kante asen asen-ki xesu-xen
家に 帰り ソラカに 問え。」 カンタは 妻に 言う。

eyi Solaki xesu-ini esi nujen tousian eme-xeni baite anci
ソラカが 言う。 「今 女真の 使者が 来たのは 大した事では ない。

buti esi-dule Aisin-guluni Song-gulun afeng Aisin-gulun Aisin-gulun-ini
今 金族と 宋族との 戦いだ。 金族 金族と

eyi Song-guluni afeng tuinemi eyi cuxai saktul yisa-rsyen
宗族との 戦いだ。 兵 みな 足らない。

⁵⁸ aci-syen を B が訂正

tuinemi eyi ilan culake niun-xoton tousian-gulun eme-le
三 川 六 村に (女真の) 使者が 来て

alben gelte-re eyi Song-gulun-ni afe-ini
兵を 借りて 宗 族 と 戦う。」

Kante akin-dule ene-le xesu-xen
カンタは 兄の所へ 行き 話した。

Ante tuinele Cinxai-we yao ayi gosin-gulun tousian-xala-ni saktul
アンタは チンハイら 30 人 の 頭領に

gelen-gulun xesuci-re eyi unake ne-i
人たちに 相談し どう するかを。

謡(20)

Cinxai-gulun-ni saktul eme-xeni Ante xesu-ini
チンハイ達は みな 来た。 アンタが 言う

esi nio eme-re nujen tousian-ni yao eme-le
「今 人が 来て言う： 『女真の 使者が すぐ 来る。』」

tuineki neu-meni enduli-i saman-e
弟に 守護神に問い シャーマンになり占い

ayiji medele-lo oni ne-ki ayi-xei
よく 問う。 『どうすればよいかを』 」

謡終

tuinemi eyi ilan (culake) niun xoton cuxa-yini gele-ini
「(女真の使者が) 三 (川) 六 村に 歩兵を 借りにきて、

eyi Song-gulun afe-kini esi oni ne-yu
宗 族と 戦う。 今 どうすべきか」

tuinemi ei xesumi odi-xeni Cinxai-gulun saktul eyi xesu-mi deriu-xele
言い 終わると チンハイ達は 言う

eyi butile alben buti alben-gulun saktul molin aiyi alben-de katen
「私らの 軍隊 兵は 馬が よく 兵は 強い。

buti ene-le gase afane tui ne-ki buti ayi
我ら 行き 一緒に 戦う。」 すると 「我らも よい。」と言う。

Ante gulu-tiki-ni ayi da-xei tuinemi saktul ene-le
アンタは 皆に 「それでよい。」 みな (野営に) 戻り

gelen-gulun-ki alben-gulun-ki xesu-e
人達に 兵たちに 伝える。

Kante jog-dule ene-le Solaki xesu-xen
カンタが 家に 帰り ソラカに 言った。

eyi ge oni ne-syen tuine eyi-si mini xodale-ixie
「これは 何か ありませんか。 ことを 私に 話したら。」

Solaki xesu-ini si xe mini-we kata-mi sai-sia
ソラカが 言う 「あなたはまだ 私のことを確り 覚えていますか。

edin-duni si-we goro-ki gaji-i eyi baite
風の中を あなたを 遠くへ 運んだ ことを。

niani jule eki-dedur-ni niani munu julu ayi de xanka-mi ene-xen
彼女は 以前 姉で 彼女は 私達 2人が仲良いので 怒って 去った。

eyi ayi ba-du bi-le tuinemi esi mini-we eskuli taixele-syen
一緒に いたが、(彼女は) 今 私を 大変 恨んでいる。

esi Langgeli ureken-duleni ta-du bi-ren
今 ランガラ 山に そこに いる。

gelen-ji mini-we wakeci-mi goni-ini
他の者たちと 私を 殺し たい。

Kante xesur-ini
カンタが 言う。

謡(21)

xelilala xele xeile -- xelilele xelei --

munao edu bi-le eji exelele bi edu bi-si ye ai
「私は ここにいる。恐れるな。私が ここに いる。

eki oni de ne-mi mete-syen
姉は 何も 出来ない。」

xelan xelelele xelei

Solaki esi agdene-mi da-xan
ソラカは 非常に よろこんだ。

solgi-i arki-i gaji-rgi-ni ediasen arki-i omi-mi deriu-xen
料理 酒を 持ってきて 夫婦は 酒を 飲ん だ。

xelei xelei -

謡終

alang (19)

esi Solaki Kante xusu-ini esi xite-ki da-xei ilan bia da-xan
この時ソラカは カンタに 言う 「今 身ごもって 三 月 になった。

bi esi anci da-xan-ki edu ureken-duleni ene-re baldi
私は 今 こうなかったら 山に 行き 生活する。」

謡(22)

Kante doldi-le jari-mi-du xesu-le
カンタは 聴いて 歌い 言う。

xelila xelei

mini Solaki asen-yi xiteki da-xan
「私の ソラカ 妻は 身ごもった

agdene-le agdene-ide bi-ren
うれしい うれしい。

eskuli lele-mi-de ye bi-ren

munu julu-we ekeci ayi-ji agdene-mi baldi-xen ukia ayi
私達 2人 このように 愛し喜び 暮らしたどんなに良かったか。

xelilele xelei xelilele xelei-.

sateng-keci baldi-xe sateng-xuni-keci ayi-ji baldi-iu
砂糖のように 暮らした。 砂糖のように 幸せに 暮らした。

xelei

eyini munu-we deldi deldi-xei goni-ni unku-ren
今日 我等を 引き裂き 心を 傷つける。

xelilala xelei --

goni-ni unu-ren
心を 傷つける。

mini didli-duni giotkuli muke-keci eme-xen
私の 頭に 冷たい 水のように 来た。

goni-duleni giotkuli giotkuli giotkuli da-xan.
心の中は 冷たく 冷たく 冷たく なった。

xelei

yisale niamekte niu-yini⁵⁹
眼に 涙が 出てきて

eskuli goni eskuli mangge da-xan
大変 心は 大変 ひどく なった。

xelei xelilei xelilele xelei

謡終

alang (20)

Solaki edi-tiki song-mi edi-tiki song-mi deriu-xen
ソラカは 夫が 泣き 夫が 泣き 始めたのを (見て)、

tuinemi goni-dui unui-mi jari-mi deriu-xen
心に 痛い 歌い始めた。

謡(23)

xelilala xelila xelilei -- xelilei -- xelila xelei --

mini edi-i Kante morgen ekeci goni-ini
「私の 夫 カンタ モルゲン このように 想う

eyi mini-we goni-ini
私を 想う。

xelilala xelele xenila xenele xelei -- xelelele --

munu gulu embadu ayiji baldi-mi odi-syen
一緒に よい 生活が終らない。

xenilala xenila --

munu ediasen goni-dui saktul umne-sye
夫婦の 心の中に みな 忘れない。

⁵⁹ ye iskuli da-xen を B が訂正

xenila xele xene

umne-syen

忘れない。

edi embadu siangin dili-keci mafe-mama ne-mi
一緒に 白髪頭になり 爺 婆 になるまで

baldi-iue oue baldi-oe
生きよう 生きよう。

xeninana xelelene xenelele neni nelene ..

eyi saman seun-ni da-xan ne-xeni
シャーマン 神が こうした。

si eji goni-si unu-le
あなたは 決して 心を 痛めるな。」

xelilala xelilala xelilala xela xelei -

謡終

第 8 章

alang (21)

Solaki xesu-mi odi-le. tuinemi eji ya erin eji gai nio-tiki eji saktul xesu-ro.
ソラカが 言い終わると 「何時でも 他の人に 話すな。

tuinimi mini-we eyi fusian⁶⁰ ne-mi de solaki ne-mi eji xesu-ro
私が 狐仙であること も 狐であることを 言うな。

tuinemi niani-meni julu embadu bi-xen ekeci inin bia xe
彼等 二人 一緒に いた このような 日 月

esi edi asen-si esi buti delexe-kini esi erin esi delexe-i
夫婦 我ら 別れても 今回 別れても

amile xe embadu bake-rgi-ni xe embadu bi-ui
後で また 一緒に 出合い 一緒に 暮らそう。」

⁶⁰ 狐仙 (漢語)

謡(24)

xelilala xelila xelei xelilalei xela xelei

Kante esi asen-yi ayidele-ini julu ediasen
カンタは 今 妻が 気が休まり 二人 夫婦

embadu eyiji saktul arki arki-we omi-lei
一緒に 酒を 酒を 飲み
omi-le omi-le tuinemi soktu da-xele
飲み 飲み 酔って しまった。

xelilala xeleile xelilala xela

tuinemi afine-mi deriu-xele dulan doluben-duni sene-xeni
眠る。 夜半 目が醒めると

niani sene-rgi-ni isale-i yicile-kini
彼が 目が醒めると 目で 見ると

Solaki kere-duni eme (solaki) bi-ren
ソラカがいた付近に 狐が いる。

niani elekeji solaki tongku-xeni
彼の そばに 狐が うずくまっている。

tuinemi solaki-yi xonji nio-keci deriu-ki-xele
狐に すぐ 人の形に なり始め、

xelei

niani xe tuinemi ekeci nio-keci dao-xen
彼女は 人に似て きた。

xelei

謡終

tumaki inin-ni Ante nio niani-meni Kante-we xodale-xeni
翌日 アンタは 人を行かせ カンタを 呼んだ。

tuinemi esi axa-gulun-ni xapse xesu-ini fuligian niukte yoton-ni tousian-ni
今 奴隷達が 報告した。 赤 毛 村の 使者が

eme-xen afe-le tuinemi oni ne-ki ayi ne-mi ayi-ji orin gujikuli asen
来て 戦いを挑んだ。 どうすれば 良いのか。 20 人の 美しい 女を

gele-ini eme Geike-xalan emeke Wuding-xala emeken Syoxole-xale juan
要求する。 葛家の人一人 呉家の人一人 舒家の人 十人

Yukeli-xalan duin eyi Kante-du medele-ini “uṇaki ayi”
尤家の人 四人を要求する。 カンタに 問うた 「どうすれば よい。」

Kante xesu-ini “aga si xonji eji ele. maci bi-le xesu-ini”
カンタは言う 「兄 あなた 急ぐな。 後で 話す。」

tuinemi jog-dule ene-le asen-tiki xesu-xeni Solaki doldi-le xesu-ini
そして 家に 行き 妻に 話した。 ソラカは 聴いて 答えた。

“ayi asen-gulun-du duli aci-rsyé exe gulun
「 女達が 奪われるのは よくない。 悪人ども！」

tuinimi Kante xesu-ini “eyi oni ne-uyi buti ke bu-rsyé” Solaki xesu-ini
カンタは言う 「これは どうしよう。我らは渡さない。」 ソラカが言う

“buti-we mangge-ji tui ne-ki buti niani-meni ayi-ji-du ne-syé”
「私たちを 苦しめるなら、 私達は 彼らを 許さない。」

謡(25)

xelilala xelei xelilala xeleilei xelei xelilala xelila xelila

ediasen embadu ekeci baite-we xesu-maci-ni dulune-xen
夫婦は 一緒に 少し ことを 互いに言い 過ごした。

axanio eme-le xapsu-xen
奴隷が 来て 報告する。

“nujen tousian-ni eme-xen” ne-mi xesu-ren
「女真の使者が来た」 と 言う。

xelilele xelei

Kante xonji niu-xen akin-jiyi tule bi-le
カンタは すぐ 出て 彼の兄と 庭に 出て

tunimi nujen gulun-ni tousian-ni eme-xen
女真族の 使者が 来た。

nieni·meni bakci·le cingan⁶¹·ne·mile naxan·du te·rkune·xe
彼に 会い 挨拶をして、 オンドルに 座らせた。

tuinemi axanio xapse·mi eme·xen
そのとき、奴隷が 報告しに 来た。

tu eji·tikile molin you saktul eme·xen.
東から 馬 も みた きた。

Ante nujen tousian·tiki mende·ini
アンタは 女真の使者に たずねた。

“esi ya·ji eme·xen nio molin”
「今 どこから きた 兵と 馬か。」

nujen tousian·ni xesu·ini
女真の使者は 答えた

eyi mini esi gia·dule gai·badu gele·xi
「私が 今 別の場所から 借りた。

xelilele xelilele

esi sindule alben gele gele·xei
今 あなたから 兵を 借りたい。」

xelila xelila xelei

話終

alang (22)

Ante akin axendu yicici·ki eyi ju taun molin·ni eyi yalu·ni nio
アンタ 兄弟は 見ると 二万の 馬に 乗った 人を

urke·dule urke tule·siki yili·xele eyi nujen tousian·ni ta·du ya bi·ren
門内に 門外に 立っている。 女真の使者は (彼らを) 野外に 止めた。

tuinemi Ante gelen alben saktul eyi jap·kere bi·si ba·du
アンタは 兵たち みな この周囲に いる 場所を

ako bi·sin ba·du yicici·le molin·me saktul olkte bu·kune·xen
野営している場所を 見た。 馬に みな 草を 与えさせた。

⁶¹ 請安 (漢語)

eyi nio molin furgian yakte-ni xoton gulun-tousian-ni Cebuker
人 馬の中に 赤毛の 村の 元帥 チャブカラがいる。

eyi Saxalin guoluo tousian-ni Xamate Wulabu guoluo tousian-ni Keyinna
サハリン 国の 元帥 ハマタ。 ウラブ 国の 元帥 カインナ。

Guoruluci guoluo-ni tousian-ni Demier. eyi duyin eyi alben-guansile-ini
ゴルジ 国の 元帥 ダミル。 四人は 兵を管轄する

tousian-gulun ta-du saktul eyi akone-le eyi tousian gisun-me alci.
元帥たちである。そこに みな 野営し 元帥は 命令を待っている。

謡(26)

xelilala xelila xelila xela xelila xelilala xelila

Ante neu-ni nujen tousian-ni
アンタと 弟は 女真 使者を

jog-duleyi yinggele tadu tein-u-kune-le
家に 入れ そこに 休ませた。

xergele bi-si nio arki-we yixan xoni ulgin ulse-me
手下の 人に 酒を 牛 羊 豚 肉を

yimaxa ulse-we saktul gaji-(kune)-xen
魚 肉を みな 持って(こさせ)きた。

tuinele duin guole-du alben-duni delde-xen
四 国の 兵に 分け与えた。

eyi axa-gulun-ni Cinxai-meni eyi gosin gulun tousian-xala-ni
奴隸たち 靖海ら 30 人の 頭領

duin guoluo tousian-meni embadu saktul
4 国 の 元帥と 一緒に

saule-ne-xele arki omi-ren
招き 酒を 飲む。

xela xele xelile

embadu laokele arki omi-ren
一緒に 話をし 酒を 飲む。

謡終

第9章

alang (23)

arki dere-duni nede-rgi-ini eyi furgian yakte
酒を 机に 並べ、 赤毛

eyi furgian yoxon yakte xoton tousian-ni jog-dule ying-xen
赤 毛の 村の 頭領は 家に 入った。

ningge-le nujen tousian-duleni embadu cingan xesu-ile
入ると 女真 使者 に 礼をし 言う。

eyi nujen tousian-ni eme-xeni feci-xesi a
「女真の 使者は 来て 疲れましたか」

nujen tousian-ni xesu-ini xesu-syei nujen tousian xesu-ini
女真の 使者は 言う 「答えられない」 女真 使者は 言う。

guolo baite feci-xen de aci-ele ayi tuinemi ya-de xesu-sye da-xan
「国の事で 疲れても 当たり前です。 何も 言うことないです。」

tuinemi ayi gelen tousian guansi⁶²-le alben guansi-le ti-tousian-gulun
各 頭領に 感謝する 兵に 感謝する。 あの元帥たちを

eme-kune-xen tuinele edu ayiji gisun-me xesu-xen
来させて、 そこで 感謝の話を した。

Ante niani ayi tousian te-kune-xen furgian niukte xoton duin guoluo alben-me
アンタは 頭領の座に 座らせた。 赤毛の 村の 四 国の 兵を

guansi-le tousian gulun-ni saktul tele-ki
管轄する 頭領たちは みな 座った。

Ante Kante julu Cinxai Yongge Leketuer Cunyanjun
アンタとカンタ 二人は座り、チンハイ ヨンラ ラカトル チャンエンジン

duin nio saktul xergele eme-xen tuinele arki omi deriu-xen
四 人 みな 下座に 来た。 そして 酒を 飲み始めた。

eyi Solaki eyi Nayin dedu euki-ni tadu eskuli uile-mi sexu⁶³-le-mi
ソラカと ナイン・ダド 兄嫁は そこで 煮て 給仕をし

⁶² 感謝 (漢語)

⁶³ 伺候 (漢語)

arki-we yao dao-lele
酒を 注ぐ。

esi fulgian yakte xoton gelen-tousian-ni eyi Solaki-we yici-kini
赤 毛の 村の 元帥たちは ソラカを 見て

eskuli gujukuli tui ne-mi goni-ini tungku arki-omi-dui goni-ini
大変 美しいと。 心が 動くと 酒を飲みながら 思う。

esi gelen arki-omi-duludui eyi nujen tousian-ni Ante-(tiki) xesu-xen
人々が 酒を飲んでいるとき 女真 使者は アンタに 言った。

"si guolo-si eme tumen cuxa gulun-ni oni bi-le
「あなたの国は 一 万 兵を 如何ですか。」

Ante xesu-inie esi bi bu-i sini gele-syen bu syi a
アンタは答えた。「今 私は 貸す。あなたが 欲するなら あげなければならない。

tuinemi niani-meni bu-yi ne-mi xesu-xeni
兵を 貸す と 言ったがは、

axendu julu niani-meni ene buti buti gase sini-ji da-xele-ji afe-i"
兄弟 二人 兵と供に 行き、我ら 我等共に あなたと 共に 戦う。」

tuinemi nujen tousian-ni xesu-ini "esikuli agdene-le bi esikuli
女真の使者は 答えた。 「大変 うれしい。 我ら 大変

agdene-le" tuinemi gulun nio saktul ayiji arki-we omi jefu-kuni
うれしい。」 人たちに みな よく 酒を 飲み 食べさせた。

saktul siun sikserin dao-xen-duni omi odi-xeti
みな 太陽が 夜に 達したとき 飲み 終わった。

esi Kante goni-ini eskuli agdenele tuinemi jari-remi derieu-xen
今カンタは 心に 大変 喜び 歌い 始めた。

謡(27)

xelila xelila xelila xelila xelei

nujen tousian-ni⁶⁴ Jinsyumu ejin
女真 使者 金術木 額真は

tousian-yi eme-kune-le
使者を 来させ、

⁶⁴ buluo (部落) の間違いでは？

medele-ini alben gele-ini
問う 「兵を 借りたい」と。

bu munu-we akin nou-ji
我等 兄 弟

gelen-gulun alben-me xerbe-mi gase ene-uyi
人々 兵を 連れて 一緒に 行く。

xelila xeli xelilala xeli xelei

saman-me mini enduli-we mini-we ayi-ji tukia-ni
シャーマン 私の 神 私を 好く 守れ。

bu tuinele ulgin-me xoni-me yimaxa
私 豚 羊 魚

saktul tuleni dere-du nede
すべて 神前の 卓に 供え

xelilele xeli xelei
tuinemi miakure-ie
ひざまづく。

xenanon (tarmi) tioko-we ulse-we yimaxa-we
鴨 鶏 の 肉を 魚を

saktul nede-rig-xen
みな 置いた。

xarteko dili-weni tokon-duleni nedele-rgi-ni
鯉の 頭を 真中に 置く。

xelilala xelelei xelinana xenina xeninana xenina xelei

degde-keci xuli-keci saktul bi-le
飛ぶもの 歩くもの みな ある

mono jo asen-yi Solaki-yi
私の 家の 妻 ソラカも

mini-we xulexa-mi belci-le
私を こっそりと 手助ける。

xelilele xelei

mini-we enduli-yi saman-yi seun-ni gaji-yi
我に 神 シャーマン 守護神を 連れて来る

enduli mini-we beyi-leyi eme-xei
神は 私の 身に 来た。

xelile xeli xelila xelilala xelila

munu-we ayi-ji esi afe-mi ete-kune-ro
我らを よく 今 戦い 勝たせたまえ。

samen suen munu-we ayi-ji afe-ni
シャーマン 守護神 我らを 好く 戦わせ

katan baldi-kune-ro
強く して下さい。

xelei

謡終

第 10 章

alang (24)

ti furgian yakte-ki xoton gulun-ni tousian-ni
その 赤毛の 村の 頭領たちは

eyi dere-du arki-we omi-mi Solaki-we gujukuli yicici-le
卓で 酒を 飲みながら ソラカを 美しいと 見た。

tuinemi gonin-duni eskuli agdene-le eyi Solaki bakeci-syen ekeci gujukuli
心に 非常に 喜び ソラカは 逢ったことない位 美しいと。

eyi goni-du goni-ni esi anile ejin-dui
彼は 心中 考えた、 以前から アジェンは (ソラカを)

tadu jafu-le xerbu-rgi-le bi-ki niani ejin-meni ayi-ji ne-le
捕まえ 連れてきたら、 女は アジェンを よろこばす と考えていた。。

tuinemi niani goni-ini xesu-ini ekeci gujukuli-we ya-le bake-le
彼は 考えて 言う、 「この様な美女は 何処にいる。」

tuinemi duxa bi-si duxa-nio ya-le⁶⁵ xulexa-mi tau
 親戚 親戚の人を こっそりと あちらの

tuinemi xoton-dule xapsi-mi bitexe-wei eyi tuinemi ejin-tiki xesu-xei
 (自分の) 村に 報告の 言付を アジェンに 送った。

afe-mi odi-le ene-dui eyi ele yisale eyi Solaki dedu asen-me
 「戦い終わり 帰るとき すぐ ソラカ・ダド 女を

sindu xerber-re ene-ren
 貴方に 連れて 行く。」

謡(28)

xelila xelila xelilala xelila xelei

esi Ante neu julu eyi Cingxai gulun duin gulun dule
 アンタ 弟 2人 チンハイ等 4人 は 中で

ejju-ki jog-du xesuci-ni bi-ren
 東 屋で 相談している。

oni cuxa-we xe ene-ie
 どの様に 軍隊を 行かせるかを。

Ante xesu-ini buti eme guolo gerbi-ni
 アンタが言う「我ら 一本の 国名を記すもの(国旗)を

gerbi oni xodale-ui Cingxai xala-du
 表すのに どのように 宣言しよう。」チンハイは 皆に

xesu-ini kilin-keci ekeci xesu-ini
 言う 「キリンのようなものに しよう。」 というと、

tuinemi gulun-nio saktul tiaxele-xen
 人々は 皆 同意した。

eyi cizi bo⁶⁶-dui eme aisin suyang boruku-ni
 旗 布に 金 黄 色の

aisin-keci boruku-duni aisin amne-ni
 金 色の 金色の 口で、

aisin kilin esikte muduli-keci dao-kune-le
 金色の キリンの鱗で、 竜のように なった。

⁶⁵ Bは、「Aの口癖で、特に意味はない」と言う。

⁶⁶ 旗子布(漢語)

eyi eskuli gujiukuli buti tate·ini mangge gulun dao·xen
大変 美しく 我ら 引率し 強者に なった。

xelilala lelei xelei

tuinemi gelen·nio saktul niani·meni
アンタを アジェンに ならせた。

Ante·we ejin dao·kune·xen
人々は 彼を

Kante·we sagdi tousian cuxa·we xerbe·mi
カンタを 大元帥とし、 軍を 引き連れ

saktul niani·meni gisun·me doldi·u·kune·lei
皆に 彼の 命令を 聞かせる。

xelilala xelei xelilala xelei

tuinemi toumaki·ni siun degde·syi·kini⁶⁷
朝 太陽が 昇らないとき、

Songali mangme furxe·duni
松花 江 北岸に住む

emken Jaxan·gouluo buluo ejin·ni tuinemi doldi·le
1 人の ジャハン国の 部落首領が、 聞いた。

nujen tousian·ni ele alben·me gele ne·mi
女真 使者が ここへ 兵を 借りに来た。

tuinemi eme·xen gerbini Kulanda ne·le
(その彼が) 来た。 名は クランダ と 言う。

xelilala xelilala xenila xelei

eyi molin·me yalu toxo·i (alben·yi) gaji·mi
馬に乗り 装備をした兵を 連れて

Kante·dule eme·le xesu·inia
カンタの所に来て 言う。

eyi nujen buluo·ni buti·we
「女真 使者が (命じ) 私達を

⁶⁷ または、genggitene 明るくなったばかり と B が補足

saktul ti-gulun duin-guoluo xotoni ba-duni
彼ら 4 国の人たちとが止まる村の 場所に

embadu bi-u-kune-xen
一緒に 駐屯させた。」

話終

alang (25)

esi eyi buluo guluni esi saktul mangge katen bi-siki
部落の人たちは 皆 非常に 強い 時期で。

eyi yilan mangme⁶⁸ juan niu guoluo saktul katan ne-le bi-siti
三 川 十 六 国は みな 強かった。

tuinemi eyi gelen-nio saktul ni de ya-we de xesu-syen
人は 誰か どれかも 言わない (互いに競わない)。

saktul eyi eme-nio gisun-meni guoluo gisun-mi deriu-xen
人々に 命令を 国が 命じ 始めた。

Ante gelen-gulun eyi cuxa-ni molen-ni saktul yici-xeni
アンタ達は 軍と 馬を 皆 見て、

saktul yici-xen tuinemi xonji ene-uyi ne-mi
皆よいと みて すぐ 集合させ、

Kante-me enduli-yi saman-yi saktul ne miakure-u-kune-re
カンタを 神 シャーマンに 跪かせ

eyi axa-gulun-meni ulgan-me wa-le eyi yixan-me wa-le
奴隷に 豚を 殺し 牛を 殺し

yixan-me wa-le xoni wa-le tioko-yi wa-le tuinemi saktul odi-ren
牛を 殺し 羊を 殺し 鶏を 殺し 全て 終えた。

Kante eyi tergele-yi enduli tergele-yi titi-rgi.
カンタは 衣 神の衣を 着て

eyi komaka enduli awung-yi titi-rgi burku enduli burku-yi eyi loku-rgi
鹿の 神帽を かぶり 鏡 神 銅鏡を 胸に下げ

tuinemi xurku-mi saman gaji-rgi-mi pilisili-mi deriu-xen
跳び シャーマンが付き 踊り 始めた。

⁶⁸ culake 川の誤り (前に出てきた)

sunjia xoton-du tousian-ni gulun-ni saktul eme-le yicici-le
五つの村の 頭領 達が みな 来て 見る。

eyi yicici-ini eskule-le saktul gelen-gulun xesu-ini
見て 感動し 人たちは 言う。

eyi Kante enduli-ki ebusikuli mangge
「カンタは 神が付き 特別だ。」

eyi seun-ni de eme-xeni tuinemi arki-we turile ne-mi gaji-xen
守護神も 来たとき 酒を ブルルと（神が）持ってきた。

eyi gelen-nio saktul eskuli eyike eskuli ciguai⁶⁹ ne-mi xesu
人たちは 「これは 不思議だ」 と 言う。

tuinemi gelen-nio sai-ini eyi Solaki ami-leni xuluxa-ni belci-ini
人たちは 知っているか？ ソラカが 後ろで こっそりと 手助けしていると。

enduli-ni beyi-duni ne eme-ini Ante-tiki xesu-ini
神が 体に 来た時 アンタに 言う。

si neu-si su-julu esi afe-kini exele baite anci
「貴方と弟 2人 戦っても 悪いことが ない。

tuinimi ene-kini amile xe ayi baite xe bi-ren
戦いに行けば 後に 好い事が ある。」

tui xesu-mi enduli ene-u-kune-xele
と言い 神を 去らせた。

Kante tergele aci-rgi awun-we aci-rgi te-le teine-mi bi-ren
カンタは 神衣を 脱ぎ 神帽を 脱ぎ 座り 休んでいる。

tuinemi axa-gulun-me xonji gaji-rgi-re ti solgi-yi ulse-yi ya-yi
奴隷たちに すぐ 持ってこさせ 菜を 肉を 何でも

saktul dere-duni nede-u-kune-xeni tuinele eyi tousian-me te-rgi-u-kune-xen
みな 卓に 並べさせ、 頭領を 座らせた。

gelen xoton tousian gulun-ni saktul te-rgi-re
各村の 頭領 達は みな 座り、

Cinxai gulun-ni ge eme-le gase embadu arki omi-mi deriu-xen
チンハイ等が 来て 一緒に 酒を 飲み 始めた。

⁶⁹ 奇怪（漢語）

ke ke ke

第 11 章

alang (26)

謡(29)

esi tousian agdene-mi deriu-xen, Kante-tiki jari-mi xesu-ini
頭領は 喜び カンタに 歌い 言う。

xelila xelilala xelila xelei

saman-si enduli-ni katan
あなたのシャーマン神は 強い。

Kante-si saman-si ayiji gon⁷⁰ ne-ro
カンタのシャーマンは すごい。

tuinemi niani-meni agdene-mi xesu-re
彼に 感謝して 言う。

niani-meni neu julu gase saman-duyi ayiji baou⁷¹-kune-re
貴方 弟 2人共 シャーマンに 守らせてください。

xelilala xelei xelilala xelei

albe-ni ete-le eme-rgi-ki buti eme-le
兵が 勝って 帰ったら 私達 来る。

buti embadu ayiji arki omi-uyie
私達 共に 祝いの酒を 飲もう。

xelei xelilaxelei

謡終

alang (27)

Kante eyiji gisun-me doldi-ini tuinem te-rgi-le eme arki marxon dao-xeni
カンタは この話を 聞いて 立ち上がり 酒を 沢山 注いだ。

gelen-nio-du saktul daru-xen tuinele xesu-ini tuki-uyi⁷²

⁷⁰ gon 供 (漢語)

⁷¹ baou 保佑 (漢語)

⁷² juli uileini yale を B が訂正

人々に 捧げて 言う、 杯を挙げて

ayi arki-we saktul omi-mi ekeci ete-uyi tuinemi Ante Kante neu axandu
「酒を 飲み干し 勝とう。」 アンタ カンタ 兄弟に言う。

gelen-mio eyi Kante-tiki saman-meni saktul katan ne-mi xesuci-ren
人々は カンタに 「シャーマンは 強い」と ほめる。

esi arki omi-mi siun sule-kile eu-mi deriu-xen-dule omi-xeni
酒を飲み 太陽が 西に 沈み 始めるまで 飲んだ。

saktul omi-mi soktu-du ene-mi mete-syeni-meni-du xebe-rig-mi nuku-rgi-mi
飲んで 酔い 帰ることが出来ないものを 抱え 送り

afine-u-kune-ren
眠らせた。

Ante Nayin dedu jog-dule ene-le amile-ki Kante Solaki-siki xesu-ini
アンタ ナインは 家に帰った 後、 カンタはソラカと 話す。

eyi buti age afe-tiki niani daxala-mi ene-ie niani-meni ayiji belci-le
「我ら 兄と 戦いに あなたと一緒に 行くけば あなたは よく手助けする。」

tuinemi mini dou goni-syei niani-meni eyi goni-sie yi
一緒に行くなら 私も 心配しないし、貴女も 心配しないですむ。

Solaki xesu-ini esi bi ene-mi mete-syen esi bi
ソラカが 言う 「私は 貴方と 行くことが 出来ない。 今 私は

xite-le da-xai goro xuli-mi mete-syei si mene ene-lo
身籠っているのだから 遠くに 行くことが 出来ない。 貴方 だけ 行きなさい。

bi euke-ji ayiji jog-du bi-yi yade baite-ni bi-sini mini-we xodale-rgi-kisi-ni
私は 兄嫁と 家に います。 何事か あったら、 私を 呼べば

bi yisa-yi tuinemi Kante-yi tebele-le asen-ni tui xeseci-iti
私は すぐ 着きます。」 カンタに 抱きついて 妻は 話す。

eyi gisun-me doldi-le Kante xesu-ini ya-we de xesu-sye da-xan
(彼は) 話を聞いている。 カンタは 話をしようとするが なにも 話せない。

tuinele ene-mi ediasen delxe-mi deriu-xen Solaki jari-mi deriu-xen
行くと 夫婦は 別れることになる。 ソラカは 歌い 始めた。

謡(30)

xelila xelei xelilala xelila xelei

budi edi sini-ji esi delxe-yi

私は 貴方と 離れる

buti ekeci guidami embadu afine-syi
私達はそれほど 永く 一緒に 寝なかった。

enduli buti-we embadu ayiji bi-u-kune-le
神が 私達を 一緒に させてくれ、

sini-we ene-u-kune-le esi afe-mi ete-le eme-rgi-kisi
貴方を行かせる。 戦い 勝って 帰る。

xelila xeninana xenina

esi saman-si enduli
シャーマン神力 がすごい。

gelen-gulun yoxon xoton-ni gulun-ni saktul agdene-mi deriu-xen
村人たち 喜んだ。

esi tousian-gulun-ni sini-we katan ne-mi guguda-ji yicicile-kini
頭領たちは 貴方 カンタを 高く 見ている。

xenine xenine xeni

goni-duyi gisun-meni saktul xesu-xei
心の中の 話を した。

sini ete-le eme-rgi-kisi
貴方が 勝って 帰ったとき

buti ayiji arki omi e ayiji arki omi omi
私達 酒を 飲もう 酒を 飲もう。

xelei xenile xene

謡終

alang (28)

tumaki erde te-rgi-re eyi Ante Kante-yi cuxa-we molin-me yicici-kune
翌朝早く 起きて、 アンタはカンタに 兵と 馬を 見に行かせた。

gelen busiku-ji saktul Cingxai-dulu ene-le yicici-kune
ブシュクと供に チンハイの所へ 行き 見させた。

Cingxai-yi molin-yi cuxa-yi saktul taun-xen tuinele xesu-kune-ini
チンハイに 馬 兵を 数え 報告させると

eme tumen niu minga yilan taun bi-ren Ante Cingxai-dui xesu-ini
一 万 六 千 三 百人 いる。 アンタは チンハイに 言う。

tumaki ⁷³ ayi ini buti tumaki ene-iu
「明日 (是) よい日だ。 我ら 明日 出発する。

eyi ini gelen-gulun saktul xulsa-yi eyi saktul taku-rgi-isu
今日 皆 掛け布団を 装備せよ。

tumaki buti ene-u eyi Cingxai jule ene-u-kune-yi
明日 我ら 出発する。 チンハイに 先に 行かせる。

niani-meni jake-ni tumaki erde sunjia ca-duni ene-uyi
彼に 荷物を持ち 明朝 五 時に 行かせる。

eyi yixan guyan-ni furgu-mi gulun aben-gulun embadu⁷⁴ eme-rgi-ini
牛の 角を 吹き 全 軍が 一斉に 集めよ。」

tuinemi tumaki erde erde da-xan niani-meni eyi yixan guyan-meni furge-u-kune-le
翌朝 になると 彼は 牛の 角を 吹かせ

Cingxai duin gulun eyi tousian saktul cuxai embadu-kune-le
チンハイ等 4人の 頭領は 軍を 集合させる。

Ante urke-dui tulu-ni yili-xeni Ante Kante axandu saktul
アンタは 門の 外で 立っている。 アンタ カンタ 兄弟

tergele-yi titi-rgi-le axa-yi molen-meni gaji-u-kune-le
服を 着て、 下僕に 馬を 引かせて来させ、

tuinele molen-dui axandu jule saktul molin-me yalu-kile
馬に 兄弟二人は 馬に 跨る、

gulun nio-yi nujen tousian-ji gase tu-siki niu-xele
人たちは 女真 使者と 共に 外に 出た。

Nayin dedu Solaki dedu yaxon-gulun-ni saktul nuku-mi niu-xele
ナイン ソラカ 下女たちは 送りに 出た。

⁷³ 是 (漢語)

⁷⁴ tako-mi deriu-xen を B が訂正

esi yoxon gulun·ni xaxa·gulun asen·gulun

村人の 男たち 女たち

se·ni sagdi gulun isikuli gulun saktul nuku·mi eme·xele

年寄り 幼い者 みな 送りに 来た。

Kante morgen esi asen·yi eyiji delxe·kini gonin·du mura exe·le

カンタは 妻と 別れると 思うと 大変 心が痛む。

Solaki gonini unkune·le⁷⁵

ソラカの 心は いたむ。

謡(31)

xelan xelilala xele xelei xelilala xelei

Ante axa·gulun·meni saktul embadu

アンタは 下僕たちを 集め

jixa·yi aisin·yi molin·yi yixan·yi urgen·yi xonin·yi saktul umbadu

「錢 金 馬 牛 豚 羊を 集め

ayiji yicici·lo ne·mi xesuci·xen

よく 管理せよ」と 命じた。

xelei

eyi jake·xala ni ulia·le ebude·le⁷⁶

「物を 誰かが 失くし 壊したら

eme·rgi·kini sini·we mangge ne·kune·yi

帰ってきた時 それを 厳しく する。」

xelei

tuinemi saktul xuli·u·kune·mi deriu·xen

そして (皆を) 出発させた。

esi nujen tousian·ni xerbe·rgi·mi ene·lei sula·siki ene·ren

女真 使者が (隊を) 引き連れ 行く 西へ 行く。

jule bi·si furgian yakte xoton·ni tousian·ni eyi Cebulake

先頭にいるのは 赤毛の 村の 頭領で チュブラカ。

⁷⁵ 尤金良が、後で挿入。

⁷⁶ exele nele·kisi Bが訂正。

Saxalin guolun-ni tousian-ni Xamate
サハリン国の 頭領 ハマタダの

de nio-ni molin-ni bi jule badu
人と 馬が 第2の隊。

Ulabu guolun-ni tousian-ni Keyina
ウラブ国の 頭領 カイナ

Wuluci (guolun-ni) de tousian-ni Demir
ウルチデ国の頭領 ダミエル

Kilin xoton-ni ejin-ni Ante xe eyi da yuansuai⁷⁷ Kante
キレン村の エジェン アンタと 大元帥 カンタは

cuxa-yi xerbe-rgi-mi ene-ren
軍を 引き連れ 行く。

xelilala xelei xelalila xele xelile

Jaxan gou tousian-ni Kulanda
ジャハン国の頭領 クランダは

molin-yi dui-yi gaji-mi eme-xen
馬の 隊を 連れて 来た。

niu xoton cuxa-ni molin-ni
六つ村の 兵 馬を

saktul embadu niu tumen niu ming yilan taun cuxa-yi bi-ren
あわせて 六万六千三百兵 いる。

eyi erin ani-le maci durnele-xeni
この時は 年を越し 少し 経つと

duyin bai-du bi-uyi yini saktul ayiji da-xen
4 月 で 日は よくなった。

xelila xeli xelei xelilala xelei xelei

olkte mo saktul nugian da-xani
草 木は 緑に なる。

bixan irga-ni xurku-mi da-xan
野 花が 躍る。

⁷⁷ 大元帥 (漢語)

esi yini eskuli ayi yini niamkuli da-ren
この日は 暖かいよい天気になった。

nujen tousian-ni munu xerbe-mi
女真 使者は 我らを 連れ

niu xoton-duni cuxa-ni molin-ni sule-siki ene-le
六つの村の 兵 馬は 西へ 進む。

tuinemi eyi Wugoucen-dule yilan-xala xoton-duleni yisa-xen
五国城に 三つの姓の村に ついた。

xela xelila xelilalal xela xelila xelei

xoton-duleni jo-du nio-ni marxon da-xani⁷⁸
村には 家に 人が 多かったが

asikte guluni sami saktul alben da-le ene-xele⁷⁹
若者が すでに 兵になり 行ってしまった。

tuinemi eyi sunjia xoton sulil-ni nuiju ba-duni
五国城の 西へ 60 里の所に

tadu cuxa-we yili-u-kune-xen
軍を 留めて、

ta-du saktul nio molin-ni saktul ta-du yisa-le
人 馬は そこに 着き、

eyi amdi yini-duleni Suyan medule-ni xoton-dule yisa-xen
数日の内に スヤン・ムドリ 村に ついた。

xelilalei xelei xelilei xelixeiei

謡終

第 12 章

alang (29)

謡(32)

nujen tousian-ni niu xoton cuxa-ni molin-meni
女真使者は 六 村の 兵 馬を 連れ、

⁷⁸ 尤金良が、訂正。

⁷⁹ 尤金良が、訂正。

Suyan-muduli xoton-duleni yisa-xeni
スヤン・ムドリ 村に ついた。

eme Yandu-le sunjia bia daxele-ni da-xan
ヤンドでは 五 月 になって いた。

xelinana xexalei

(nujen) tousian-ni Kilin xoton-duni Ante ejin
女真使者は キリン村の アンタ・アジェンと

gege⁸⁰ xoton-duni tousian-meni
各 村の 頭領を

jule urke-duni yili-u-kune-xeni tadu alci-(kune)-ren
南の門に 留めさせた そこに 待たせた。

xelilala xelei xelilala xele xelei

niani-meni tadu xonji tadu ejin-me yici-xen
女真使者は すぐ その アジェンに 会った。

sagdi ejin eyi-ke xusu-ini doldi-xen tuinemi agdene-le
大 アジェンが この 報告を 聞いて 喜んだ。

xelilalalele xelei

Jinwuju ejin duin site-yi julu-ki urke-duleni eme-le
ジンウジュ、アジェンの4男は、 南の 門に 来て

gelen alben tousian-du jake-we bu-xeni
各 隊の 頭領に 褒賞を 与えた。

Jinwuju eme taun usin xerbe-mi niu xoton-duit bi-sini
ジンウジュは 1 万の 百姓を 連れて 六つの村に行くと、

eyi (gelen) xoton gulun-ni tousian-meni saktul sauli-rgi-ren
各 村の 人 頭領は 敬意を表した。

xelilalei xeninale xenilei

tuinemi bakeci-le saktul xoton tousian gulun Jinwuju-tiki⁸¹
謁見し 村の 頭領たちは ジンウジュに

⁸⁰ 各各 (漢語)

⁸¹ A が訂正。

cing-an⁸² ne-mi miakure-iti
挨拶し 跪く。

Ante juluski ene-le cinan ne-xen
アンタは 前に出て 挨拶をした。

tuinemi niani ukia mangge xesu-mi laokele-xele
彼は 大変 熱心に 話した。

xelei

話終

alang (30)

ylan yini duleni-xen eyi Jinwuju ejin tuinel
3日 過ぎ ジンウジュ・アジェンは

arki-we yao saktul solgi-we saktul dere-uileni nede-le
酒を 菜を 卓に 並べ

eyi Kilin xoton-ni ejin(-meni) eyi niu xoton ejin-meni tousian-meni
キレン村の アジェンと 六 村の アジェンと 頭領を

saktul xodale-rgi-le arki omi-mi sauli-rgi-mi deriu-xen
みな 呼び 酒を 飲み 歓待した。

eyi omi-mi yilan eluru-duni omi-xeni eyi Jinwuju tousian xesu-ini
飲んで 三回 周り 飲んだ。 ジンウジュが 頭領に 言う。

eyi su tousian-xala-ni eyi Song cao⁸³ ba-weni saktul gaji-rgi-le
「貴方 頭領の皆さん 宋の 天下を 奪ってこい。」

eyi xoton tousian-ni gulun-ni xesu-ini bu ete-u gelen-gulun saktul xesu-ini
村の 頭領たちが 答えた 「我らが 勝つ。」と人々が 皆 言う

ejin gulun-ni (xesu-ini) bu oni de afi-mi ete-u
頭領たちは 「我らは 必ず 戦い 勝つ。」と言う。

alang (31)

話(33)

xelilala xelei xelilala xelei

⁸² 請安 (漢語)

⁸³ 朝 (漢語)

eyi erin eyi xoton-duleni Xamise xesu·ini
このとき 村の ハミスが 言う

eyi xoton cuxa·ni molin·ni saktul ekeci·yi marxon anci da·xan
「村の 兵 馬は、 少ない 多いは なくなった。」

tunemi bu emeke jiri⁸⁴·le juli·siki ene·uyi
我ら 一 吉日に 南へ 行こう。

esi nikan guluni xe ya·de sai·syen
漢族は 何も 知らない。

bu afi·ini esi ene·ki esi ete·uyi
我らが戦いに 行けば 勝つ。」

xelila xelei xelilala xelei

Jinwuju ejin doldi·le agdene·le xesu·le
ジンウジュ・アジェンが 聞いて、 喜び 言う

gelen·gulun tumaki ayi·ji cuxa·yi ayiji tati·isu
「皆さん 明日 軍を 訓練せよ。」

tuinemi niu xoton cuxa·ni molin·ni
六 村の 兵 馬は

Yandu xoton-duleni embadu bi·ren
ヤンド村で 合流した。

eyi nadan bia·du eme yini
七 月 一 日

Jinwuju niani·meni uyun sagdi ejin site·yi
ジンウジュは 9人の 大アジェンの 子を

embadu ele eme·kune·xen
一緒に 来させた。

xelilala xelei xelilala xelei

eyi niu gulun xoton tousian·ni saktul miacin·le·ini saktul sai·xeti
六人の 村頭領の頭は 槍術 巧みで
馬は 力強く 兵は 強い 大変 よい。

84 吉日（漢語）

xelilala xelei xelila xelei

Jinwuju ejin niani·meni
ジンウシュ・アジェンは

furgian yakte xoton·ni tousian·meni Cebulake·we
赤毛 村の 頭領 チュブラカに

eyi xoton cuxa·ni molin·ni saktul jule·siki ene·u·kune·ini
村の 兵 馬を 先鋒として 行かせた。

xelilala xenile xelei

eyi julu eyi julu·ni eyi ba·we baite ayiji sai·ren
(彼は) 南の 地の 事を よく 知っている。

Saxalin tousian·meni Xamate
サハリン国の頭領 ハマタに

niani·meni julu·ki ene·u·kune·ini
二番隊に 行かせ、

Kilin xoton·ni ejin Ante cuxa·yi xerbe·mi
キレン村の アジェン アンタに 兵を連れ

yilan ba·dui bi·u·kune·ini
三番隊に させ、

Ulabu de tousian Keyinna cuxa·yi xerbe·mi
ウラブ国の頭領 カインナに 兵を連れ

duin ba·dui bi·u·kune·ini
四番隊に させ、

Wuluci tousian·ni Demier cuxa·yi xerbe·mi
ウルチ国 頭領 ダミルに 兵を 連れ

sunjia ba·dui bi·u·kune·i
五番隊に させ、

eyi Jaxan tousian·ni Kulande cuxa·yi xerbe·u·kune·i
ジャハンの 頭領 クランドに 兵を連れさせ

niu ba·du bi·kune·ini
六番隊に させた。

xelile xele xele xelei xelei

語終

alang (32)

eyi Jinwuju ejin mene tousian-ji saktul xala-ni gulun gosin keci bi-si
ジンウジュ・アジェンは自分で 女真使者と 同属の人々 30人位

meni xoton-dui orin sunjia tumen nio molin amile bi-u-kune-i
を連れて 村の 二十 五 万の 人 馬の 後部の隊に させた。

tuinemi eyi niu ba-dui derde-rgi ti-gulun-me julu-siki eyi Song guolo-we
六つの隊に 分け 彼らを 先に進め 宋国と

afi-ukune-i eme xokto eme-mi baduni yilan xoton juan niu ba-du tousian-ni
戦わせた。 道を行く 途中の 三つの村 十六 箇所の頭領が

alben-ni saktul niu-le nale-yi ui-siki tokti-le afu-syi da-xan⁸⁵
兵が 出てきて 手を 上に 上げ 戦わない。

xala eyi alben cuxa-we xoton-dulei yao-u-kune-mi afu-syi da-xani
皆は 兵を 村に 進め 戦えなくなった。

謡(34)

xelilala xelei xelilala xelei

eyi suyan culake kere-duni Song guolu-ni
黄色 河の 岸に 宋 国の

eme tousian-ni Jansuye
頭領 ジャンスエが

eme-le afu-syei da-xai ne-mi xesu-ren
来て 戦わないと 言う。

esi jule ene-xen tousian Cebulake
先鋒を行く 頭領 チャブラケは

eyi yilan-fu ayi bu-xen sagdi nio molin
(彼に) 酒3壺を 与えた。大隊の 兵 馬は

umaci de kusun de ne-cie xoton-dulu yingge-ren
少しも 力を 用いず 村に 入った。

⁸⁵ A が訂正。

xelilala xelei

謡終

Jinwuju ejin ele eyi baite-we yici-le jari-mi deriu-xen
ジンウジュ・アジェンは これをみて 歌い はじめた。

謡(35)

xelila xelila xelila xelei

Kilin xoton-ni ejin yuan suai⁸⁶ ni gulun katan
「キレン村の アジェンと 元帥達は 強い

sunu esi guolo-we ayiji
貴方方の 国を 守る」

xelilala xelila xelilala xelei

furgian yante buluo-ni jule ene-ini
赤毛 部落の人は 先鋒を 行き

Saxalin buluo gulun-nio ami-le da-xalele
サハリン部落の人は 後続部隊。

xelilalei xelei

Kilin xoton-ni toukun-du bi-ren
キレン村は 真中の隊であり

Ulabu buluo ami-siki-du bi-ren
ウラブ部落は 後方隊で あり

Wuluci ami-le sunjia da-xani
オルカは 後方 第5隊に なった

eyi niu jio xe bi-ren Jaxan buluo ye
6人がまだ おり、 ジャハン部落だ。

xelilala xelila xelei xelilala xelei

bi mesike eyi gulun-me xerbe-mi ene-xei
我 自身 一隊を 連れて 行く。

⁸⁶ 元帥 (漢語)

cuxa-yi molin-yi olin susai tumen bi-le
兵 馬は 二十五 万。

xelele xenilala xelila xelei

xoktu-du xuli-ini xu ene-mi yilan xoton juan niu gasin⁸⁷
道を 行く 行くと 三 村 十 六 屯、

xoton-meni saktul eyi nale-yi tukutu-le afu-syen da-xan
村は 手を 挙げて 戦わない。

saktul munu-dulu tousian xala
我らの 頭領たちよ、

xelilala xele xelei xelilei xele

munu afu-ye eskuli agdene-mi da-xayi
私達は 戦い 喜んだ。

xelila

ysisale-yi yicikici-ni Luoyangcen xoton-dulu yisa-xen
見る間に 洛陽城 村に 着いた。

munu afu-mi eskuli katan ne-mi agdene-mi deriu-xei
我ら 戦い 強い 嬉しいことだ。

xelila xelila xelilala xelei

謡終

第 13 章

alang (33)

eyi Jangsyuye xesu-ini munu xoton-ni gelen-gulun-me yao-keci-ini⁸⁸
ジャンシュエは 言う 村の 人たちを 守り

tuninemi taousian-le⁸⁹ (afi-sye da-xan)
投降した。

⁸⁷ B は gasyen 「州」という意味がなく不明というが、gasin 「屯」の意味あり。

⁸⁸ 鍵を閉めるの意味と B が注釈。

⁸⁹ 投降の意味：A の説明。

esi furgian yakte xoton-ni bi-si tousian-ni jule-yi julu-siki ene-ini
赤 毛 村の 頭領は 先鋒として 先を 行く。

Song guoluo·du ti-gulun tadu eyi doldi eyi doldi-mi alci-le
宋国の 彼らは そのことを 聞いて いる

suyan culake Jangsyuye tousian saktul tousian-xeni
黄 河 ジャンシュイエ 頭領は 投降したと。

gelen-nio saktul lele-xele tuinele bugudene ene-xen
人々は 怖がり 逃げた。

Jinwuju de tousian niani tuinemi Luoyancen-le olin ba-keci-ji ne-mi da-ren
ジヌジュの 頭領は 洛陽から 20里のいる

ne-mi xesu-le
と 言う。

ti erin tadu saktul jasxan yimane-keci anmu eme-le
その時 手紙が 雪のように 報せ(口)が 来て

saktul eyi gulun-me degde-mi Song guolo-ni xoton-duleni yinggle ene-mi
人々は 飛ぶように宋国の 村に 入城し

eyi Song guolu-ni sungta xoton-ni uyile isikuli eyi saktul lele-mi deriu-xen
宋国を 深く 村 上の者 小者を 皆 恐れた。

tuinemi Song censiang⁹⁰ Jangbancang saktul mete-syi da-xe nemi xodalele
宋国の相 ジャンバンシャンは だめだ と 報告され、

tuinel saktul amile sai-xeti eyi ya-we sou-syi
後(チンゾンに) 全てを報告(奏)せざるをえないと知り、

uisiki sou-ini⁹¹ Cinzong-du xapsi-xeti eyi Cinzong eskuli lele-le
上奏し、 チンゾンに 訴えた。 チンゾンは 大変 恐れて

tuinemi Song guolo ner⁹² olokte de da-xan jefu de anci da-xan
宋国の 中は 草もなく 食料もなくなった。

cuxa de gia-siki eme gia alben de eu-siki eme-ini de anci
軍 は 国外から くる 別の兵(援軍)もこちらへ こない。

⁹⁰ 丞相(漢語)

⁹¹ 上奏(漢語)

⁹² 内(漢語)

eyi Jangbangan dui Song Cinjon dulu
ジャンバンチャンは ソンチンソンを（代表して）

ejin Jinwuju-le xesuci-mi
ジンウジュのところへ行き 言う

eyi afu-sye da-xelou nemi tuiyi xesuci-ini
戦わないことにしたと 言う。

謡(36)
xelilala xelilala xelila xelilala xelei

Jangbangan eyi Song guo
ジャンバンチャン、 宋国(の代表)は

furgian yakte gulun xoton tousian
赤毛の 族 村の 頭領

Cebulake bi ba-leni eme-xen
チャブラカが野営する場所に 行った。

furgian xoton tousian-ni eyi tuinemi eyi Jinwuju yoxon ejin
赤毛の 村の 頭領 (チャブラカ) は ジンウズ 村 アジェンの

yuansuai duleni bi-syi-men-de sai-rsyen
元帥 でないことを 知らない。

tuinemi Cebulake-ji xesuci-xeni
チャブラカと 和平を協議した。

Cebulake-ji ayi jake-we gele-mi deriu-xen
チャブラカは 物を 要求した。

xuluxa-mi olin tumen budu-we gele-ini
内密に 20万匹の布を要求し、

aisin olin tuman yen-we aisin-me gele-ini
金 20万 両を 金を 要求し、

xaiyou yilan (gosin) tumen yau (mewung) gele-ini
さらに 三 万 両(銀)を 要求し、

eme taun asen gujikuli-we gele-ini
百人の 美女を 要求し、

tumaki erde-du saktul gaji-u-kune-ini
翌日までに 持ってこさせた。

xelilala xelei xelilala xelilei xelilala xelei

Jangbancan eyi barte-we sai-rsyen
ジャンバンチャンは この事を 知らない。

tuinemi jiu⁹³ tiaixale-xeni
すぐ 同意した。

Cinzong gei xesu-xeni eyi xoton-duleni
キンゾンに 言う 村にある

saktul eyi aisin-me tumen-me budu-we
金 万両 布

gujukli asen xit-we nuku-xeni
美女を 持ってきた。

xelila xelei xelei xelei

tumaki erde Janbancan eyi jake-we saktul
翌朝 ジャンバンチャンは 物を 全て

Cebulake-du bu-xeni
チャブラカに 与えた。

tuinemi Cinzong baite-ni anci nemi goni-rgi-ni
キンゾンは 何事もなく解決したと 考えた。

tumaki erde eyi baduni
翌朝 ここに

nujen goulun-ni you eme mi duriu-xen
「女真族は また 進み 始めた。

eyi xoton-du kere-duni yisa-xan
村の近くに 着いた。」と報せがきた。

Janbancan doldi-le lele-xen
ジャンバンチャンが 聞いて 驚いた。

xonji dili-ni saktul ongme-ini
すぐ 頭は すべて 忘れ

⁹³ 就 (漢語)

yala de ne-syei de sai-syen da-xani
何も せず 分からなく なった。

謡終

alang (34)

furgian yakte-ni xoton-ni tousian-ni eyi Song guolun baite-weni
赤毛の村頭領 (チャブラカ) は 宋国の 宝を

jake-ni jixa-ni asen-ni saktul bake-le tuinemi dorbu xuluxa-mi ene-xele
物 銭 女 を取り 夜 そっと 去った。

謡(37)

xelilala xele xelilala xelexelei xelilalei xelei-

tugulun ene-xele adi bia da-xan
彼らが 国を出て 数ヶ月 経った。

eyi ini Gaijin ba-leni xoton-ni-dulel yisa-xan
今日 ガイジンの 村に 着いた。

Cebulake ele Ante jog-duleni eme-xen
チュブラカは アンタの家に 着いた。

tuinele eyi jo eji-ki jo-leni yisa-xan Kante asen-meni gelte-ini
東屋に 着き カンタの妻を 捜し

esi Solaki esi site-ni bi-ren yaxan-ni laokele-mi bi-sini
この時 ソラカは 子供と 居た。下女と 話をしていた。

Cebulake jule-siki ju nale-jiyi⁹⁴
チュブラカは 前に出した両手で

Solaki-we tebulaxele tule-siki begedane-ini
ソラカを 抱きかかえ 外へ 駆け出し

niani-meni sejin tou-le usia-mi xuli-mi ene-xen⁹⁵
彼女を 車に 乗せ 引いて 走り 去った。

謡終

⁹⁴ A が訂正。

⁹⁵ A が訂正。

alang (35)

Solaki sai-syen tuinemi eyi (yale) eme-xeni nio molin saktul alben-ni
ソラカは知らない 何処から 来た 人 馬 軍か

afe-ini jake-ni niani-meni enduli dasi-xen
兵 器が 彼女の 守護神を 下敷きにした。

tuinemi nian-du ya-de mete-sye da-xani
それ(守護神)は 何も 出来なくなった。

niani-meni jafu-le xerbe-xen
彼女を 捕まえ 連れて行った。

Ante asen-ni Nayin dedu Solaki yao jafu-le xeb-u-kune-le
アンタの妻 ナインは ソラカが 正に 捕まり 連れて行かれるのを

mene de belci-mi mete-syen
自分は 助けることが 出来なかった。

niani sucia-xeni eyi axa-gulun ene-u-kune-le
彼女は 隠れ 下僕を 行かせた。

axa eme-le xesu-ini niani de sai-xeni eyi
下僕が 来て 言い 彼女が 知ったことは

furgen yakte gulun-ni tousian-ni Solaki-we jafe-ini
赤毛の 族の 頭領が ソラカを捕らえた。

niani yade baite de oni de ne-mi de mete-syen oni ne-le
彼女は 何事も どのようにも 出来なかったら どうする？

Ante Kante eme-rgi-ini eju xesu-ini
アンタ カンタが 帰ったら こう 話すしかない。

謡(38)

xelilala xelila xelilala xelila xelei xelila xelei

esi Jinwuju ejin

ジンウジュ・アジェンは

eyi Xamate tousian-meni Luoyan-kere-duni juan ba-du
ハマタ 頭領を 洛陽の近く 10 里の

tadu ba-du bi-u-kune-le
ところに 止ませた。

eyi jule yicici-xeni juleni nio-ni cuxa-ni saktul anci da-xan
前方を見たが 先鋒隊の 軍は 何も なくなっていた。

tuinemi medele-xeni eyi furgian yakte xoton-ni tousian-ni
聞いた 赤毛の 村の 頭領が

ya-siki ene-xen ne-mi xesu-xen
何処かへ 去ったと 言う。

Song guoli ayiji jake-we bu-kune-le begedane-rgi ene
宋国 の 良い物を 与えられ 逃げ帰ったと言う。

xelilala xelilei

Xamate ye goni-ini de tonkon niani jule-siki ene-le medele-xeni
ハマタは 心が 動転し 彼は 先を 行き 尋ねた。

tuinele Song guoluo
宋国の頭領は

aisin-ni tumen bosu-we jake-we asen site-we
金 万両 布 物 女

saktul tuinemi bu-yi ne-mi xesu-lei
すべて 与えた と 言う。

tuinele Xamate niani-meni
ハマタ 彼は

eyi furgian yakte xoton tousia-meni tati-xeni
赤毛 村の頭領に 習い

jake-we gaji-u-kune-le ene-xele-ni
物を 取って 去った。

eyi yilan gulun alben gulun-ni
今度 第3隊

Kilin xoton-ni ejin Ante Kante ele eme-xeni
キレン村のアジェン アンタ カンタ が来た。

tuinele Luoyangcen-siki suinjia ba-du da-xani
(彼らの兵馬は) 洛陽から 5里の所に 達した。

jule alben de molin de anci da-xan nio de anci da-xani
第2隊の兵 も 馬 も 居い。 人 も 居い。

nio-yi tuinele medele-xeni eyi saktul eyi ju-gulun xoton-gulun-ni
人に 訊くと 二つの隊の 人たちが (チャブラカとハマタ)

Song guolu-duni ayi jake-we bu-kune-le saktul bugedane-xeni
宋国にある 宝を 奪って 逃げた。

xelilala xelila xelei xeninana xena xeninana xelei

Ante Kante eyi axandu
アンタ カンタ 兄弟は、

xonji eyi Jinwuju ejin-dule xapse-xen
すぐ ジンウジュ アジェンのところへ行き 話した。

Jinwuju doldi-le xanke-mi eyi xodale-rgi-mi
ジンウジュは 聞いて 怒って お声で叫びにきた。

Ante Kante niu-le agdene-mi gaji-rgi-kini
アンタ カンタは 門に出て (ジンウジュを) 喜んで 迎えた。

Jinwuju ejin niani axandu-we ayiji ayi nemi xesu-xen
ジンウジュ アジェンは 兄弟は 誠実だと 言う。

xelilala xelei xelei xelilala xelila xelilala xelei

語終

Luoyangcen-dule kere-duleni yisa-xan jo-yi angku saktul o-xen
洛陽の 近くに 着き 野営 テントを 建てた。

esi Song guolu-ni nio-we eme-u-kune-xen
宋国は 人を 派遣してきた。

Jinwuju Ante Kante tule-siki agdene-mi alci-xen
ジンウジュを アンタ カンタは 外に 歓迎し 待つ。

Jinwuju ayi niani axandu eskuli ayi nemi xesu-ren
ジンウジュは 兄弟は 誠実であると 言う。

tuinemi eyi Luoyangceng kere-duni eyi angku-we yao o-xule tadu alci-ini
洛陽の近くに テントを 建てて そこで 待つ。

Song guolu-ni niani tousian-yi xerbe ene-u-kune-ren eyi Jinwuju-ti
宋国の 頭領 (皇帝) を 連れて 来させた。 (皇帝は) ジンウジュに

xesu-ini aisin bu-yi eyi jake-we saktul bu-yi eji afe-ro
言う。 「金 与え 物 すべて あたえから、 攻めるな。」

Song guolu jake-yi saktul nuku-ini
宋国の物を送った。

Jinwuju eyi-we ejin tiaxe-le-syen taugu-we yaode gele-syen saktul gele-syen
ジンウジュはこれに同意しない。そんな物何も要らない。すべていらぬ。

tuinemi niani-meni ami-siki saktul ene-xen
彼は後方へ去った。

alang (36)

eyi Jinwuju yao bu-xen de gele-syen
ジンウジュは何の物をいらぬ。

tuinemi Cingzong yade baite de xesu-sye da-xan
チンゴン皇帝は何事も言えなくなった。

tuinele ene-le ami-siki ejin-tiki ejin-tiki xesu-xen tuinele eyi Jinwuju jafule-kini
ここに来た皇帝の父と皇帝を命じてジンウジュは拘留した。

Jinwuju xesu-ini jarimi deriuxen
ジンウジュが言い歌い始めた。

謡(39)
xelila xelila xelila xelei

furgian yakte xoton-ni tousian-ni eyi
赤毛村の頭領

Cebulake syf⁹⁶ eme esikuli exe
チャブラカは(是)大変悪い。

Song guoluo jixa-ni saktul gele-xeni asen-meni gele-xeni
宋国の金をみな取り女を取り

xelai xelilei xelai xelilala xelai

tunele bugedane-xeni
そして逃げた。

Saxalin tousian-ni Xamate emadi niani-meni tati-xeni
サハリン頭領ハマタは多く彼を習い

⁹⁶ 是(漢語)

eyi julu jiancen⁹⁷ eskuli bute bake-iti wa-xei
2人の 奸臣（漢語）を 我ら 捕まえて 殺したい。

Jinwuju xanke-mi xesu-ini
ジンウジュは 怒り 言う。

xelai xelai xelai

eyi ju xoton amile saktul wa-uyi
2つの村は 後に 殺す。

eyi Kilin xoton-ni duni eskuli gulun-we ayiji baole⁹⁸-le
キレン村の 人を 良く 守り

ejin Ante yuansuai Kante gonglao-ni sagdi
アジェン・アンタ 元帥 カンタの 功勞（漢語）は 偉大だ。

xelilala xelai xelai

話終

第 14 章

alang (37)

eyi erin Jinwuju ejin baite odi-le tuinemi cuxa-yi saktul ene-u-kune-ren
この時 ジンウジュ・アジェンは 事を 成し終え 軍を 去らせ。

uyin bia-du da-xani eme-rgi-le xoton-duleni eme-rgi-xen
九月になった時 帰る 村に 帰る。

xokuto-du gelen yoxon tousian-ni gulun-ni saktul niani-meni yici eme-xen
途中 各村の 頭領 達は 彼を 見に 来た。

Kante morgen Jinwuju ejin-ji gase eme-rgi
カンタ・モルゲン は ジンウジュ・アジェンと 一緒に 帰り。

niani goni-ini buti xaxa gulun unakami ekeci bi-uyi
彼は 思った 我々 男は どうして このよう なのか

tuinemi niani-meti Yandu-le eme-rgi-ni
彼は 燕都に 帰り

⁹⁷ 奸臣（漢語）

⁹⁸ 保（漢語）

ele urke yinge-rgi-kiti sagdi ejin urke-yi dule-yi e bakeci-mi bi-ren
門に 入ると、 大 アジェンが 門に出て 出迎えた。

eyi Jinwuju ejin tuinemi saktul tousian-xala-ni yicici-mi odi-le
ジンウジュ・アジェンは、 頭領達を 見 終えて

tunemi jafu-le gaji-ki nio axa-nio ami-siki xesu-ini
捕まえて 連れてきた 奴隷を 父に与え 言う。

tuinele mene jog-dule ene-le teine-mi bi-ni
私は 家に 帰り 休む。

sagdi ejin tumaki ini arki-yi solgi-yi saktul nede-le
大アジェンは、翌日 酒 肴を 置き

eyi Jinwuju tousian-ni ejin-ni saktul eyi gulun-me tui gaji-rgi-le ami-du yicici-kune-yi
ジンウジュ 頭領 アジェンは 人たちを 連れてきて 父に 拝謁させた。

sagdi (ejin) furgian yakte-ni xoton tousian-ni bugdane-xen baite-we doldi-le
大アジェンは 赤毛 村の頭領が 逃げた 事を 聞き

xanka-mi xesu-ini amile ta-we tako-uyi
怒って 言う 「後で それを 片付けよう。」

tumaki ini eyi ejin jake-yi gaji-rgi-le saktul gelen nio-du alben-gulun-nio-duni
翌日 アジェンは 物を持ってきて 人々 兵の人に

eyi tousian gulun-duni saktul bu-xen
頭領 達に 与えた。

Jinwuju ejn eyi Kante-we morgen tate-rgi
ジンウジュ・アジェンは カンタ モルゲンを 引き留めた。

Kante guidami ene-cini dui goni-rgi-le
カンタは 長い間 家に帰っていないと 思い

Solaki goro-yi goni-rgi-le
ソラカを 遠くから 恋しく思った。

eme dorbu-ni eyi Jinwuju tousian-ni ejin niani-meni xodalele xesuci-ini
一晚中 ジンウジュ頭領アジェンは 彼を 呼び 言う

tuinemi xesu-ini
言う。

sunu eyi xoton-su eyi furgian yakte xoton ukia goro
「貴方方の村は 赤毛 村から どれだけ 遠いか。」

Kante xesu·ini mono ba·le furgian yakte xoton·kiti⁹⁹ yilan taun ba·keci bi·ren
カンタが答える 「私の地は 赤毛村から 300 里 ある。」

eyi ejin Jinwuju xesu·ini
アジェン・ジンウジュが 言う

morgen si ene·le alben xelbu·rgi·mi eyi jako·we ene·le saktul wabu·so
「 Morgen 貴方は 行き 兵を 連れて 宝を持ち逃げした者を 殺せ。」

Kante xesu·leni acile de xesu·ini
カンタは 答える「正しい(そうする)」と 言う。

tuinele Kante ene·le aki·ti xesu·le
カンタは 行き 兄に 言う。

tumaki aki·ni guluban·ni tele ene·lo
「翌日 兄は 馬に曳かせる船に 乗り 家に帰りなさい。」

jodulu yicici·lo oni bi·si·du sai·syen
家の中を 見てください。 どう なっているか わからない。

tuinemi bi ya erin ene·yi·de sai·syen
私は 何時 帰れるか 分からない。

aki·yi jule ene·u·kune bi xe alben·ji gase ene
兄を 先に 行かせて、 私は 軍と共に 行く。」

Ante eyi gisun·me doldi¹⁰⁰·mi odi·rig·le acile ene·le
アンタは 話を 聞き終え 「そうしよう。出発しよう。」と答えた。

謡(40)
xelilala xelei xelilala xelei

tumaki ini Ante ey
翌日 アンタは

busyku·yi xe alben molin·ji cuxa·yi (xerbe·mi)
ブシュクと 兵 馬 軍を 連れて

saktul molin·duni tako·le xerbe·rgi·le
全てを 馬に 積み 持って行った。

emdan·du Wuguoceng·dule yisa·xen
第1拠点 五国城に 着いた。

⁹⁹ A が訂正。

¹⁰⁰ xesu (言う) は doldi (聞く) の間違い。

Wuguocen-duleni tousian gulun-ni saktul niani-meni yici-xen
五国城の 頭領達が 彼を 出迎えた。

tuinemi saktul niani-meni katen ejin ne-mi xesu-le
彼を 強いアジェンと 言う。

xelei xelei

Song guoluni ju ejin-ni eyi du jafu-le bi-ren
宋国の 2 人のアジェンは そこに 捕まっている。

Ante esi madan enele
アンタは 今回 行くと、

esi ene tadu gulunule saktul agdene-mi
彼らは 歓待し

yicikeci-le arki-we saktul omi-u-kune-ren
迎え 酒を 飲ませた。

xelei xelilei xelei xelilala xelei

謡終

Ante niani-meni Jilenantu-tiki xesu-ini esi Song guoluoni ejin-ni
アンタは ジラナントに 言う。「宋国の アジェンは

yadu buda-xan bi mini-we yicici-u-kune-lo
どこに 捕まっているか。私に 会わせてくれ。」

Jilenantu xesu-ini aye
ジラナントは 言う 「良いです。」

tuinemi Ante tale Songali julu nio-ni tousian-meni yici-xen
アンタ そこで 宋国の 2 人の 皇帝 会った。

Ante emargaji xuli-mi emargaji xesu-mi ayi Wuguocen ba-leni yici-xen
アンタは 歩きながら 言う 五国城がある場所を 見ると

Ante xesu-ini ayi ba xe mura ayi
アンタが 言う この場所は 大変 よい。

Wuguocen kere-duni eme urken bi-ren eyi urken-ni ame xotin bi-sini
五国城の 周囲に 一つの山がある。この山に 井が ある。

adi xotin bi-sin ti ame xotin-du Jilenantu sagdi eyi nala-ji
多くの 井が ある。 その一つの井を ジラナントは 指で

eyi xotin-me jori-mi xesu-ini si eyi yicici-lo
井を 指し 言う。 「これを 御覧なさい。

ejin ti-duleni ti xoti-dulene bi-ren
宋国のアジェンは そこに その 穴の中に 居る。」

第 15 章

alang (38)

jule nujen ejin-ni eyi Song guolu-ni ejin-ni ami-weni site-weni
以前 女真アジェンは 宋国のアジェン 父と 子を

eme adi nio-ni saktul buda-xan esi Wuguocen-du xotin-dun de bi-ren
数人を 捕らえ 五国城の 井戸に 押し込んだ

tuinemi tousian-yi edu yicici-kune-ini
頭領は そこへ 見に遣らせた。

eyi Wuguocen baite-weni tousian-gulun xesu-ini eji bugdane-kune-le
五国城の 事務 頭領が 言う 「決して 逃がすな。」

Jilenantu Wanyannacu gelen jule xesuci-iti
ジラナント と ワンヤンアチュ 2人は 言う。

esi Song guole-ni ejin-ni ami-ni xite-ni ekeci ayi de ayi baite baka-cen
宋 国の 頭領 父 子 少しも 良い事が ない。

eyi xotin-dule-ni te-le ba uisikini yicikici¹⁰¹
井戸の中に 座り 天を 仰ぎ見る

tuinemi eyi xotin ayi-ji taku-rgi-iti eyi Song guolu-ni ejin ami-ni site¹⁰²-ni
井戸を きれいにさせるため、宋国の アジェン 父 子

edu xotin xelgi-leni bi-u-kune-iti edu tuka-iti
ここの 井戸の底に 閉じ込め ここに 監視する。

esi Ante Jilenantu julu xoton-kere-duni eusiki xule-le tau-siki yicici-le ne-iti
アンタとジルナト2人は 井戸の周りを こちらへ 行き あちらへ 見る。

edu niu ke niu nio ayi xotin-duleni bi-si
6人 6人の人が 井戸の中に いる。

¹⁰¹ 元 yadu duleni uisiki ba-we yicici-iti xotin-duleni を B が訂正。

¹⁰² ani (母) でなく、site (子) の間違い。

emeke eme te-xen de bi-le dudu-xen de bi-ren
一人 一人 座っている者 横になっている者も いる。

eyi xotin-kere-duni olin nio xule-mi edu tuka-iti
井戸のそばに 20人 以上が 監視する。

tousian Wanyannaju yicici-le Jilanantu eme nio-we eme-kune-le
頭領 ワンヤンナチュが 見ると ジラナントが 一人の人を 来させたので

tuinemi niu-xen eme ju nio bakeci-le
出迎えた。 2人は 会い挨拶する

Wanyannaju Ante-we xe Jilanentu-we ju nio-ni jog-dulu ya-u-kune-xeni
ワンヤンダジュは、アンタ と ジアナント 2人を 家に 入れさせた。

ukia guida-mi laokele-xele ju nio ene-le teine-rgi
長い 時間 話をして 2人は 去り 休む。

謡(41)

xenilala xenina xeninana xelei xeninana xelei

nujen guolu-ni eskuli katan
女真族が 全 盛のとき

nujen sagdi ejin-ni cuxa-yi Songgali Saxalin
女真の大アジェン は 軍に命じ 松花江 サハリン江

Wusuli mangme kere-duni te jo yoxon-me xoton-me o-xeni
ウスリ江の 川辺に 家 村 町を 立てた。

xenilala xela xelei

yade baiten-ni bi-kini alben-yi xerbe-mi afe-le
何事が あったら 兵を 引き連れ 戦うことができる。

Ante ekeci(sagdi) xoktu du-meni xoton-duleni ene-ini
アンタは、この様な 道 沿いの 村へ 行く。

dulian bia-du yoxon-dule ene-rgi-ni
半月で 村に 着いた

gelen nio saktul niani-meni agdene-mi yicici-rgi
人々は 彼を 歓迎し 会った

xelei xelei xelilei xelei
謡終

alang (39)

Ante esi eyi busku xesu-xen sini asen-si de bude-xen
アンタは聞いた、ブシクが と言う、「貴方の 妻は 死んだ。

neu-xi asen Solaki furgen yakte-du jafu-le xebule-(u-kune-)xen
弟の 妻 ソラカは 赤毛族に 捕まり 連れて行かれた。」

tuinemi Ante eyi busku xesu-u-kune-ren axa-(gulun)-yi tixa
アンタは ブシクに 言われた。 奴隷達は 彼に

miakure-(kune-)xeni song-mi xesu-ini ekeci oni mi ekeci exele baite bake-xen
跪ずき 泣きながら 言う「この様な 不幸なことが 起こった。」

Ante doldi-le xanke-mi xesu-ini esi bi alben-ni cuxa-yi xerbe-mi
アンタは 聞いて 怒って 言う 「私 兵 軍を 率い

eyi furgian yakte xoton-me eyi-we wa-yi wa-sye-niki eme-rgi-sye
赤毛 村を これを殺す。 殺さなければ 帰らない。

wa-syeni-ki bi goni-yi ayi dake-syen
殺さなければ 私の心は よくならない。」

tumaki sikserin buda jafu-mi odi-le ene-uyi xesu-ren
翌日の 夜 飯を 食べ終えて 出発すると 言う。

xergi bi-si morgen-me gelen nio-me axa-yi saktul xesu
手下の モルゲン 人々 奴隷に 言う。

Ante niani-meni jo-lu ene-le tuinele jog-dule eme-rgi-le jo-ni
アンタは 家に 行き 家に 戻ると 家の中は

gotikoli goni-ini eskuli une-le julu-siki maci julu-keci bi-syen
冷たく 心は 大変 痛い 眼前の事は 少しも 以前と比べる られない

tuinele yiktele-yi sane-mi xesu-ini mini duxayi nio-ni asen-yi neu-ni asen-ni
歯を 噛み 言う 「私の 親族 妻 弟の 妻

saktul embadu bi-ki uki aye esi bi mesike da-xai tuinemi xesuci-ini
皆が 一緒に いれば どんなによいか。 今は 私 だけになった。」 と言う

dorbu sakarki da-xai tuinele gelen eyi axa-gulu-meni xusu-le
夜は 暗くなった。 奴隷たちが 言う、

buti eyi jule Nayin dedu kere-du (ukia ayi)¹⁰³
「私達は 以前の様に ナイン・ダドの側にいられば どんなに よいか。」

Ante jari-mi deriu-xen
アンタは 歌い始めた。

謡(42)

xelila xelila xelei xelilalei

munu neu-yi axandu-ni goro ba-duni afi-mi ene-xen
私達 弟 兄弟 遠い所へ 出征 した。

xelilala xelei xelei

jo-dule eme-rgi yade anci da-xan
家に 帰っても 何も 残っていないなくなった。

xelei

asen-yi bude-xeni neu-yi asen-wedu jafu-xele
妻は 死んでしまい 弟の 妻は 捕まった。

xelilalei xelei

jo-ledui gotikoli eyi ini baldi-uyi
家の中は 冷たい 日を 過ごす。

asen-yi nio-du wa-xeni ekeci
妻を 殺したような者は

bi katan xaxa unakami niani-meni wa-rsyeni
私 英雄は、 どうして 彼を 殺さないでいようか。

furgian yakte xoton-ni bi-ki tousian-ni
赤毛村の 頭領を

baka-ki dili-weni aci-yi.
捕らえ 頭を もぎ取る。

nian-keci exel baite ne-xeni
彼のように 悪事を した奴の

dili-weni unakami aci-syei
頭を どうして もぎ取らないことがあろうか。

¹⁰³ A が後で挿入。

xelei xelilalaxelei xelilalei

謡終

alang (40)

tumaki ini erde Ante eyi axa-gulu-meni ~~tousian~~ xergile-ji tousian gulun-ni embadu
翌日 早く アンタは 奴隷たちに 手下の頭領達を 一緒に

gelte-rgi-le xesu-mi deriu-xen tunemi Ante gelen-gulun eme-kune-le
集めろと 命じる。 アンタ 人々を 来させ

saktul tele-u-kune-le duin tousian-ni (guansi-le ba-duni) saktul ~~eme-xen~~
座らせた。 「4人の頭領の地区には 全部で

tuinele asikte gulun ukia bi-le medele eyi tousian xesu-ini
若者 何人いるか。」 と問う。 頭領は 答えた

buti duin tousian guansi-le ba-duni asikute gulun xe ju tumen bi-ren
「我ら4人の頭領の 管轄地区に 若者は まだ 2万人 いる。」

Ante xesu-ini mini neu Kante eme-rgi-ini buti ene-uyi
アンタが 言う 「私の弟が 帰ってきたら 我らは 兵を出す。

tumaki erde buti eyi asikte gulun-me xodale-rgi-le tati-uye
翌朝 早く 我らは 若者を 集め 訓練する。

Kante tousian eme-rgi-ini buti nio tale afi-ene-yi
カンタ頭領が 帰ってきたら 我ら そこへ 出兵する。」

Kante aki-we eme-rgi-u-kune-le jo-yi goni-rgi-mi deriu-xen
カンタは 兄を 帰らせてから 家のことを 考えた。

eyi ini Jinwuju ejin niani-meni gelen-gulun tousian gulun-me sauli-kini
この日 ジンウジュ・アジェンは 各部族の 頭領達を 招き

tuinele arki-we omi xesu-ini eyi Jinwuju ejin xesu-ini
酒を 飲み 言う。 ジンウジュ頭領が 言う。

訂正 eyimdan julu-ski afu-yi baite¹⁰⁴
「今度 南へ 出兵する。

¹⁰⁴ A が挿入。

訂正 buti furgian yakte xoton Saxalin xoton ti-gulun exele gulun¹⁰⁵
我ら 赤毛村と サハリン村 彼らが 悪人だが

訂正 gia ejin alben-guluni saktul eskuli ayi katen alben tousian Katan¹⁰⁶
しかし カンタ・アジェンの兵は 大変 強い。元帥カンタを

訂正 bi niani-meni tumaki niani ene-le ene-le¹⁰⁷
私は 彼を 明日 彼を 出発させる。

tuinemi turgem ne-mi tousian tumaki niani-meni ene-kune-ya eme juleni
すぐ 頭領を 翌日 彼を 出発させ、 先鋒の

ayi julu tousian xala-weni eyi bosu ya-we asen aisin mouni jixa saktul
先鋒の將軍にする。 彼らに 錦 など 女 金 銀 銭 など

edu eyi gulu-du bu-xeni tuinele eyi afu jake o-keci yilan nio
そこで 彼らに 与えよ。 兵器を作る人 3人

eme taun molin bu-xeni eyi Jinwuju ejin xesu-ini ayi you katan
百匹の馬を与えよ。」と ジウジュアジェンが 言う 「カンタよ。」

Kante xonji te-rgi-i julu-sikini tuinele agdene-mi xesu-ini
カンタは 直ぐ 立ち上がり 前に進み 喜んで 挨拶する。

ayi you mindu bu-xesia si eskuli feci-xesi.
「私に くれるのですか。」 ウジュは言う。「ご苦労であった。

gaji-u jake amdi anci tuinemi xindu bu-xeyi
持ち帰るものが 多くない。 だから 貴方に あげた。

tale eyi you amile munu yade baiti ne bi-ki xai sini-we xodale-le
そこで また 後日 我らに 何か事が起こったら また貴方を 呼ぶから

belci-u-kune-i Kante agdenele-mi tiaxelexen
たすけてくれ。」カンタは 喜び 同意した。

謡(43)

xelilala xelei xelilala xelei

ami-le tale te-rgi-ini telele
後 そこを 立ちあがり (元の席に) 座る。

¹⁰⁵ A が挿入。

¹⁰⁶ A が挿入。

¹⁰⁷ A が挿入。

eyi tousian·ki gulun·duni xesu·mi
頭領に 言う。

gia buluo xala·ni gia xoton·xala·ni gelen xoton xala·ni
別の部落の者たち 別の村の者たち 各村の者たち

tousian xala·ni esi ayi jake·we saktul bake·le
頭領たち も 褒美を 皆 受け取る。

xelilala xelei xelilala xelei

Kante Ante eyi julu saktul agdene·mi arki·we omi·xele
カンタ アンタ 2人は 喜び 酒を 飲んだ。

amdan omile siun titi·rgi·ini duleni
飲み続け 太陽が 落ちた とき

Kante amdan
カンタは もう一度
maci omi deriu·xen arki omi·ki maci marxon omi·xen
多く 飲んだ。 酒を 飲み 多く 飲んだ。

謡終

alang(41)

ju ini tomaki ini eyi Kante arki omi·ren
2日目翌日 カンタは 酒を 飲む。

eyi yilan yini duleni Xamicu niani·meni Kante·we ariki omi·u·kune·ren
3日目 ハミトウ は カンタに 酒を 飲ませた。

duin yini duleni eyi gelen tousian gulun nio saktul Kante·we gele·me arki o sauli·iti
4日目 各 頭領 たちは カンタを 招き 酒を 捧げた。

sunjia yini julan·dulun Kante arki omi·xeni
5日目 カンタは 酒を飲んだ。

tuinemi eyi amile xesu·ini mesiki omi mini·we tule omi·kune·kisi
後 言う 自分も 飲む、私に 飲ましてください。

Kante xesu·ini mete·syé da·xayi
カンタは 言う 「もう 飲めなく なった」と。

tuinemi bi xonji jog·dule ene·yi
しかし、私は 「直ぐ 家に 帰らないでください。」という。

tuinemi edu omi-le tadu omi-le juan ini keci bi-xeti
ここで飲み あそこで飲み 10日位 たった。

tuinemi torgen da-ki tue-erin (tue-rin da-xan)
そして 直ぐ 冬に なった。

Kante ene-jule-ni baiti saktul ne-mi odi
カンタは 行く前の 事を 成し終えた。

sula-jiki-le ene eti ejin ba-dulen ene-le
西に 行き そのアジェンの所へ 行き

Wuju ejin-tiki laokele-mi xesu-xen
ウジュアジェンに 話しをし 言う。

Wuju niani-mene asen-yi saktul gaji-u-kune-le saktul niani-meni bu-xen
ウジュは 妻に 持ってこさせ 彼に 与えた。

sagdi ejin afu tergele saktul niani-dulu bu-xe sabe-yi niani bu-xen
大アジェンは 戦いの衣を 彼に 与えた。靴を 彼に 与えた。

bosu somkte¹⁰⁸ eyi julu bi-si gulun bi-si ayi jake saktul sulia-jike naxan-du
布 玉 など 南方産の 良い物を 西の オンドルに

jalan nede-xen Kante yici-lei duin busku-we sianzi¹⁰⁹-du tou-kune-xeni
いっぱい 並べた。 カンタは 見て4人のブシクに 箱に 積ませて

Kante-dui bi-si ba-dulu nuku-kune-xen ti-erin Kante agdenemi Jinwuju xesu-le
カンタが 住む場所に 送らせた。 そのとき カンタは喜んでジンウジュに言う。

謡 (44)

xelai xelila xelai xelila xelai

謡終

Jinwuju Kante-tiki xesu-ini eyi si eni-ki si gaji-xeni nio molin
ジンウジュが カンタに 言う。 「貴方が 来た時 貴方が 連れてきた 兵馬を

munu-dulu tuta-ro bu etiki amisiki eyi jule-siki afi-ini
私たちの所へ 残してくれ。 我々は 今後 南方と 戦う。

tuinemi eyi alben-mesi molin-mesi gele-lo

¹⁰⁸ sekteke (敷き布団) か?

¹⁰⁹ ya を A が訂正。

貴方の兵 馬を 貸してください。」

Kante maci bi-le goni-du goni-ini¹¹⁰ eme tumen cuxa-yi sindu tuta-rgi
カンタは しばらく 考えた。 1万の 兵を 貴方の所に 残す

tune ene-le baite-rgi-ki oni ne-yi bu-syi da-kini niani-duni exele¹¹¹.
帰って 事が起こったら どうする。 貸さなければ 彼には よくない。

tuinemi sinduni bu-yi ne-mi xesu-xeni
「貴方に 与えよう」と言う。

mini cuxa-yi molin-yi gele-ini mini-we urken kioto-ni tukuti-u-kune-ini¹¹²
私が 兵 馬を 借り 私を 刀山に 登らせ

lamole eu-kune-ini bi dude-yi lele-sye sagdi ejin-me ayiji ne-yi¹¹³
海に 降ろさせれば 私は 死ぬことを恐れない。大アジェンをよくする（恩に報いる）

eme juan cuxa-yi gerbi-weni tate-le, Jinwuju ejin-du
十の 兵 符（名）を 取り出し ジンウジュ・アジェンに

yicici-mi bu-kune-xen Jinwuju yicici-le agdene-ini
見せ 与えた。 ジンウジュは 見て 喜び

tuinemi Kante sagdi ejin-me yici ene-xan
カンタは 大アジェンに 会いに行った

Kante cuxa-yi molin-yi saktul tuta-u-xeni eyi niani-duni bu-xen
カンタは 兵 馬を すべて 残し 彼に 与えた。

eyi sagdi ejin esi agdene-le tuinemi eyi Kante-du asen tergele saktul na bu-xeni
大アジェンは 喜んで カンタに 妻の服を また 与えた

Kante tuinemi ene-xen tumaki ini siun degde-rgi niu-le
カンタは 退いた。 翌日 太陽が 飛び 出し

Kante buda-me jefu-mi odi-le susai ju busiku xerbe-mi ene-ini
カンタは 飯を 食べ 終わり 五十 二人の ブシクを 連れて 出発する。

¹¹⁰ xesu-cin を A が訂正。

¹¹¹ A が後に挿入。

¹¹² 元は niani xesu-ini: esi molin alben-me gele-ki bi urken-dule tukti-le
（彼は言う「馬兵を借りて私が山に登れば」A が訂正。

¹¹³ 元は lamele eu-le bi de lele-syei ejin bude-yi-ji lele-sye ayiji ne-e
（海に下りれば私は恐れない。アジェンが死んでも恐れず恩に報いる。）A が訂正。

esi tule-gile nio-du marxon bi-ren jule-ji erge-duni alben-ni (tousian) bi-ren
門の外に 人が 多く いた。 前方の角に 軍師が いる。

eyi sagdi ejin eyi tousian-meyi gelen tousian-me saktul nuku-rgi-kune
大アジェンが 彼と 各頭領に 送らせたのだ。

amileni axa-ni arki buixu-ni jafu-le
後ろにいる 奴隸男は 酒の 壺を 持ち

eyi jefe jake jafu-le buda-we delku jafu-le ta-tu saktul ayiji nede-rgi-le
食べ物を もち 飯の 弁当を 持ち そこに皆 並べる。

Kante-we te-rgi-kune-le gelen-nio eme-nio eme-carmi arki omi-mi nuke-rgi
カンタを 座らせ 人々 一人が 一杯の 酒を 飲みながら 送る。

Kante (duin) duin ju carmi arki omi-xeni busiku gulun-ni tuinele molin
カンタは 四十杯 酒を 飲んだ。 ブシク 達は 馬に

tukuti-le ene-xele Kante jari-mi deriu-xen
乗り 去った。 カンタは 歌い 始めた

謡(45)

xelilala xelila xelilala xelei

bi jo-tiki niu-le guidami da-xai¹¹⁴

私は 家を出て 長い時間が 経った。

esi sagdi ejin mendu mono-we Song guolu-we afu-kune-xeni
大アジェンは 私に 宋国と 戦わせた。

esi sagdi ejin mune ekeci marxon jake bu-xeni
大アジェンは 私たちに 多くの物を 与えた。

xelei xelila xelei xelila xelei

gelen gulun mini-we sauli-xeti
人々は 私を 招いた。

tuinemi dulian bia keci xuli-ke-mi xeyi
半 月 経った。

xelila xela xelila xelilala xelei

mini-we nuku-mi eme nio eme arki omi-kune-xeni
私を 送る時 一人 一杯の酒を 飲ませた。

¹¹⁴ 元は、mono jo-yi baldi-uyi eskuli ayi (私の家に住むのはよい)

mini ekeci ayiji ne-iti bi oni ene-le
私は 感謝する。 私は どのように帰ろうか

ekeci de omi-mi mete-le da-xayi
このように酒を飲めなくなった。

bi asen-yi Solaki-yi jog-dule mini-we alci-ren
私の 妻 ソラカは 家出 私を 待つ。

Gaijin-du aki-yi mini-we alci-ren
ガイジンの 兄は 私を 待っている。

xelai xelilala xelai xelilala xelai

謡終

alang (42)

Kante molin-yi yalu-le eyi nio-yi xuli eyi-ki xuli-le eji-jige ene-le
カンタが 馬に乗り 彼は 行く。東へ 進む。 東へ 行く。

xokto-du ene-mi eme dulian bia xuli-xele eme yoxon xoton-dule yisa-xan
道を 行くこと 半 月 経った。 ある村 街に 着いた。

eyi xoton tousian-ni niani-meni ninge-kune-xen tuinemi Gaijin xoton-ni
各城の 頭領は 彼を 招き入れた。 遂に ガイジン村の

jog-duni urke jule-duni ekeci goro-ni aki-ni yici-xeni
家に 戸口の前に 少し 遠くに 兄を 見た。

axa guluni saktul eme-le yici-xen tuinele asen-yi Solaki-we aki-yi asen-ni
奴隷たち 皆 出迎えた。 妻 ソラカ 兄の 妻

Nayin dedu yici-ceni eyike oni bi-si oni bi-si baite
ナイン・ダドが 見えない。 これは どうしたことか どうしたことか。

tuinemi euki-yi medele-xeni euki-ni bude-xan duin arnne da-xai
兄嫁を 問うと 兄嫁は 死んで 4年 経つ。

asen-yi medele-xeni furgian yakte xoton jule-le xerbe-xen
妻の事を 尋ねると 赤毛 村に 連れて行かれた。

ayi doldi-ini ayi Kante xanke-mi deriu-xen
これを 聞いて カンタは 怒った。

amung-ni dili-ni xun ne-mi une-mi deriu-xen
口 頭が ボーっとして 気を失った。

第 16 章

alang (43)

Kante jo·dule ying·kini akini Ante eyi furgian yakte xoton tousian·ni
 カンタが 家に 入ると 兄 アンタは 赤毛 村の 頭領が

Solaki·we duli·xeni¹¹⁵ xerbu·xei baite xesu·xeni Kante dold·xeni
 ソラカを 奪い 連れて行った事を 話した。 カンタは 聞いて

xanka·mi xanka·mi gonin·duleni degde·mi tule·dulu saktul wa·keci·mi·tui goni·ini
 怒り 怒り 心中 飛んで そこへゆき 全てを 殺したいと 思った。

asenn·ni Solaki·niwe niani·meni jiu¹¹⁶·le·xen tuinele ene·le jiu·rgi·siki eme·le
 妻 ソラカを 救 (漢語) う。 そこへ 行き 救ってくる。

niani yili·le xesu·ini eyi furgian yakte xoton buti·we ekeci ne·yi
 彼は 立ち上がり 言う 「赤毛村は 私たちに この様なことを した。

buti niani·meni ayi dao·kune·syen xonji alben xerbe·mi tale afe·yi
 我ら 彼を 許すことができない。直ぐ 兵を 連れて そこへ 攻め込みたいが、

nujen sagdi ejin buti alben·me de cuxa·we gele·xen esi oni ne·yi eskuli yale
 女真の大アジェンは 私たちの兵を 軍を 借りた。どう しよう 大変 急ぐ。」

Ante neur·ti xesu·ini cuxa molin saktul bi·le saktul yao¹¹⁷·xan
 アンタは 弟に 言う 「兵 馬 全て ある 全て 準備できている。」

Kante medele yade bi·le Ante xesu·ini tadu ju tuman
 カンタは 問う 「何処に いる。」 アンタが 言う 「あそこに 2 万人の

asikte nio bi·le Kante doldi·le esike agdenemi deriu·xen
 若 者が いる。」 カンタは 聞いて 喜んだ。

Ante axa·yi solgi·we arki·we gajirgi·kune·le Kante omi·kune
 アンタは 奴隷に 肴 酒を 持ってこさせ カンタに 飲ませた。

axadu embadu omi·mi embadu laokele·mi oni ayi baite·we nele
 兄弟は 共に 飲み 話しをし、 いかにもうまく 事をなすか、

eyi exele·gulun·me wa·keci ne·mi
 悪い連中を ころすか、を話した。

¹¹⁵ jafu·le (連れ去る) を B が訂正。

¹¹⁶ 救 (漢語)

¹¹⁷ 要 (漢語)

ti furgian yakte xoton tousian-ni Solaki-we yaxan-meni xerbe-le
その 赤毛村の 頭領は ソラカと 下女を 連れてゆき

jog-dule lele-mi nede-syei tenele niani ejin-dule xerbe-xen
(頭領の) 家に 恐れさせ 置かずに アジェンの所に 連れていった。

furgian xoton ejin Eketu yici-le eyi Solaki baite-ni eskuli gujuguli
赤毛村の アジェン・エカトが 見ると ソラカの事は 大変美しく

mene sagdi asen Acike niani oni yaxan de nian-duleni ayi-syen¹¹⁸
自分の第1妻アチカは どうして 下女や 彼女と比べ 美しくない。

eyi ejin [goni-ini] agdene-mi deriu-xen yaxan gulu-ni jo-yi tako-kune-xen
アジェンは 喜んだ。 下女たちに 家を 整理させた。

Solaki-du eme yaxan-duni embadu bir-kune-ren tuinemi xergele bisi tousian-yi
ソラカと 一人の下女と 一緒に 住ませた。 手下の頭領を

xodale-le jefuku-ni tergele-ni bu-kune-ren Solaki eme ame tergele-yi xulasi-kini
呼び 食べ物 服を 与えさせた。ソラカは 服を 交換した。

eyi gaji-xeni yaxan gerbini Rongren esi gase eu-siki jafule-u eme-xeti
連れてこられた 下女の 名は ロンレン、 共に ここへ 連れられて来た。

baldi-xeni mei¹¹⁹ mura gujikuli Solaki-li ayi-sye
美しい大変 美しいが、ソラカより 良くない。

eme tuman nio-duleni eyi eme nio gelte-xeni Solaki eyi Rongren
1万人に 一人 見つかる。ソラカは ロンレン

yaxan-ji eskuli ayi
下女と 大変 仲が好い。

niani ele jafu-le eme-kune-le yale unakami de¹²⁰ mete-sye da-xan
彼女は ここへ 連れてこられ 何処にも どうしても 出来なく なった。

enduli-ji Rongren-me mene-keci emede dao-kune-xen
神力で ロンレンを 自分に似た 一人に 変化させた。

ti ejin yici-le Rongren Solaki ne-mi goni-ini tuinemi xebule-duyi tate-rgi-ini
アジェンは、ロンレンを見て ソラカと思い 懷に抱きいれた。

¹¹⁸ これでもよいが、Bは次の文がよいと言う。oni yiciki-syen nian-duleni yisia-syeni
どう見ても、彼女に達しない。

¹¹⁹ 美 (漢語)

¹²⁰ 元は bugdane-mi (逃げる) を、Bが修正。

amile Solaki eyi ba-dui ekeci bi-si ya de ayi aci-syen da-xani
後 ソラカは この方法を この様に 用いたが、 どうしても 通じなくなった。

gui-da-kini ti ejin gui-da-kile sai-syen
長くたつが アジェンは 長い間 知らない。

Solaki xe Kante embadu baldi-dui amile ju arne da-xani
ソラカ と カンタが 共に 生活し 後 2年 経ったとき、

Kante eyi Solaki enduli tergele-ni xulxa-mi xerbe-ini jiaiyi-xen
カンタは ソラカの守護神を 服に そっと 懷に 隠した(suca)ので

Solaki tuinemi yade ba gelte-syi da-xani tini bi-kini alipti bugdane-xen
ソラカは 何処にも 探し出せなくなった。それがあれば早く 逃げた。

esi yade enduli seun de xoda-rgi-le mete-sye daxan
今は どの 神 守護神も 呼び出すことが 出来なくなった。

edu nio-du gaunsile-uyi guidami biki nio sai-ki oni ne-ui
ここで 人に 監視され 長く間に 人が 知り どうするか。

謡(46)

xelila xelila xelei xelila xelei

Solaki furgian yakte xoton-duni sunjia ani-ni bi-xen
ソラカは 赤毛村に 五 年 いる。

amadan de ekeci (sai) nio de sai-syen
一度も 少しも 人が 知らない。

eyi ani-ni anile-uyi dulben dulan-ni ejin arki-we ya-we saktul
今年 大晦日の 夜 中に アジェンは 酒などを

nede-le anileni Solaki-we gulun-le gajirgi-kini
並べ 新年に ソラカを 人々を 集めるそのとき、

Solaki Kante-me goni-ini eskuli goni-ren
ソラカは カンタを 心に 恋しく 思っていた。

xelei xele

tuinemi arki-we marxon omi-xeni eme-rgi-le naxan-du afine-yi
酒を 沢山 飲み 元の姿に戻り オンドルに 眠った。

xelila xele xelila xeleilei

謡終

esi ejin arki-we marxon omi-xeni eyi Solaki-we jo-dule ene-xeni
アジェンは 酒を 沢山 飲み、 ソラカの 部屋に 行った。

Solaki dudule naxan-du afine-mi bi-ren niani yici-kini ayiya eskuli
ソラカは 横になって オンドルに 眠っている。 彼が 見ると 大変

baldi-iti gujukuli ejin amadu ayi goni-ini agdene-mi
美しい。 アジェンは すぐ よいと 思い 喜び。

amdan bei-ini uisikini tukti-xeni Solaki emdan sene-xeni
直ぐ ソラカの体の上に のった。 ソラカは すぐ 眼が覚めた。

eyi furgian yakte xoton-duni ejin ayji mene bei-duni uisiki bi-leni
赤毛 村の アジェンを 自分の体の上に いるので、

lele-mi xonji (a lele-mi) auli-mi deriu-xen eyi Solaki enduli xodale
驚いて 叫んだ。 ソラカは 神を 呼んだ。

eyi Solaki eyi enduli xodale bei-dui eme merki
ソラカが 神を 呼び 体の上に現れた 一匹の 蛇に

eyi ejin-me sane-kune-xeni, eyi onide mete-ren
アジェンを 咬ませた。 どうすることも出来ない。

eyi naxan dudulexe xodale-ini auli-ini
オンドルに 横たわり 叫び 喚く。

ejin sagdi asen-ni Acige xe isikuli asen-ni dou saktul eme-le doldi eme-xele
アジェンの大妻 アチカと 小妻 共に 来て 聞いて 来た。

emele niani naxan-du fuksyile-mi auli-mi xodale-mi unu-ini bi-ren
来ると 彼が オンドルで 転がり 叫び 喚き 痛い。

sagdi asen niani-meni axa-yi xonji xebu-rgi-kune jog-dule
大妻は 彼を 奴隷に 直ぐ 連れさせ 家に戻り、

unku-taku-gulu-me xerbu-rgi-le yicicile-kune
医者をして 連れて来て 見させた

謡(47)

xela xelila xelei xelila xelei xelilalelila xele xeleililei

eyi emedan sane-xeni unu-ini mangge
一回 咬まれ 傷が ひどい。

Acige demixin abdekse omi-kune-xeni¹²¹

アチカは タバコの葉を 飲ませた。

tuinemi yilan ini yilan dolbu-ni yaode sene-sye da-xani

3 日 3 夜 少しも 意識がない。

xelai xelai

duin ini-duni sene-rgi-ini tuinele eyi (ju elaxen) ju ela site-yi

4 日目に 意識が戻り 2 人の息子

Eyinbu xodale-rgi-ren

ウインブを 呼びよせた。

eyi ejin eayi juan yilan xiten-ki

このアジェンは 13 人の 息子がいる。

sagdi xite-ni gelbi-ini Arxada

長男は 名を アルハタ

bentu yaode aci-syen ju xite-ni Eyinbu dili-ni mura katan

(漢語)何も 出来ない。次男は エインブ 頭がよく 強い。

yilan xite-ni Gongur eyi eskuli mangge yade baiti-ni

三男 ゴングルは 大変 強く 何事も

nelen de sai-ren

出来 知っている。

ti ane eyi-we gia yoxon-dule ene-le toki-u-kune-xeni

昨年 彼を 他の村に 行かせ 守らせた。

gia xite-ni xala-ni saktul isikuli

他の息子たちは 皆 小さい。

eyi elaxa elaxa xite-ni Eyinbu niani-meni

次男 アインブを

ejin dao-kune-xen

アジェンに させるつもりだ。

xelai xelila xelai

謠終

¹²¹ A が訂正。

maci bi-le eyi erin erbaile-ni Eyinbu ying-xen
まもなく アバイル(貴族)の アインプが 入ってきた。

ejin niani-meni Solaki-we xonji saxalin-dule ene-kune-le xerbu-kune
アジェンは ソラカを 直ぐ サハリンへ 行かせ 連れて行かせた。

niani-ni eme jalen ayiji baldi-kune-syen eyi elage site-ni ejin xesu-kune-le
彼女を 一生 生涯 良い生活をさせない。 次男は、 アジェンに 命じられて

xergi-siki tousian-ni xesu-xe xerge-siki tousian de xonji xafan¹²²-tiki xesu-xen
手下の 頭領に 命じる。 手下の 頭領は すぐ ハファンに 命じる。

tuinele ey jakon alben-gulun-ni Eyinbu amileni Solaki-we xite-ni yaxan-ni gase
8人の 兵は アインプに 従い ソラカ 子供 下女を 共に

tale degde-mi gia yoxon-dulu xerbe-xen eyi elage site-ni ejin-tiki xesu-xen
そこへ 素早く 別の村に 連れて行った。 次男は アジェンに 報告した。

Solaki eyi xite Kante xite-ni ujiti-xeni esi eyi xafan Solaki eni-ni xite-ni
ソラカは 子 カンタの子を産んだ。 ハファンは ソラカ 母子 (と下女)

yilan nio-ni molin te-u-le sulia¹²³-jikile ene-xen dulan bia ene-xen
3人に 馬に 乗させ、西へ 出発し 半月 進んだ

eme saxalin di ba-lani yisa-xen ti burgin-ni ti saxalin yoxon-ni yisikuli-ken
来た サハリンの地に 着いた。 その頃は そのサハリン村は 小さく。

eyi tousian-ni eskuli furgian yakte xoton ejin-meni ayi ne-mi xesu-xen
その頭領は 赤毛村の アジェンの命令を守る という。

tuinemi eyi nio nuku eme-xeni eyi dulu ayi tulume niani-meni eme yisikuli
この人は 送られて来た 彼女らを 小さな

jog-du nede-xele eyi xafan eyi jake-yi bitexe-yi o-mi odi-syen-du eni-xen
牢部屋に 留置した。 ハファンは 書(手続き) など終らない内に 去る。

Saxalin eyi buluo di tousian-ni dili-ni saktul siangin da-xan eme mafa-keci
サハリンのこの村の頭領は 頭が 白くなった 老人で

eyi nio yici-rgi-ini eskuli gujukuli dedu xe xite daki eskuli gonin-dui goni-ini
この人が 見ると 大変 美しい 娘と 子だ。 可哀想と 心に 思うと

eyi gate-xeni oni ne-yi tuinemi furgian xoton-ni xafan-ni goro ene-kune-le
買って来たら 如何しよう。 赤毛 村の ハファンは 遠くへ 遣られた、

¹²² 武官の名

¹²³ 東の方角ではないか?

niani eyi yilan nio-we tadu tate-rgi-le eme ayi jo-du jog-dule-kune-xen
彼は 3人を 外へ 引き出し、 良い 家へ 住まわせるため

gaji-rgi-kini eyi Solaki esi site-ji umbadu agdene-mi gonin-dui agdene-le
連れ帰った。 ソラカは 子供と 一緒に 喜び 心から 喜び

edu tui ayiji nio-du edu ayiji baldi-ui jari-mi deriu-xen
ここで 良い人の 所で 生活を送った。 歌い始めた。

謡(48)

xelila xelila xelila xelilala xenina xelei

furgian yakte xoton eyi ejin-ni mini-we duri-xeni gaji-xeni
赤毛 村の アジェンは 私を 奪い 連れ去った。

edu sunjia ani-ni bi-xei
ここで 五年 経つ。

mini enduli katan anci da-kini erde bude-xeyi
私の 神力は 強くなかったら 既に 死んでいた。

xelila xelei xeninana xelei

mini ini ini gonin-dui saktul oni baldi de sai-syen
私は 毎日 心の中で どの様に 生きたらよいか 分からない

esi ani-le gelengulun saktul agdene-ren
新年を祝う 人々は 喜び。

xelilala xelei xelilala xelei

mini-we ele nio anci ba-duleni isikuli yoxon-duli gaji-leni
私を ここ 人のいない 場所に 小さい村に 連れてきた

esi emaci cukan-keci tule-siki degde-xei
今 まるで 鳥のように 外へ 飛び出した。

xelei xelilei xelei

mono eni xite-yi ayiji edu baldi-ui
私達 母 子は 良く ここで 生活している。

xelei xelei

謡終

alang (44)

edu baldi-xeni eskuli turgen
ここで 過ごす と 日は早く過ぎる。

Kante jog-dule ene-le xoton-dui mesike
カンタは 家に 行き 村で 一人。

tuinel jiu¹²⁴ duin tousian-yi busiku-yi saktul alben molin embadu ne-xeni
4 人の頭領と ブシクは 兵 馬 共に 集め

Kante nujen erge-ji gaji-rgi yilan sele nio, suko-we fakesi-ji
カンタが 女真から 連れ帰った 3 人の鍛冶屋 (3 人の) 斧匠ら

uyin wai-gulun tugulun-me eyi luke-we eyi jake-we afe-jake-we
9 人の 外人 彼らに 弓 など 武器を

sagdi kioto suku gida saktul o-xele tuinele emergeji o-mi
大刀 斧 槍 を 造らせ、 造らせ、

emergeji cuxa-yi afu-kune-mi tati-u-kune-le
軍を 戦わせ 訓練させる。

Kante eyi niu bia olin duleni eyi ini
カンタは 6 月 20 日 その日に

gelen-gulun-me saktul embadu dao-kune-le yicikici-ni wu-bi-le¹²⁵ ne-mi
皆を 集めさせ 調べ 武芸比べをする。

謡(49)

xele xeli xelei xelila xelei

gelen yoxon margen doldi-le saktul agdene-mi xesu-le
各村のモルゲン は 聞いて 喜び 言う。

niu bia orin eyi ini buti saktul gele-gulun biwu¹²⁶-lei
6 月 20 日 今日 我ら 皆 武芸を比べる。

tuinemi ekeci eme yini ini-tokon yisa-xeni jule-ji eme tousian
ある日 正午に なんと、 南から一人の頭領が

eme-xeni eme minga cuxa gaji-xeni ju jule yini-xeni
来た。 千人の 軍を 連れてきて、 南に隊列を組み

¹²⁴ 就 (漢語)

¹²⁵ 武比 (漢語)

¹²⁶ 比武 (漢語)

emaci da-kune-lo ejiuji eme tousian ju minga cuxa gaji-xele
大変 良い。 東から一人の頭領が 2千の軍を連れてきた。

xelilala xelei xelilala xelei

ejiu ba-duni saktul yili-xen sulia-giji na eme minga alben-me
東側に 隊列を組んだ。西から 千人の 軍を

gaji-xeni suliaji-du yili-xen furxi-du tousian
連れてきて 西側に 隊列を組む。北からの頭領は

eme minga cuxai gaji-xeni furxi-du yili-xen
千人の 軍を 連れてきて 北側に 隊列を組んだ。

xelei xelilala xelei xelei

goro-du kalce-du tousian-gulun saktul eme-xen
遠くの 近くの 頭領たち 皆 来た。

emda esi uyun gulun bi-le ele embadu saktul yili-xele
合計 9人のひとがおり、そこに 一緒に 隊列を組む。

Ante ejin Kante yuansuai kereduni saktul cigan¹²⁷ miakure-xele
アント・アジェン カンタ元帥の側に 挨拶し 跪いた。

xelei xelilalei xelei

謡終

alang (45)

tuinemi gulun-nio darke-mi¹²⁸ deriu-xen
人々は 試合を 始めた

Kante eyi uileni yili-le eyi alben-yi tousian-yi yicici-le xesu-ren
カンタは 台の上に 立ち 兵と 頭領を 見て 言う。

Solaki-we furgian xoton jafe-xeni buti aki-ni gase tale ene-le afi-uyi
「ソラカを 赤毛村が 奪った。 私達 兄と一緒に そこへ 行き 戦い

ju tousian jafuke gelen tousian alben gulun-ni saktul xodale-mi xesu-ren
2人の頭領を 捕まえる。」 各 頭領と 兵達は 叫び 言う。

¹²⁷ 請安(漢語) Bは、bakeci-rgi-xele であると注。

¹²⁸ delexeは「分かれる」の意味。Bは「embadu odosikini」(試合する)と訂正。

Ante ejin katan Kante ejin ete-le buti
「アンタ・アジェンは 強い カンタ・アジェンは 勝つ。 我らは

Ante Kante gisun-me doldi-uyi gelen-gulun saktul agdene-uyi
アンタとカンタの 皆の言うことを 聞く。」と 人々は 喜んだ。

tuinemi tousian xala-ni saktul gerbi o-xele
頭領達は 名を 登録した (試合の登録)。

Kante gerbi xesu-mi deriu-xen,
カンタは 名を 読み上げ始めた (試合対戦者の名を呼び上げる)。

esi afi-mi-keci yicikici-uyi oni bi-le ne-mi
戦って 見ると (勝敗は) どうだろうか。

tuinemi yicikici-mi ejiu-ji erge-tiki-ni eme-xen nio furuku-mi niu-kini
見ると 東の方角から 来た 人が 飛び出してきた

eme morgen bi-ren tuinemi niani bi furuku-rgi morgen ya-de tousian-ni anci
モルゲンが いる。 彼 飛び出したモルゲンは 何処の頭領にも属さない。

ju nio jiu bakeci-rgi-mi deriu-xen maci bakecile-kini tuinemi nala-ji langtu-le
2人は 直ぐ 向かい 始めた。 何回も戦い 手で 殴り

begdene-ji fakdele-ini ju nio susai madan afu-siki
脚で 蹴る。 2人は 五十回 戦ったが

emke amile eme-xeni morgen met-rsyé da-xan
一人 後で 来た モルゲンは 勝てなくなった。

tuinemi emeke furku-mi eme-xen eyi se-ni maci da-ni baldi-xeni mura gujikuli
さらに 一人 飛び出してきた。 歳は 若いが大変 美男である。

eyi ju nio na bakeci-mi gasa afi-mi deriu-xen eyi juan faskule-mi ne-xen-du
2人は又 会い対し 共に 戦い始めた。 十回 蹴りあい とき

jule eme-xen ti xala eyi ami-jiki eme-xan (xala)-du-le
先に来た あの者は、 この後に 来た 者に、

nui ju jalen-keci goro-duni nudu-(kune)-xen eyi gelegulun saktul yicicile-iti
六十丈位 遠くに 投げ飛ばされた。 人々は 挑戦した。

tuinele emeken eme-kini emeken nudu-le jakon nio nudu-ini ti de mete-le
一人 来て 一人 投げる。 8人 投げた。彼に勝てる人が

anci ni sai-syen tuinemi eyi gujukuli de xite-du mete-sye da-xani
いない。誰も知らない。終に 美少年に 勝てなかった。

謡(50)

xelilala xelei xelila xelilala xelei

amile ti yisikuli baldi·ini gujikuli xite

後で その 若年の 美少年を

Kante yicikici·ini eskuli ayi

カンタは 見た 見事とだと (倒置)。

tuinemi uisiki toki·rgi·kune·xeni gerbi·weni medele·le

上に 上がらせ 名を たずねると、

gerbi·ini Yunjonbar

名のつた ユンジョンバルと。

eyi yisikuli·dui ami·ni eni·ni anci.

小さいとき 父 母が 亡くなった。

eki·ni niani·meni tati·u·kune

姉に 教えられた。

yisikuli·dui niani·meni ami·ni·tiyi tati·ini

小さいとき 彼女は 父から 学んだ。

eki·ni nou·ni ju nio amadale baldi·xei sagdi da·xati

姉と 弟 2人は 同様に 生活し 大きくなった。

xelei xelila xelei

yini urken·dule bixan·we wakeci·iti

毎日 山で 狩をする。

Kante doldi·le esikuli agdene·xen

カンタは 聞いて 大変 喜んだ。

niani·meni medele·xeni adi sagdi

彼に たずねた 「何歳か」と。

Yunjongbar xesu·ini juan nadan se

ユンジョンバルが 言う 「十七歳である」と。

xelei xelilalei xelei

Kante dili-yi xio·rgi·re¹²⁹

カンタは 頭を回し

eyi gelen tousian·tiki·ni tousian ba·le jo·leni

各頭領達に 彼を 自分の地区に

xerbe·u·kune tuinele sunjia minga cuxa·yi molin

連れて行かせ、 五 千の 軍 馬を

niani·meni guansile·kune·ini

彼に 指揮をとらせた。

xelei

謡終

Kante na eyi cuxa gulun nio (tayuo·u·ini) tati·kune·ren

カンタは この兵士たちを (誤：燃やさせ) 訓練させた。

tuinemi eme tumen cuxa sunjia taun susai umbadu (molin) gelen nio yicikici·kini

一 万の 歩兵、五 百 五十の騎兵を 調べ、

eyi jakon bia·du bia·dulian·ni ene afe eme·ini

八 月 月の真中(十五日) 出発し 戦いに行く。

jokon bia e·du yoxon xoton yisa·mi deriuxen

八月 この時 村に 着いた。

gelen nio saktul jakon bia bia gujikuli nemi agdene·mi alci·le

人々は みな 八月 月が美しいと 喜び 待つ。

ele eyi ini yisa·xani ti ju de¹³⁰ tumakeni erde tumaki erde

そこへ この日 着いた。 翌朝 早く 翌朝 早く

Ante ejin ene xesu·ini eyi tousian·xala·ni arki omi·kune·le

アンタ・アジェンは 行き 言う 頭領達に 酒を 飲ませ

siun tiki·le erin·du omi odi·iti xuli·rgi·ni eyimade ini

太陽が 落ちる 時 飲み終えた。 残りの 数日

gelen nio xonji (eyi jafu·ki) eyi cuxai tati·ren tuinemi guidami de anci da·xani

人々は すぐ 捕まえ 軍を 訓練する。 間もなく

¹²⁹ 元 tou·siki nede·le を B が修正

¹³⁰ 第(di)二(julu)的(de)？

jakon bia juan duin bi-xi da-xani eyi ini siun aa degde-teni
八 月 十 四 日 に な っ た 。 こ の 日 太 陽 が 昇 る と き 、

Kante tousian-yi xala-ni cuxa-yi saktul dule-ni
カンタは 頭領たちと 歩兵たちを 皆 試合場に (集め)、

uyin yixan uyun xoni uyun urgian uyun tioko gaji-kune-ren
九頭の牛 9匹の羊 九頭の豚 9羽の鶏を 持ってこさせた。

tadu ba-tiki nede-le batiki enduli saman enduli xesu-ini
そこで 天に向け 並べ 天の 神 シャンマンに 願う。

Kante gelen-nio saktul ayile yilan madan miakuel-kune-xeni
カンタは人々を 並べ 3回 跪かせた。

yilan madan miakure-kune-xeni uyun madan miakure-kune-xeni
3回 跪かせた 9回 跪かせた。

gelen-nio arki-we omi-ro ulse-we jefu-kune-le
人々に 酒を 飲ませ 肉を 食べさせる。

eme tumen sunjia minga sunjia taun cuxa-ni arki-we ulse-we saktul delde-xen
一 万 五 千 五 百 の 兵 に 酒 を 肉 を 分けた。

tuo loko-i saktul ene-le yuke-du xuyu-mi deriu-xen
火の釣り鉤に 下げた 鍋の中で 煮始めた。

gelen nio edu jefu-mi deriu-xen jefu-mi jefu-mi ba amini xakto-le odi-xen
人々は そこで 食べ始めた 食べて 食べて 空が 後で 暗くなり 終わった。

tumaki erde jakon sunjia jakon bia (juan) sunjia ini yixa-xeni
翌朝 八 五 八 月 (十) 五 日 にな っ た 。

Kante eyi Yunjonbar (xerbe-mi) sunjia minga nio molin nianimeni jule
カンタは ユンジョンバルに 五 千 の 兵 馬 を 彼 に 先に

xerbe-mi ene-kune eme luku juleni furgian boso-ji ne-le xeleke-rgi-le
連れて 行かせた。 弓 先頭に 赤い 旗を 立て 下げ、

tuinemi yoxon duleni niu-le sulia-ki ferxi-siki furgian yakte-ni xoton-duleni ene-xen
村を 出て 西 北 の 赤毛 村に 行く。

eyi jule bi-si tousian-me Xurbin ju minga alben molin ti amileni daxa-u-kune-mi
南の 頭領 フルビンに 二 千 の 軍 馬 を その後に 従えさせ

Kante mene eme molin yalu-rgi-ren furgian yakte xoton duleni elkeliki ene-le
カンタ自身 一頭の馬に またがる。 赤毛 村に ゆっくり 行く。

Ante ejin gelen tusian-xala-ni eyi xoton-duleni tuta-rgi-le bi-le
アンタ・アジェンと 各頭領たちは この村に 留まる。

謡(51)

xelilala xele xelila xelilala xelei

furgian yakte-ni xoton ejin-ni Eketu eyi niani-meni Solaki-we gia bi-siki
ene-kune-ren

赤毛村の 頭領 エカトは ソラカを 遠く僻地に 行かせた。

beiyi-ni ekeci ayidu-siki-ni da-xan

体は 少し よくなった。

xelilala xela xelei

niani xergile-duni di tousian-ni emeke bude-xen

彼の 手下の 頭領が 一人 死んだ。

eyi jutin xite-ni Eyinbu esi sagdi tousian da-u-kune-xe

この 次男 エインブを 大 頭領に させた。

yilan xite-uyi de xoton-meni toki-kune-ini

3男を 村を 守らせ（登らせ）

sagdi xite-ni yoxon-dui juan yilan xoton-meni ayiji toki-u-kune-iti
yicici-u-kune-ni

長男に 村で 十 三 村を よく 守らせ 見張らせた。

xelilala xelei xelei xelilala xelei

eyi ini tomaki ini axa-yi gulun-meni

この日 翌日 奴隷 達は

saktul xapsi-mi eme-xele

報告に 来た。

esike exele da-xan

「今回は 形勢が悪く なった。

Gaijin xoton-ni Ante ejin nio Kante tousian

ガイジン村の アンタ・アジェンと カンタ元帥が

eme-mi buti-we afu-ini eskuli goro-du anci da-xan

来て 我等を 討つ。 大して 遠く で なくなった。

xeli

Eketu doldi-xele
エカトは 聞いて

Kante cuxa-we gaji-xeni afa-mi eme-xen
カンタが 軍を つれ 戦いながら くと (聞いて)、

eskuli lele-mi deriu-xen
大変 怖がり 始めた。

xergile nio-ni xonji ejin-tiki xoton-dule ene-kune-le
手下の人に すぐ 頭領を 村に 行かせ、

eyi jula xiti-yi Eyinbu eme-rgi-u-kune-ren
次男 エインブを 帰らせた。

tuinemi afu-keci-mi saktul alci-ren
戦かう準備をして待つ。

xelilala xela xelilala xelei

謡終

ju xiteni doldi-le eskuli alben-du doldi-le eskuli lele-mi xonji eme-rgi
次男は 聞き 軍で 聞き、 恐れて 帰る。

eme taun busiku gaji-rgi-mi sulia bi-si xoton-dulu tuki-u-kune-xen
百人のブシクを連れ帰り 西にある 村に 守らせた。

niani nou-yi ami-yi ki ayiji xesuci-mi deriu-xen esi gelen nio oni ne-ki ayi-le-me
彼と 弟と 父と よく 話し合い 始めた。 各人が 如何すれば よいかを

Kante esi yisa-mi deriu-xen ti-gulun xesuci-ini niani ayi bi-we de sai-syen
「カンタは 今やっと 着く。」 彼らは相談した「カンタは 作戦を 知らない。

eyi ini dolbuni eme-xen de baite de anci ejin doldi-le nikte-mi xesu-ini
今日の 晩 襲ってくることは ない。」 アジェンは 聞いて 笑って 言う

esike ayi tuinemi oni ne-ui ami-ni alci-le xesuci-ren
「それは よい。」 如何するかと 父を 待って 相談した

Kante tuinemi xesu-ini buti ayi goro ba-du de sai-sye
カンタは 言う 「我々は こんなに 遠い 地と 知らなかった。

nio de taudu sai-syen
他人も (我々が) ここにいと 知らない。

eyi dolbu-ni buti edu molin cuxa-yi edu saktul suca-le edu alci-uyi
今夜 我々は ここに 馬 軍を ここに 隠し 待つ。

edu niani-meni eyi xoton-meni manggele ene afu-keci
ここで 彼は 村の 川に沿って 行き 戦かおう。

ejin doldi-le nikte-mi xesu-ini
アジェンは 聞いて 笑って 言う

esike ayi tuinemi oni ne-ui ami-ni alci-le xesuci-le
如何するかと 父は 待って 相談した。

esi Kante cuxa-yi xerbe-mi Songgeli furgele-rgi uisiki tukti-mi
カンタは 軍を 連れて ソンガリを 飛ぶように 上に 上った。

eyi buyan xe ne-mi bilaka-dule yisa-xele
ブユン河 という 川に 着いた。

ele yisa-le siun guda maci guda ne-ki
見ると 太陽の 高さは 少し 高いだけなので、

tuinemi eskele xesule alben-ni molin-ni ayiji teine-u-kune-yi
命じた、兵 馬 よく 休ませることを。

eyi ba furgian yoxon xoton-du xai susai ba bi-ren
この場所は 赤毛 村の 街から まだ 五十里 ある。

Kante eyi Yunjongbar sian-duni julukisi bi-si tousian-ni eme-rgi
カンタは ユンジョンバルに 耳打ちして 先鋒の 将を 帰らせた。

tuinemi yao xodale-le Xurbin eme-rgi-mi xodale-le Xurbin eme-rgi
呼び フルビンが 来るように 命じて、 フルビンが 帰ってきた。

第 17 章

alang (46)

siun tiki-ni erin-du
太陽が 沈む 時

Kante arki-we yao ulse-we yao gaji-le tousian-yi alben-yi xala-duni jefu-kune
カンタは酒を 肉を 持ってきて 将と 兵 達に 食べさせた。

gelen nio nikte-mi agdene-mi eme carmi arki-we omi-mi deriu-xen
皆 笑い 喜び 1 杯 酒を 飲む。

dolbu eyi caucau¹³¹-le-mi dilgan goro bi-ren
夜 がやがやと 声が 遠くに 伝わる。

Kante xergisi xesu-le buti bulin-me saktul tayou-syen
カンタは手下に 命じ 「我らの 灯りを 皆 消せ。

exe gulun-me yici-u-kune-syen, esi tui xesu-xeni
敵の者たちに 見られないように」 と 命じた。

juan ju badu-gulun saktul bulin furgi-le
十 二 野営の人は 灯りを 吹き消し

maci yicicile-uni eme bulin de anci da-xan
少しも 見ても なく なった。

Kante saktul yicicile-kini saktul afe-de ene-kini bulin de anci saktul sakalki-ni
カンタは 調べ 寝りに行くが、灯りは なく 真っ暗だ。

tinele alben gulun-ni eme-me eme asen nio alben-duleni
軍 に 一人の女の人が 軍の中にいた。

kantan-ji baldi-xeni gerbi-ni Tacile eyi julu bi-si Yunjongbar de
強く 名は タチラ。 先鋒の ユンジョンバラの

baldi-xe ekin niani-meni eme katan-ni baldi-ini bi-ren
実の 姉 彼女は 一人の強者 に成長した。

tuinemi niani-meni eyi alben-duleni baite-we uile-kune
彼女は 軍の中で 仕事を 働かされていた。

niani-meni eyi Kante ekeci xesu-xeni-du sai-syen
彼女は カンタが この様に 命じたことを しらない。

dolbun ne-kini saktul sakalki da-xani Tacile goni-du goni-ini
夜になると 真暗に なった。 タチラは 不安に 思った

eyi dulbun-ni gelen-nio saktul ekeci arki-we marxon omi-xen
今夜 皆が この様に 酒を 沢山 飲んだ。

exe-gulun dolbun eme-kini oni ne-uyi gonin-dui maci lele-ki
敵の人が 夜 来たら どうしようと。 考えると 大変 怖くなり

afene-mi de mete-syen tuinemi dolbu dulian erin yisa-xeni-du
眠ることが出来ない。 夜中に なったとき

131 崖崖 (漢語)

eyi Buyang bira uileni nio xesu·ini gisun bi·le dordi·ule eli doldi·ki eli kalce
ブヤン川の 上流で 人が 話す 声がするのを 聞いて 聞くたびに 近くなる。

tuinemi xonji Kante·me ene·le xodaxele·xen
直ぐ カンタの所へ 行き 呼んだ。

eyi erin nio molin xuli·ini erge·jiwe jo bi·si bale goro daxa·cen
このとき 人 馬が 行く 方角は 野営がある場所から 遠く ない。

Kante xe afene·mi sene·rgi·cen maci bi·le dilgan·ni maci maci isikuli da·xan
カンタは 眠り 起きない。 少し経つと 声は 段々 小さく なった。

maci bi·le dilgan·ni doldi·ki goro da·xan·du
さらに経つと 声が 聞こえるのは 遠くに なった。

maci de dilgan·ni anci da·xan
さらに 声は 聞こえなくなった。

謡(52)

xele xelei xelila xelei xelilala xelei xelei xelilala xeli xelei

esi niani·ni Kante·me te·rgi·u·kune·xeni Kante agdene·mi
彼女は カンタを 起こさせると カンタは 笑って

xesu·ini mini goni·ki exele gulun eyi dolbu·ni eme·le
言う。「私は 思った 敵が 今夜 来ると。

esi saman·yi enduli·weni Ecixe mini·we belci·xeni
シャーマン 守護神 エチヘが 私を 助けた。

xulxami mini·tiki xesu·xeni mini·we ayiji edu alci·u·kune·ni
そっと 私に 告げた 私を ここで 待たせた。

tuinemi ekeci marxon arki omi·xeni
この様に 多くの 酒を 飲んだが、

arki omi·xeyi saktul muke xultu·duni omi xeyi
酒を 飲んだのは 水を 騙して 飲んだ。

xelila xelila

dolbuni bulin·me furgu·uye
夜に 灯りを 吹き消し

mini julu·dule·yi tousian·yi Yunjonbar·du
私は 先鋒の 将 ユンジョンバルを

ene nio wa-keci-ni
行かせ 敵を 攻めよう。

xelila xela xelila xelei xelilala xelala xelilala xelei

edu bi Xurbin ti-gulu xulxa-mi ele
ここで フルビン達を そっと 行かせ

Buyang bira-ni eme-xeni
ブヤン川に 来た。

eyi bira eme-kini ta-we afu-yi
川に 来たら 彼らを 攻める。

Tacila doldi-xeni goni-dui eskuli agdene-mi deriu-xen
タチラは 聞いて 心の中で 大変 喜んだ。

xela xelilala xelei xelilala xele xelila xelei

謡終

eyi erin jule bi-si tousian Yunjongbar yinge-xe
この時 先鋒の 将 ユンジョンバルが 入ってきた。

Tacila neu-tiki xesu-xen munu ete-uyi e
タチラは 弟に 言う 「私達は 勝つか？」

tuinemi xesu-ini julu bi-si bu alben gulun-ni katan
言う 「先鋒の 隊の 人々は 強い。

munu julu gulun ete-sye da-kini gulu alben saktul mete-syen¹³²
私たちの 先鋒が 勝てなければ 全軍が だめになる。

tuinemi jule-ki tousian alben-ni xala-ni ete-kin
先鋒 将と 兵たちが 勝てば

buti gelengulu saktul ete-uyi Yunjongbar xesu-ini
我らは 勝つ。 ユンジョンバルが 言う

eki-tiki xesu-ini acile xesu-isi, neu eme esi kusule-le
姉に 言う 「あなたの言う通りです。弟も 頑張る。」

esi dolbu dulian da-xan xonji ene-rgi-le
夜中になったとき 去って行った。

¹³² ete-sye da-xan を B が訂正。

Kante esi agdene-mi afine-siki

カンタは喜んで寝て、

tumaki erge eyi gelen-gulun nio-ni molin-ni julu-siki ene-iti

翌朝 人々 人 馬 前進し、

eli ene-mi sikse dolbuni jule alben xala-ni afu-xen ba-duni yisa-xen

進む程に 昨晚 2つの軍が 戦った 場所に着いた。

edu yicici-kini eyi bude-xen nio-ni exele gulun saktul bude-xele

そこを見ると 死んだ 人は 敵の人が 死んだ。

Buyan bira jap-kere-duni sekte-ni saktul furgian-ji eyu-xeni

ブヤン川の 岸で 血の色で 赤く 流れた。

eyi furgian yakte-ni xoton eske eyi-madan dolbu eme tumen cuxa molin eme-iti

赤毛 村の 今回 夜 一万の軍馬が来て、

dulbu eme-xeti xokto-du sai-syen, culake-le ing-xen

夜 来たので 道を 知らず 川を 進んだ。

eyi Kante eyi culake jap-kere-duni cuxa-yi yicakte xasukte-duni ya-le bi-iti

カンタは 川の 岸に 軍を 右 左に 方々に隠しておき、

tuinemi wa-mi deriu-xen eyi amile susai alben begdene-kini tadu saktul bude-xele

殺した。 最後に 五十の兵が 逃げて そこで 死んだ。

Erbaile Eyinbu tousian-ni xapsi-kini Eyinbu doldi-le

エイバル・エインプ 頭領に 報告する。 エインプは 聞いて

gonin-ni lele-mi deriu-xeni niani-meni ami-we-ji ki xesuci-ini

心に 怖く なった。 彼は 父と 相談した。

Eketu yade ayi baite de xesu-rgi-mi mete-syen

エカトは 何も 良い方法を 言うことが 出来ない。

tuinemi gelen tousian-yi xodale xoton-dule eme-rgi-kune-xen

各 頭領に 命じて 村に 帰らせた。

gelen-gulun-ni xesu-ini eyi xoton-me ayiji toki-u-ye

人々に 命じ 村を 良く 守れ。

Kante eyi cuxai xerbe-rgi-mi furgian yakte xoton-dulne eme-xen

カンタは 軍を 連れ 赤毛村に 進んだ。

ele Xurber tadu xoton-du bi-sin tuinele edu afu-mi nemi xodale-yi

フルバルが その 村に いるとき 戦おう と 叫んだが

xoton-duni ni de ene-syen eyi xoton-du yilan yini yilan dolbu-ni
村に 誰も 出てこない。 村を 3日 3夜 囲み

xodale-mi afu-mi xodale-xeni ni de niu-syen Kante eyi xoton-meni afu-mi deriu-xen
叫んで 戦いを挑んだが 誰も 出てこない。 カンタは 村を 攻めた。

emergiji ene-mi mene eyi angku-dui doldi-mi ejiu erge-ji eme dilgan gulun bi-le
行き 自分の テントで 聞いた 東に 音が する。

na erin xergile-ni nio-ni xesu-xen
そのとき 手下が 報告した。

Ertu ejin sagdi xiten Daberle Arxada eyi xoton-dule eme-rgile-ni
「エカト・アジェンの 長男 ダバイラ アルハダは 村に 帰っている。」

Kante xonji xergile nio-yi xesu-xen
カンタは 直ぐに 手下の人に 命じた。

cuxai gulun eyi buti eyi xoton-duni jule duin erge-duni saktul nio nedu-i ni-de
軍 我らは 村の 先 四 方に 人を 配置し 誰も

ene-kune-syen esi sagdi xite-ni Arxada-yi mura katan
入れなくした。 長男 アルハダは 大変 強い。

ju erge-du ini-tokon afu-mi deriu-xen siun sulia-siki da-xan-du odi-kiti
双方が 正午から 戦いはじめ 太陽が西に傾いた時 終った。

esinen afu-du ju taun cuxa-ni saktul munu-du wa-u-xeni
今回の 戦いで 二 百の 兵が 我らに 殺された。

niani xuli-xikini amadi busiku bi-le yilan garfu-me garfe-ini
彼らは 残り 数人の ブシクである。 3本の矢を 射て

eyi garfur-duni eyi beiyi-ni dulian tokon-ini unu-mi deriu-xen
矢は 体の 真中に 当り 傷を 負った。

eyi molin-siki tiki-rgi-ni kere-duni busiku xonji eme-le molin uisikini
馬から 落ちる 間際に ブシクは 直ぐ 起き上がり 馬の上に

tukti-rgi-ini tuinele eji-jiki urke-duleni (urke-duleni) wa-mi ene-xen
上り、 東の 門へ 殺しに 行った。

謡(53)

xelia xelila xelila xelilala xelilala xelaxelila xelei

謡終

esi xoton-du eyi ju site-ni Eyinbu doldi-le
この時 村の 次男 エインブが 聞いた。

eki-tiki-ni duleni doldi-ini wa-mi nemi doldi eskuli katan
東の方角に 聞いた 殺す 声を 聞き 大変 凄い。

tuinemi xonji eyi jo-jap-kere-duni tukuti-xen
直ぐ 家の壁に 上ると、

tuinemi naini aki-ni Arxada
彼の 兄 アルハダが

eskuli (unu-ini) baka-ini manngele-xeni
傷を 受けて ひどく

Eyinbu xonji xoton-duyi (tura-re) aki xerbe-rgi-kune
エインブは 直ぐ 村の門を 開けて 彼を 運びこんだ。

ti garfu-mi nio ni eyi garfu nio Tacila, niani sagdi
その射手は だれか? 射手は タチラで、彼女は

aki-meni isale-ni yicici-re xoton-dule ingge-dui yilan madan
アルハダを(眼に) 見て 村に 入る所を 三回

garfu-xeni tuinemi nala-ni meire¹³³-ni tokon-kune-xeni
射た 手に 肩に 当った。

謡 (54)

xelila xelila xelila xelei xelilala xelilala xelei xelilei xelei xelilei

Arxada baldi-xeni ulgian-keci bi-ren
アルハダは 豚のよう だ。

bei-ni yilan garfu-we tokon-ini
体に 3本矢が 当ったが

niani unuse-mi de sai-syen ye, ene-le ami yicicile-xeni
彼は 傷を受けたことも 知らず 父に 会いに 行った。

xelei xelilala xelilei

ami-ni Eketu ejin xesu-ini
父 エカト アジェンは 言う。

¹³³ xebele 腹、xelegele 親指を B が修正。

eyi xoton esike nio-du buyun-keci da-xan
「この村は 確かに 人にとって 獣の様に なった。」

esi oni ne-uyi
どうしよう。」

xelila xele xelilala xelei xelilei

謡終

ju xite-ni yilan xite-ni saktul xesu-ini
次男 三男が 共に 言う

esi buti nio-dulu tousiale-mi
「我ら 彼らに 投降しよう。」

ekeci neki buti eyi xoton gele-gulun xa baldi-le
そうすれば 我ら 村の 人々は 生きる。」

Eketu ejin doldi-le eskuli xanke-ini
エカト アジェンは 聞いて 大変 怒り

tuinemi ju site saktul taine-mi
2人の子を 叱った。

eyi tuinemi urke-le niu-le xoton-kere-duni ene-le yiciciki-xen
門から出て 村の 近くへ 行き 見た。

ejj-jike urke-leni ui-leni yisa-xen-dui
東 門の 上に 着いたとき

sulia-jiki urke-ni kere-duni saktul tua tai-xen
西の 門の 付近が 燃えている。

niani molen yalu-le tale ~~token~~ yoxon-duleni tokon baleni ene-xen
彼は 馬に乗り そこへ 村の真中に 行った。

ejule jule suliale (ferxi) saktul duin erge-ji saktul tuo tayo-mi deriu-xen
東 南 西 北 四 方へ 火が 燃えている。

Eketu ejin eske sai-xeni-ki exele da-xan
エカト・アジェンは 知った 万事休す。

謡 (55)

xelila xelila xelei xelilala xele xelilala xele xelei

tuinemi xonji molin·dule yau·le jog·dulen bugdene·rgi·ini
直ぐ 馬に 乗り 家へ 逃げ帰った。

xelila xelala xelilala xelilala xelei

jog·dule urke·lei yisa·xan
家の 戸口に 着いた。

ju site·ni saktul miaucin kioto jafu·re bi·sini¹³⁴ tadu(gaji)
2人の子は 槍 刀を 持ち

molin yau·le bi·ren niu·le afu·kini bi·si
馬に 乗っていて すぐ 戦える 状態だ。

xelila xelei xelilala xelei xelei

yicicili·kini sagdi site·ni Arxada ju tu¹³⁵·we ye jafu·rgi·ini
見ると 長男 アルハダは 双錘を 握り

esi ami edu atkoli cece¹³⁶·le·mi erin
汚れて 混乱の 時

xelilala xelexelei xelilala xele xelilala xelei

jule·siki urke·dule·jigeni yinge·xeni eme nio molin
南の 門から 入ってくる 人 馬 がある。

esi Kante wa·mi ne·mi cuxa·yi gaji·mi yisa·xen
カンタが 殺そうと 兵を 連れて 着いたのだ。

xelilala xelexelei xelilala xelei xelilala xelei

amileni eme asen tousian eskuli katan
後方に 一人の 女の頭領 大変 強い。

cuxa·yi molin·yi gaji·mi wa·mi ne·mi tantele·mi eme·xe
兵 馬を 連れて 殺しに 打ちながら 来た。

niani yilan site·ni eme xokuto alben molin embadu da·siki·ini
その 3人の子は 一路 兵 馬を 一緒に 躍りかかる。

(naini) eme ju gisun xesu·syen Kante·ji afu·mi deriu·xen
彼らは 2語も 話さず カンタと 戦い 始めた。

¹³⁴ 元 tadu(gaji)を、Bが訂正。

¹³⁵ 双錘 (漢語)

¹³⁶ 吵吵 (漢語)

xelilala xelilala xelei

afu-mi afu-mi (duin) dexi-yi madan afune-xeti afu-xeni

戦い 戦い 四十回 互いに 戦ったが

ni-de katan xergisi de sai-syen

誰が 強く 誰がしたか 分からない。

esi Kante eyi molin-yi (xorkun) xergele-kini (gaji-re)

カンタは 馬の (綱) を 腰から (取り出し)

Eketu ejin molin-meni begdele-ni emadan nodu-xeni

エカトアジェンの 馬の 脚に 一度 投げた。

xelilala xelila xelei

esi eyi xorkun-duni molin-me begdele-ni saktul

綱で 馬の 脚を (縛り)

xuli-u-kune-mi mete-rsyen da-u-kune-xeni

動け なく させた。

molin-ni yalu de tokun-mi mete-rsyen da-xen

馬は どうしても 動くことが 出来なく なった。

xelilala xelila xelei xelilala xelei xelilei

Kante xasukte nale-jiyi eu-siki xorkun-me tatale-kini

カンタは 左手で こちらに 綱を 引き

eyi yicakte nale-jiyi miaucin-yiji jukuju-xen

右手で 槍を 刺した。

Eketu eskuli katan-ji auli-mi molin-duleyi tiki-rgi-xen

エカトは 勇敢に 叫び 馬から 落ちた。

xeleilei xelei xelileilei xelei

語終

Kante busikuyi eme gelen embadu eyi xorkun-ji xeleke-kune-xen

カンタのブシクに 来させ 人々と共に 縄で 結ばせた。

esi Eketu sagdi site-ni Arxada Tacila-du wa-u-xeni

この時 エカト 長男 アルハダは タチラに 殺された。

ju site-ni yilan site-ni saktul eyi katan xergile-ni tousian-gulun-duni
次男 三男は 強い 手下の 頭領たちに

embadu tokon-du embadu ne-xeti
共に 中央に 一緒に 囲まれた。

Kante eyi molin xeleke-le xorkun-ji molin-me jafu-ini
カンタは 馬を つなぐ 綱で 馬を 捕らえ、

yilan site ju site-ni Tacile kere-duni yisa-xen-du eyi julu saktul jafu-xen
三男 次男を タチラは 近くに 着いたとき 2人を 捕まえた。

esi furgian yakte xoton-ni saktul wa-u-xen emeke de xuli-mi bi-rcen
この時 赤毛 村は 全て 殺され 一人 も 残っていない。

Kante eyi cuxa-yi xerbe-mi jule-siki ene-le Eketu ejin jo-duleni ene-xeni ingge-xen
カンタは 軍を 連れて 先へ 進み エカトア・ジェンの家に行き入った。

tuinele jo-ni gelte-xeni Solaki yade baka-rcen
家を 探したが ソラカは 何処にも 見つからなかった。

adi-madan gelte de baka-rcen
何回も 探したが 見つからなかった。

tuinele nio-yi molin-yi eyi xoton-du te-rgi-re-kune-ini(teine-kune-ini)
兵 馬を この村に 休ませた。

uyun juan site-ni begdene-xen Eketu ejin gia site-ni saktul jafu-xen
九、十 男は 逃げたが、 エカト・アジェンの他の子供は 皆 捕まえた。

tumaki ini Xurbini na eji xoton-me afe-xen
翌日 フルビンは また 東の村を 攻めた。

Kante agdene-mi eyi niani-meni jake-bu-xen
カンタは喜び 彼に 褒美を与えた。

gelen tousian-xala-ni saktul xesuci-mi xesu-le
各将たちを 呼べと (カンタが) 命じる。

emeke furgian yakte xoton-ni gelen xoton-ni (taku-re)
第1: 赤毛村の人たちの 各村を 奪い返す。

julu baite Eketu begdene-xen site-ni (gelte-mi jafu-re)
第2 エカトの逃げた 息子を 探して 捕まえる。

yilan baite eyi Solaki-we baka-rgi-yi
第三 ソラカを 探し出す。

duni baite Eketu ju site-we wa-uyi

第四 エカトの次男を 殺す。

niani-meni jo-ni jolani-gulun-meni axa dao-kune-ro

彼らの 家の 家族の人たちを 奴隷にする。

amile gelen-gulun saktul ene-le teine-kini

その後 皆は 戻り 休む。

Kante eyi Solaki gelte-xeni yale saktul medele-le nio yicikile medele

カンタは ソラカを探し 方々で 聞く 人を 見たかと 聞くが

nio-le medele-ini de sai-syen eyi oni ne-uyi

人に 聞くが 誰も知らない。 どうしよう。

tuinami furgian yakte xoton-ni saktul gelte-xen

赤毛 村を 全て 探した。

olin yoxon-du gelte-ini eme taun nio-tiki medele-xeni

20の 村を 探し 一百 人に 尋ねた。

tuinemi eyi olin taun nio-ni juan taun yixan molin urgen xoni

20万の百姓 10万の 牛 馬 豚 羊

jake-we-ni saktul mene jog-jule xoton-dule nuku-rgi-le ne-mi xesu-ini

物を 自分の家に 村に 運べ と命じた。

niani xe Solaki-we (gelte-yi) xesici-ye Kante eske ne-mi jari-ini

彼は ソラカを 探せと 命じる。 カンタは 焦り 歌う

謡(56)

xelia xelila xelila xelilala xele xelei

furgian yakte xoton-ni ejin-ni mini-we saktul wa-kune-xei

赤毛村の頭領は 私に 殺された。

xelilala xelilala xelei

niani jo-ni xoton-ni saktul anci da-xani ye

彼の 家 村は 皆 なくなった。

xoton-meni duleni saktul Solaki-we gelte-xei baka-rgi-ceyi

村の 中を 全て ソラカを探したが 見からない。

xelei xelilala xelei xelilala xelei

ekeci arne-ni asen ye yicicile-cia xeyi
この様に長い年月 妻に 会っていない。

esi ele eme-le asen-yi gelte-xi ne-mi wa-keci-mi afu-yi
ここに来て 妻を 捜しす ために 戦った。

xelilala xelila xelilala xelilala xelelei

yaledu gelte-xei Solaki ergen-ni de yicici-cei
しかし 何処を 探しても ソラカの 影さえ も 見えない。

mini goni unu-le mini goni unu-le
私の 心は 傷ついた 私の 心は 傷ついた。

xelei xelei xelilei xelelei

謠終

ke ke ke
人!人!人!

第 18 章

alang (47)

Solaki furgian yakte xoton-duni ejin-duleni Saxalin mangme jap-kere-duni
ソラカは 赤毛村の アジェンに サハリン江の 付近に

ene-(kune-)xeni Saxalin buluo ti tousian niani-meni ayi-ji ne-ini
行かされた。 サハリン 部落の 頭領は 彼女に よくした。

eni site-meni embadu yaxan-ni yilan nio lao-du gaji-rgi-le eme jo-du bi-kune-xeni
母 子を 下女と共に 3人 牢屋から 出し 家に 住ませた。

jefe-ini titi-ini takole-ini baite saktul niani-dui bu-yi Solaki eske goni-ini
食べ物 着る物 使う 物を 彼女に 与えた。 ソラカは 思う

eske mura ayi ini ini niamkoli da-xan site-yi yaxan-ji
大変 良い。 日に日に 温暖になった。 子と 下女と

urken-dulu wa-keci-xen mene ta-du saman-yi de tati-rgi-mi bi-ren
山に 遊びに行った。 自分は そこで シャーマンの 修行をして いる。

mene niani-ni ekin xonaji duleni embadu alci¹³⁷-mi uki ani alci-xeni
彼女は 姉妹 ここで 一緒に 過ごし(待ち) 多くの年過ごした。

Saxalin eyi ba-du etekuli yilan bia da-xani olkte yilga saktul
サハリンは 天気が 冷たい。 三 月になると 草 花が

furku-rgi-mi deriu-xen duin bia-du yilga furku-mi odi-xen
舞い(咲き) 始める。 4月に 花が 舞い(咲き) 終る。

Moxada urken saktul nunggian da-xan esi yilga de degde-xen
モハダ山は 緑に なる。 今は 花が 飛び舞う。

urken uile-duni saman-du enduli eme-kini
山の上で シャーマンに 守護神が 来て、

urken eyi duleni¹³⁸ eme jo-keci bi-si bi-ren tuinemi edule embadu bi-iti
山の 洞窟に 一つの家のような所に いる。 そこに 集まっている。

eme ini Solaki tale ene-xele niani eyi duleni-du (yingge-re yicikici-ini)
ある日 ソラカは そこへ 行き、 彼女は 洞窟に 入り見ると、

te-rgi-xen eyi duleni eme Jolu mama bi-ren
洞窟の中に 座った ソル・ママが いる。

eyi Jolu mama jule-du saktul saman-ki esi edu jolo da-xani
ソル・ママは 以前 シャーマンで現在 ここで 石に なった。

Solaki eyi mama-we yicikici-xen gelen nio-tiki saktul edu bakeci-ini
ソラカは ママを 押した。 (周囲の) 人々に 挨拶した。

maci bi-le eyi mama saman-me tati-wo baite xesu-mi deriu-xen
少しすると ママは シャーマンの修行を 話し 始めた。

eme casa keci xesu-le xesu-mi odi-kini Solaki eyi erin-du ta-le cing-an¹³⁹-le-xen
1 時間 位 話し、 話し終えたので ソラカは この時 ママに 拝礼した。

tuinele medele-ini mini edi afu-mi ene-xeni ya erin eme-rgi-le
訊ねた 「私の夫は 戦いに 出た。 いつ 帰ってくるか」と。

eyi mama nale-yi taune-ini amng-dule tura-le xesu-ini
ママは 手の指で 数え 口を 開いて 言う。

137 等の直訳？

138 dulani は、「内部」であり、urken duleni で「洞窟」。洞窟には、ホジェン語 (kewun) がある。

139 請安(漢語)

si edi-si sindu karci eme tawun goro anci bi sai-syi
「貴方の夫は 貴方の近くに 来ている。百里もない。 私は 知らない

si ya erin bake-rgi-yi si edi-si xai exele baite-ni bi-ren
貴女が 何時 会えるか。 貴女の 夫は まだ 災難が ある。

sindu niani jiu¹⁴⁰-le-syi bi-si jiu-le-sye da-kini ergen de bi-leni de sai-syen
貴女は 彼を 助けなければ 助けなければ 命が あるか 分らない。」

ti xesu-mi odi-le eyi mama eme xausin enduli fu eyi
ママは 言い終わり ママは 一枚の紙 神の御守を

Solaki-du bu-xen xesu-ini si eyi-we jefu-kisi si degde-mi ene-isi
ソラカに 与えて 言う。 「貴女が食べたなら 貴女は 飛んで 行ける。」

Solaki tuinele eyi-we eyi urken enduli fu-ni jefu-xen
ソラカは これを 山神の御守を 食べた。

gelen nio-siki xesuci-le ene-xen ene-le maci xuli-ini xokto-du duin erge-du
人たちに 別れを言い 去った。 少し 行くと 道の 四方に

saktul nio anci niani amne-ji dagu¹⁴¹-le-mi deriu-xen
人は いない。 彼女は 口で ぶつぶつ(漢語)呪文をとなえた。

gisun xa xesu-mi odi-cen, niani ju begdele-ni uisiki degde-mi deriu-xen
一言 となえる終わらぬ内に 彼女の2本の脚は 空を 飛び始めた。

niani ju sian-ni “xu wun” edin yingge-xen
彼女の2つの耳に 「フウン」と風が 入り

maci bi-le Saxalin buluo-ni xoton-dule yisa-xen
少し経つと サハリン部落の村に 着いた。

tuinele na xesuci-mi deriu-xen eyi bei-ni niani bi-si badu kere-dule eu-xen
また 呪文をとなえると、 体は 彼女の家の近くに 降りた。

niani site-ni eni-ni agdene-mi xurku-mi xebele-leni eme-xen
彼女の子は 母を 見て喜び 跳び 懷に 飛び込んできた。

Solaki site-yi tebeli-le mukeci-le site-ni dili-weni temri-mi xesu-ini
ソラカは 子を 抱き キスをし 子の 頭を 撫でて 言う。

140 救 (漢語)

141 (漢語)

bobai bobai¹⁴² sini ami-si etiki goro anci

「坊や 坊や 貴方の父は ここから 遠くない (所にいる)。」

eme Jolu mama xesu-xen niani exele baite bi-le oni ne-uyi
ゾル・ママが 言う 『彼は 災難に在る』と、 どうしよう。」

niani Kante-ji site juan ju se da-xani
彼女と カンタの子は 十二才に なった。

eyi gerbi-ni Kerbuda esikuli fakasi goni-ni marxon
名は カルブダ。 大変 賢く考えることが 多い。

eni-ti xesu-ini eni si ayiji munu ami-dule-yi nuku-lo
母に 言う 「母が 私たちを 父のところへ 連れて行って。

mini-we embadu ami-ji exele gulun wa-kune-lo
私に 一緒に 父と 敵を 殺させよ。」

Solaki doldi-le site-yi goni-me sai-xeni tuinel tumaki sini-we nuku-yi
ソラカは 聞いて 子供の心を 知った。 「明日 貴方を 送る。」

Kerbuda doldi-le ayiji agdene-mi xurku-mi deriu-xen
カルブダは 聞いて 喜び 跳び始めた。

謡 (57)

xelai xelai xelai xelila xelila xelai xelai

yilan ini da-xani eni-yi xe nuku-syen
3日 経つが 母は まだ 送らない。

tuinemi ayiji baite-we de xesu-syen eskuli eni-yi xodu-ji¹⁴³
この事を 話すこともできず、 母をせかす。

xelila xelai xelila xelilala xelai

謡終

Solaki xesu-le eme eyi sunjia cumuken taune-le¹⁴⁴
ソラカは 数える、 五本の 手の それ (指) を 数える。

edi alben-mi xerbe-mi eyi furgian yakte-mi yoxon-du kere-duni
夫は 兵を 連れて 赤毛 村の 近くにおり

¹⁴² 宝贝 (漢語)

¹⁴³ 元yayiをBが訂正。

¹⁴⁴ 元nale-yi ti-we xesu-reをBが訂正。

jakon uyun ini da-xan eyi goni-ini eyi edi eyi exele gulun-me afu-mi
八 九 日 経つ。 彼女は考える 夫が 敵と 戦い

unakemi de sai-sye niani tadu de mete-sy da-xan jo-dule ingge-rgi-ini-du
どうしたか 知らない。彼女は 待つことが出来なくなって 家に入り

eme oldokese gaji-xeni site-yi ti uileni te-rgi-kune-le,
一枚の 板を 取り出し 子を その上に 座らせた。

mene-de kere-duni te-rgi-le site-tiki xesu-ini yisale-yi koyine
自分は その側に 座り 子供に 言う。「眼を 閉じて。

ya-we de eji yiciciki-le ukia sagdi adin-du de yisale-yi-ji
何も 見るな。 どんなに大風でも 目で

ya-we de eji yicici-sie tuinemi eni-ni site-ni yi buti yisale yicici-kele
何も 見るな。」 母 子は 私達 眼で 見ると

ergen xanin bude-uyi eyi gisun-me doldi-xeni xesu-mi odi-xeni
命が 死ぬ。 話を 聞いたでしょ。」 言い終わり、

naini eme foku jafu-le site-yi yisale-uileni dasi-xen
彼女は ハンカチを 取り出し 子の 眼を 覆った。

tuinemi xesuci-mi ti oldokuse furgian yoxon-duleni degdemi ene-xele
呪文をととなえ 板は 赤毛 村へ 飛んで 行った。

furgian yakte xoton-ni uileni xerge-siki eu-kisi
赤毛 村の 上から 下へ 降り

ye (erin) ini tokon da-xani eyi xoton-du eyi yicici-kini eme nio de anci da-xan
正午に なった。 村の中を 見ても 一人も いない。

jo-ti saktul jigde-mi taiyo-xele bi-le (de anci)
家に 焼く 火が燃えている 所はない。

Solaki site-yi xerbe-mi jule-jige urke-duleni ene-xeni
ソラカは 子を 連れて 南の 門へ 行った。

tadu xokto-du yicici-xeni nio molin saktul Songgali ba-leri ene-xen de bi-le
そのの 道を 見ると 人 馬は ソンガリへ 向かっている。

eyi oni ne-ye site-yi oldekuse te-rgi-kune-le xesuci-mi eyiji
どうしたことか。子を 板に 座らせ 呪文をととなえると 東へ

degde-mi deriu-xen Solaki jari-mi deriu-xen
飛び始めた。 ソラカが 歌う。

謡(58)

xelila xelila xelilala xelei xelilei

ekeci Saxalin baduni ekeci arne-ni baldi-xei

サハリンに この様に長い年 住んだ。

xelilala xelala xelilala xelei

eyi tousian-ni mini-we ayiji ne-ini

頭領は 私を 大事に 扱い

jefu-yi saktul bu-ren

食べ物 与えた。

xelei xelei xelilala xelei

jefu-yi omi-yi saktul mindu site-dui bu-ren

食べ物 飲み物 すべて 私に 子に 与えた。

muni-ni edi-ni Kante ya-du bi-sini oni bi-si de sair-syen

私の 夫 カンタは 何処に いるか 如何しているか分からない。

xelei xelei

site-yi xerbe-mi furgian yakte xoton-duleni gelte-xei anci

子供を 連れて 赤毛村を 探しても いない。

xelila xelei xelei

eyi xoton eme nio de anci da-xan

村は 人一人 いなくなった。

mini goni-ini esi goni-yi yau-siki ene-xei

私は 考える 今 思う(彼は) 何処へ 行こう。

xenila xelei xelilala xele xelei

edi-ni esi yadu bi-le yadu bi-le

夫は 何処にいる 何処にいる。

xelei xelei

謡終

ke ke ke

第 19 章

alang (48)

esi Kante eyi furgian xoton-ni buluo-ni gulu-meni Eketu ejin gelen-gulun-meni
カンタは 赤毛村 部落の 人々 エカト・アジェン 人々を

yixan-yi molin-meni ulgian-meni xoni-meni eyi jake-we
牛を 馬を 豚を 羊を 物を

saktul mene xoton-dule xerbe-rgi-xen
みな 自分の 村へ 持ち帰る

eme xokuto-du ene-idu eme esikuli nio-ni marxon xuli-xeni eleke eleke-ji xesu-ren
道を 行く時 大変 人が多く 行くので ゆっくり行けと命じた。

eme ini juan ba-keci xuli-ini dulan bia-keci xuli-xele
毎日 十 里ばかり 行き 半 月位 進む。

eyi Buyan bira-ni sula-kere-ni yisa-xale
ブヤン 川の 西岸に 着いた。

Kante Solaki-we de bake-rgi-ceni goni-ini eskuli manngeji unu-le
カンタは ソラカに 会えず、 心は 大変 傷ついた。

tiunemi cuxa-yi gulun-meni eyi gelen-gulun-meni mo capci-kune-le
軍の 人々に 百姓たちに 木を 切らせ

mo capci-le embadu xorkun-ji da-le selen-ji embadu saktul ne-xele
木を 切り 共に 縄で 鉄で 一緒に 縛り付け

tuinele eyi marxon eyi mo capci o-xesi
沢山 木を切り (筏を) つくる。

eyi tokon-du Kante xokuto xuli-dui furgian yakte xoton gulun-me jafu-le
途中 カンタは 道を 行き 赤毛村の 人を 捕らえ

ti-tiki jafe-i gulun-ki nu-dule Solaki baite-weni medele-ini
それに 捕まえた人たちに ソラカのことを 聞いた。

eyi gulun saktul sai-sye ne-mi xesu-xen Kante oni ne-le
人々は 知らないと 答える。 カンタは 如何しようもない。

goni-ni eskuli exele tuinemi dili-leni tua-keci bi-le goni-ini mangge-ji unu-le
心に 苦しく、 頭が 火の様である。 心は 非常に 傷ついた。

eme ini xokuto-du niani Tacile Xerbin bi-le laokele-mi
ある日 道で 彼とタチラとフルピンと 話しをしていたとき、

Yunjonbar tule-kile eme-rgi-le xesu-we xesu-le eyi mo (ade) saktul xeleke-mi
ユンジョンバルは 外から 来て 報告する。 筏を 縛らせ

ya-me odi-xen Kante doldi-le xesu-ini esi bi xai asen gelte ene-kini
全て 終わった。 カンタは 聞いて 言う。 「私は 妻を 探しに

furgian xoton-duni (alben-we) gaji-rgi-ji bi saman enduli-du belci-u-kune
赤毛村に 兵を出した。 私は シャーマン守護神に 助けられ

furgian xoton-ni saktul anci da-xan esiki ya-siki Solaki ya-siki
赤毛村を 全滅 した。 こちらにも 何処で ソラカに 何処で

bake-rgi-uyi goni-dui xesu-mi de odi-syen
会うことが出来るのか、心は 辛く 言いつくせない。

tuinemi esi beiyi-du kusun anci da-xan
今 体に 力が なくなった。

alben-yi gulun-ni baite-we de gaunxi-le tiaxe-le-sye da-xan eyi baite-we xesu-ini
兵たちのことの 指揮を したくなくなった。 指示を 言う。

saktul gelen tousian-dui xafen gelen-gulun-dui xesu-xe
各頭領たちに、 ハハンに、 人々に、 言う。

bi e-tiki ami-siki eyi ini ami-siki saktul eyi ti-gulun baite gisun doldi-si
今後 今日から 兵事のことは 彼の言うことを 聞け。

ayi mo saktul ne-u-xen saktul eyi mo uile tuki-le eyi-siki eyi ene-uyi
木を 並べて作った 筏の上に のり 東に向けて 行け。

bi tumaki erde molin yalu-le ene esi gelen tousian xala-ni
私は 明朝 馬に乗り 行く。」 各 頭領たちは

eyi gisun-me doldi-xeni tuinemi saktul sini gisun-me doldi-yi nemi xesule
「話を 聞いた。 貴方の指示を 聞いた」と 言う。

eyi dolbu-kini Kante arki omi-xeni terin teine-kini
夜であったので カンタは 酒を 飲み その時 休んだ。

謡(59)

xelilala xelila xelei xelilala xelei xelilala xelei

tumaki ene-uyi Kante eme taun busiku-yi xerbe-rgi-mi ene-xen
翌日 行き カンタは 百人のブシクを 連れて 去った。

xelilala xelei

Songgali ferxi-le erge-ni xoton goro ba-duni ene-xen
ソングリの 北の付近の 村から 遠いところに 行く。

eyi xoton xala-ni saktul nioni anci ukia nio bi-si de anci
この村の 里には 人も なく どんな 人も いない。

esi Kante bei-ni ocikoli da-xan
カンタの体は 熱く なった。

xelei xelei xelei

dili-ni muke-keci da-xan dili-ni yisale-ni saktul eme ilga-keci
頭から 汗が 出た。 頭は 目は まるで 花のように赤い。

molin xolun-duni titi-rgi titi-rgi-ini
馬の上から 落ちる。

xelei xelei

busiku niani-meni molin ui-siki-ni ane-rgi-ini tuinemi busiku
ブシクは 彼を 馬の上へ 押し戻した。 ブシクは

xonji niani-meni molin uileni ne-mi e-dule-siki xuli-le ene-xele
直ぐ 彼を 馬の上に 乗せ 前へ 進んで 行く。

xelei xelei xeleilei

mangme-we dau-yi ba-dule yisai-xele
川を 渡る 場所に 着いた。

Kante unku-ni mangge da-xan
カンタの病は 重くなった。

cuxa-ni ene-xen de ene bi-ren
兵は 進まざるをえない。

niani xuli-xeni niu nadan ini xuli-xeni jo-julei yisa-rgi-ini
彼は 進んだ 六 七 日 進み 家に 着いた。

Ante aki-ni niani-meni tule-siki niur-le agdene-mi alci-le
アンタ兄は 彼を 外に出て 喜んで 待っていた。

xelei xeli xelei

niani·meni yicileci·kini

彼は 見ると

neu·ni Kante unku·ki·keci eme·rgi·le

弟 カンタが 病気を して 帰ってくる。

tuinemi song·mi deriu·xen

彼は 泣いた。

xelei

eyi xoton axa·yi Kante·we monin·sikini

村里の 下男に カンタを 馬から

xergi·siki jafu·le eu·rgi·u·kune·xe

下に 担ぎ 降ろさせた。

tuinemi jog·duleni nuku·rgi

家に 担ぎこんだ。

xelei xelei xelei

esi Ante amdi nio·we gelte·le unku·ni yicikici·kune·le

アンタ 数人の人を 探し 病気を 見させた。

eyi madi nio ju xaxa yilan asen

この人々は、 2人の男と 3人の女である。

ti·duleni xe ayi asen nio saman

その中に 一人の女のシャーマンに

niani·meni tou yicikici·u·kune·ini

火を 見させた。

unkun·ni oni bi·le oni taku·uyi

「病気は どうか 治るか。」

xelei xeleilei xelei

Ante doldi·le eskuli goni·ini exele

アンタは 聞いて 心が 痛んだ。

tuinemi xergile bi·si tousian·yi xala·weni

手下の 頭領 たちに（命じ）

xoton-duleni gon·leni¹⁴⁵ enduli bar·leni ene·le
村に 祀る 神廟に 行き

yixan·me xoni·me ulgian·me miakure·mi
牛 羊 豚を 捧げ

xesuci·ni mini neu·yi xonji agdeleki·u·kune·lo nemi xesu·ini
願う。 私の 弟 直ぐ 良くならせたまえ と 願う。

xelilala xelei

Kante unku·ni eme·ini eme·ini·tiki mangge da·xan
カンタの病は 日に日に 重くなる。

xelei xelei xelei

謡終

第 20 章

alang (49)

esi Solaki eyi Buyan bira·ni eme·le ayi duleni gelte·ini edu bi
ソラカは ブヤン川に 来て そこを 探していた。 ここで 私が

yicikici·ni ini xa yisa·syen niani ene·xen urken·dule Xada urken·dule
再会する 日は まだ 来ない。 彼女は 去り 山に ハダ 山に

ene·le saman·yi tati·rgi·ini eme ini Kerbuda deyi·du·kere·duni wa·keci·ini
行き シャーマンの修行をする。 ある日 ケルブダが 森の近くで 遊び

yisale tergile yicki·cen eni·yi baka·rgi·syen da·xani dulan yini gelte·mi de
目を 離れたとき 見えなくなり 母に 会えなくなった。 半日 探しても

bake·rig·syen da·xani tuinele song·mi deriu·xen eyi song·mi·duni Yunjonbar
会えなくなった。 彼は 泣き始めた。 泣いているとき ユンジョンバルは

edu xuli·ini doldi·xeni eme site song·yi dilgan bi·ren xergele nio xesuci·le
ここを 通り過ぎ 聞いた 子供が 泣く 声が する。 手下に 命じ

eyi nio gelte·loyi ti·gelen song·yi dilgan·ni erge·tiki deyi·duleni gelte·le
「あの人を さがさせ」。その手下は 泣く 声の 方角に 森を 探した。

¹⁴⁵ 供 (漢語)

edu yicici-cile eme juan ju se site bi-le edu song-mi baka-rgi
そこに 見た 十 二歳の子がおり そこで 泣いているのに 出会った。

eyi site nio-me xodon-ni kere-duni eme-le medel-ini mini eni-mei
子供 人が 急いで来るのを見て そばに 走り寄り 訊く 「私の 母を

yicici-xesi a xai medele-ini yalu-gale eme-xesi Yunjongbar de
見たか。」と また 尋ねる 「どこから 来たか」。 ユンジョンバルの

xergele-ni nio-ni xesu-ini mono anci de yicici-ciu eni-me de yicici-cen
手下が 言う 「私は 何も 見なかった。 母を 見なかった。

bi Kilin xoton-duni tuosian-ni xergele bi-si busiku-yi eyi tousian eyi song-ini
私は キレン 村の 頭領の 配下で ある ブシクである。頭領は 泣き

gisun-me doldi-le mindu gaji-ele yicici tuinele niani
声を 聞いて 私に 行かせ 見させた。 彼に

si daxe-le-mi minu ejin-we yicici-lo Kerbuda goni-ini bi
貴方は 付いて来て 私のアジェンに 会いなさい。」 カルブダは 考えた 私は

yade-si ya bi-le bi xai eni xe gelte-rgi-ini
何処に 何処に いる。 私は また 母を 捜そう。

bi eyi badu bi-syi-ki eni mindu yale bake-rgi-le?
私は ここに いなければ 母は 私と 何処で 会う。

eyi xergile nio-ni xesu-ini eyi ba lelu-ki xala-ni saktul yade bi-le lele-sye a?
手下の人が 言う 「ここは 狼 達や 何でも いる 怖くないか。

sini site edu bi-sin xai mini-we daxe-le-mi mono ejin-me yisa-ki yicileki yisa-lo
貴方が ここで。 それとも私に 付いて 私の アジェンに 会いに 行きなさい。

sini-we bu gase belci-mi eni-wesi gelte-uyi Kerbuda doldi-xeni gisun-me
貴方を 私達 共に 助け 母を 捜そう。 ケルブダは 話を 聞いて

tuinemi eyi ejin-me yici-xeni Yunjongbar-le
アジェンに会いに ユンジョンバルの所へ行く。

eyi site eyi ejin-me yici-xeni eskuli ayi tuinemi cin'an-le-xeni
この子は アジェンに会い 挨拶をした。

kere-duni yili-le bisin eyi ejin medele-ini
近くに 立って いる アジェンは 尋ねた。

si yade bi-si site unakami eyi deyi-dule eme-mi song-xei
貴方は 何処の子だ。 なぜ 森に 来て 泣いた。

Kerbuda xesur-ini
カルブルは 答えた。

bi eni-ji gase eme-le ami gelte-mi deriu-xen tuinemi ele yisa-xen
「私は 母と 一緒に 来て 父を探して ここに 着いた。

edu wa-keci burgin-duni eni ya-siki ene de sai-syen
ここで 遊んでいるとき 母は どこかへ 行き 知らない。

tuinemi eni bake-rgi-sye song-mi deriu-xeni
母に 会えずに 泣いた。」

ejin ne medele-le si ami-si eni-si ami-si ni imjake gerbi-ini
頭領は また 尋ねた。 「貴方の 父 母は 誰、 何と言う 名か。」

niani elekeji xesule bi eni-yi Solaki ami-yi Kante
彼は ゆっくり 言う。 「私の母は ソラカ 父は カンタ。」

Yunjongbar doldi-xeni eskuli saixeni deriu-xen
ユンジョンバルは 聞いて 全て 知った。

tuinemi te-rgi-le yili-rgi-le xesur-ini
起き上がり 立って 言う。

si eyi mono ejin-we site-ni e ami-si mene eni-we gelte-rgi-si
「貴方は 私のアジェンの子で ? あなたの父は 母を 捜している。

eni-si gelte-rgi-mi baka-rgi-sye edu maci ene-xeni
貴方の母を 探し出せず 会えず ここから 帰った。」

tuinemi arki-we solgi-we gaji-simi Kerbuda jefu-kune-mi deriu-xen
酒を 肴を 持ってきて カルブルに 食べさせた。

tuniele xerbe-rgi-le Kante-dui yicici-kune-le
連れて帰り カンタに 見させるため

eyi erin gelen-gulun molin alben-ni saktul muke-duleni bi-si mo-uileni tukuti-le
この時 人々は 馬 兵を 水に浮かべた 筏に 乗せ

Yunjongbar eyi Kerbuda-we xerbe-mi mo uileni tukuti-kune-le
ユンジョンバルは カルブダを 連れて 筏に 乗させた。

mo-uileni angku jo-keci anku-keci o-rgi-ini
筏の上に テント 家の様 アンクの様な物を 作り

eyi mo·uileni busu loko·rgi·le guguda·jiki olin mo gelenene·mi deriu·xen
筏の上に 旗を 靡かせ 高く 二十の筏を 出発した。

eme ini olin ba·dule xuli·iti Buyan bira·du Gaijin·dule niu taun ba bi·le
一日 二十里 進み ブヤン 川に沿い ガイジンまで 六 百 里 ある。

niu ini xuli·xele gelen tousian gulun·ni eyi mo·uileni jari·mi deriu·xele
六 日 進んだ。 各 頭領 達は 筏の上で 歌う。

alben·ni gase jari·ini
兵も 共に 歌う。

謡(60)

xelilala xelila xelei xelilala xelei xelilala xelila xelilala xelei xelei

sagdi sagdi mo·du·uileni ei·ji eu·uyo e
大 大 筏に 乗り 東へ 流れる。

xelila xelilelei

jog·dule Gaijin ba·dulen e·xoe
故郷へ ガイジンへ 行く。

xelilala xelei xelei

mono jo eme·rgi·le eyi yoxon·du
我等は 帰る 村に

tuinemi anku saktul jo·keci o·rgi·xe
アंकを 家の様に 建てた。

gelen nio mo·uileni jefu·yi omi·ui eskuli ayi
人々は 筏の上で 食べ 飲み 好い。

xelilala xelila xelila xelilala xelei

yisale·yi tergile yici·rgi Gaijin kere·duni yisa·xen
見る間に ガイジン付近に 着いた。

eme jo·ni gulun·ni saktul embadu·le asen site·yi yicikici·le dui
家の 人に 共に 女 子供に 会える。

xelei xelilala xelei xelei

謡終

alang (50)

eyi mo eyi Gaijin-du yisa-xe
筏は ガイジンに 着いた。

Ante ejin eyi tousian-yi xala-du ene gase
アンタ アジェンは 頭領たちと 一緒に 出て、

ele xoton gulun-ni xaxa asen sagdi mafa yisikuli site saktul
この村の 人 男 女 老人 子供 皆

eyi mangme jap-kere-duni yicikici-mi agdenemi bi-le
河の 川辺に 見て 喜ぶ。

eyi yuansyuai Yunjongbar Ante ejin-me yicileci-ce
元帥 ユンジョンバルは アンタ アジェンを 見なかった。

Kante tadu sagdi tousin goni-dui Kante de nio yicici-cen
カンタをそこに 大 頭領は 心配した カンタが 見えない。

goni-dule goni-ini unakami
心に 思うに どうした？

medele-mi de oni medele-le tuinemi de dirgane-cen
問うにも どのように問うか 声もでない。

第 21 章

alang (51)

gelen-gulun umbadu bakeci-rgi-le agdene-rgi-mi cinganle-le
皆は 共に 会い 喜び 挨拶をし

yuan suai Yunjonbar medele
元帥ユンジョンバルは 訊ねる。

unakami sagdi yuan suai-we yici-rce eme-cia bi esi site-we gaji-rgi-ki
「どうして 大 元帥を 見ない 来ないのか 私は 子を 連れてきた。」

guansi-le tousian-ni de xesule sagdi touxain bale ene-xe
管理する 頭領が 言う 「大 頭領は 天へ 行った。

ejin song neu-yi song-mi eskuli bude-kimi song-mi bi-le
アジェンは 泣き 弟を 泣き 死にそうなほど 泣いている。

mono eme·kune·le sini gaji·u·kune·xeni
私を ここに来させて 貴方を 連れてくるように」

Yunjongbar doldi·xen goni·ini unu·le
ユンジョンバルは 聞いて 大変 悲しい。

eyi jafe·i gulun·meni saktul xoton tule·leni tadu bi·u·kune·le
捕らえた人を 村の 外に 居させ

gelen tousian·yi gulun·meni niani·meni yiciciki·mi ayiji ne·kunele
各頭領たちに 彼らに 見させ 良く扱わせる。

gulun alben·ni gulun·meni xoton tule·ni anko o·kune·xeni
兵 たちを 村の 外で 野営させた。

mene eyi Kerbuda xerbe·mi Ante ejin·du yicici·kune·xen
自分は カブダを 連れて アンタ アジェンに 会わせた。

Ante yici·le Yunjonbar eme site Kebuda·we gaji·rgi·ini eyi sai·xen
アンタは 見て ユンジョンバルが 子 カブダを 連れ帰ったことを 知った。

niani usia·mi site·i·keci neu·yi bude·xeni badu dule xerbe·xen
彼が連れてきた子は 弟が 死んだ 場所へ 連れて行き

tunele song·mi jari·mi
泣き 歌う。

謡(61)

xelilala xelila xelila xelilala xelei xelei

gulun·ni gelen·gulun·ni saktul song·le
人々 人々 皆 泣き

xelila xelei

eyi bude·xeni neu·ni bude·xeni neu·ni saktul goni·ki unu·le
死んだ 弟 死んだ 弟を 悲しむ。

xelei

mini neu·yi sagdi tousian
私の 弟 大 元帥

xela

ni·u alben eme tumen molin·ni guansi·le
誰が 兵を 万の 馬を 統べる。

xelei

bi-ni niani si yisikuli nio daxe-si anci
私の 彼(弟) お前は 小さい時 親族を なくした。

asen gade-ki nio exele-gulun-du jafu-kune-xe
妻を 娶った人を 敵の人が 捕らえた。

xelei

aki-yi bi isikuli-dui niani-meni sagdi dao-kune-xei
兄 私は 小さい時から 彼を 大きく 育てた

esi mini mesike xuli-rgi-xei
今 私 だけ 残した。

xelei

esi si meni site-si edu eme-xen
今 貴方の 子が ここに 来た。

gelen enduli-gulun-ni ayiji mini-we
神達は 良く 私の

goni-ni ayiji ayide-rgi-kune-lo neu-yi ayide-rgi-kune-lo
心を 慰めてください。 弟を 慰めてください。

xelei xelei

neu-yi Kante ergen-meni gaji-rgi-u-kune-lo
弟 カンタの魂を 連れ帰えさせ給え。

ergen-meni gaji-rgi-u-kune-lo
魂を 連れ帰えさせ給え。

xelei xelei

bi saktul ayi jake-we sundu ayiji bu-mi gongle-mi
私は 神前に 供物を 貴方に 供える。

saman gulun-ni enduli gulun-ni saktul ayiji ne-lo
シャーマン達 神々に 良く 祀る。

xelei xelileilei xelei

謡終

alang (52)

亜爛

Ante Kante-ni bud-xeni-duni tuinemi tadu goni-ini de exele
アంతは カンタの死の祭壇で 悲しんだ。

ye maci ne-xen tuinele gelen ~~nie~~ xergele bi-si tousian gulun-meni xesu-xele
少し経つと 各 手下の 頭領たちに 命じた。

uyin molin-we wa-u-kune-le, uyin suyan yixan,
九頭の馬を 殺させ 九頭の黄 牛を

uyin xoni uyin ulgian uyin tioko niexe wa-kune-xen
九匹の羊を 9匹の豚を 9羽の 鶏 鴨を 殺させた。

eyi ulse xala-weni saktul uileni nedelexen
肉 類を (祭壇の)上に 置いた。

uyin siangin molin molin yakte-ni(solgokte-ni)
九頭の白い 馬 馬の毛

molin irgi-ni yakte-ni (irgi-ni) saktul aci-ule
馬の 尾 毛を 抜き取り

eyi tule-leni eme guguda nede-xeni guguda jo-keci-uileni nede-xen
外(庭)に 高く 置き 高い 家の様な物の上に 置いた。

ju saman-me asen saman-me ju xaxa saman-me sauli-kini
2人のシャーマン 女 シャーマン 2人の男 シャーマンを 招き

eyi guguda jo-keci uile-duleni tadu toki-u-kune-xen tuinele jari-kune-ini
高い 家の 上に 上らせた。 歌わせた。

謡(62)

xelai xelila xele xelei xelilala xele xelila xelei

bude-xeni xani-meni ene-ki tadu exeji bi-le
死んだ 魂は 行き そこで 不遇だ。

xelai xelei

xergele bi-si xoton tousian-meni
手下の 村の 頭領、

saktul batule tousian gelen xoton
バトル、 頭領、 各村の

bayun gulun·meni saktul eme·rgi·le
裕福な人は、 来て

ayi gelen ayi jeke·we nuku·xele
色々 良い物を 送る。

xeli xelei xelileilei xelei

eyi tule·leni nio·ni marxon bi·le,
庭に 人が 沢山

gia yoxon·ji baleni saktul eme xala
別の村 場所から 来た人達

urken·we tokun·ni tousian saktul eme siangin bosu·we bur·xen
門の 中央の 頭領（門番）が 白い 布を 与えた。

xelilala xelei xelilei xelila xelei

謡終

alang (53)

Kante bude·xeni yilan ini ini tokon·du
カンタは 死んで 3日後 正午

Kerbuda axa·ni gulun·ni edu saktul giran·ni kere·duni bi·le
クルブダと奴隷たちは そこに 棺の前に いる。

edu giran·kere·duni bi·sin·duni “xe” eme nio eme asen nio ying·xen
この棺の前に 居る時 「フウ」と一人の人が 女が 入ってきた。

eyi Kante·du giran·dulen yixa·xen·du miakure·mi deriu·xen
のカンタの 棺の前で 進み 跪き

miakure·mi·du song·mi eskuli mangge·ji song·xele
跪き 泣き 大声で 泣いた。

eyi bi na·yi ba·yi ne·mi song·xele song·mi song·mi kere·tadu dudule·xeni
私の地 天 と 泣く 泣いて 泣いて そばに 横になった。

gelen nio xonji ene·le niani·me tiki·rgi·le xonji xodale dulan ini·keci xodale·kiti
皆は すぐ 駆け寄り 彼女を 起こし すぐ 叫ぶ 半日位 叫んだ。

sene·rig·ki
気が付いた

esi gelen-gulun ayiji yicici-xeni eyi nio esi Solaki eme-rgi-kini
皆は 見て この人は ソラカが 帰った。

Solaki xe gelen nio umbadu bakeci-mi gase cinganle-le
ソラカと人たちは 共に 再会し 挨拶した。

tuinemi ayiji yicici-rgi-mi edi douji-ni ayi yicici-rgi-ini
よく見ると 夫の顔を よく見ると

eyi niani douji-ni eskuli xa maci sekse-ni maci bi-le mangge-ji de gia-si da-syini
彼の 顔は 少し 血の気が 少しあり 多く 変わっていないので

tuinele medele-ini Kante bude-le adi ini da-xan
問う カンタは 死んで 何日 経つ。

eyi gelen nio xesu-ini yilan ini da-xan
人々は 言う 3日 経った。

Solaki eyi tuinemi eme caule muke da-u-le-xen
ソラカは 一杯の 水を 注がせ

na eyi yaxe-rgi-iti xebeli-siki eme okto-we tati-rgi eyi okto-we yaxe-rgi-le
開いて 懐から 薬を 取り出し 薬を 開いた。

nadan furgian xacin okto bi-le
七つの 赤い 種類の 薬が ある。

furgian xacin tule-keci gaji niani ayi okto-we yilan caule arki toxon-duni bi
赤い 種類を 外に 取り出し 彼女は 薬を 3 杯の 酒の 杯の中に 入れ

siangin muke-weji saktul caule embale nede-ini
白い 水を 湯呑に 入れた。

Kante-me Kante yikte-teni kantan-ji nale-ji aci-xen yikte-teni ya-re
カンタを カンタの歯は がっしり噛み 手で 開き 歯を 開き

okto-we amne-teni amne-dule amne-du-sikini nede-yini¹⁴⁶
薬を 口に 口に 口の中に 置いた。

nadan caule arki okto-we saktul xebele-duleni yao-u-kunexe
の七 杯の 酒の (杯の) 薬を 腹へ 流し込む。

Solaki te-le eyi furxi naxan-du alci-ini okto-ini Kante dao-kune-le ne-mi
ソラカは 座り 北のオンドルに 待つ 薬が カンタに 効いてくるのを。

¹⁴⁶ 元 daole-xen (注ぐ) を B が訂正。

esi gulun asen gulun saktul xesu-me xasuci-mi eme-rgi Ante ejin-du xedale-xele
下女 達が 話を 伝えに 来た。 アンタ・アジェンに 言う。

doldi-xeni eskuli agdene-le xonji ele eme-xen
聞いて 大変 喜び すぐ こちらへ 来た。

urke tate-le yiciciki-xen neu-ni asen te-le bi-le
戸を 引いて 見ると 弟の 妻が 座っている。

Solaki xergele da-xani te-le bi-le niani-meni yici-le aki-dui miakure-xeni
ソラカは 下に降り 座って 彼を 見て 兄に 跪いた。

第 22 章

alang (54)

Ante Solaki Tacila Yunjonbar Xurbin
アンタ ソラカ タチラ ユンジョンバル フルビン

guansile baite tousian gulun-ni mafu-sel gulun-ni olin du nio
監督の 頭領 達と 老人達 20人余り

eyi Kante giran-ni ti-xala-ni eme-xeni edu yicikici-iti
カンタの 棺の 人たちが 来て そこを 見守る。

maci bi-le doldi-xen Kante xebuli-ni "kilugulu kilugulu" dilgane-le
少しすると 聞いた カンタの腹が キルグル キルグルと 音がするのを。

tuinemi dulu amne-dule "xu" ne-mi siangin jake-we niu-xen
中から口から フーと 白い 物が 出た。

Solaki dili maci xenkisi-ni gelen nio-tiki xesu-ini
ソラカは 頭を 少し うなずき 皆に 言う

esi ejin ayiji yiciciki-lo Kante "xen" ne-mi eme dilgane-xen
「アジェンを よく 見てごらん。」 カンタは 「ヘン」と 一声出した。

tuinelele eme amne atekol jake-we temeri-xen
そして 一口の 汚い ものを 手探った。

tuinemi-du "eena enna" ne-mi xodale-mi deriu-xen
続いて エナ エナ と 叫び始めた。

ciule-mi¹⁴⁷ xodale-mi xodale-ini

呻き 叫ぶ 叫ぶ。 カンタは

nale-yi tati-rgi-le delbe-yi uileni bosu dasi-xeni aci-xen
手を 挙げ 顔の上に 布を 被せてあるのを 取った。

eleke yisale tura-kini
ゆっくりと 目を 開けた。

Solaki gelen-gulun saktul eyi jap-kere-duni Kante-we yicici-iti
ソラカと人たちは 周りに集まり カンタを 見る。

Solaki agdene-mi nale-weji edi nale-ni jafu-le xesu-ini
ソラカは 喜び 手で 夫の手を 掴み 言う。

edi-si sai-kisia Kante doldi-xeni song-mi xesu-ini
「夫よ 気が付きましたか。」カンタは 聞き、 泣きながら 言う。

bi asicim sini-we mangge-ji goni-mi unku bake-yi
「私は 大変 貴女を 大変 心配し 病気に なった。

esi busiku ba-leni ene-le sini-wo yicikici ne-mi goni
今 鬼の 陰界へ 行き 貴女を 見たいと 思い、

esi bude-ki de goni-yi agdene-le xesu-mi odi-le eme dan mangge-ji sogdun
死んでも よいと 思った。」 言い 終わると 一度 大きく 気を吐いた。

douji-duni yisale-ni sogdun-ni saktul marxon eui-xen
顔に 目に 気に 沢山 流れた。

Solaki sai-le ayi da-rgi-ini goni-le-dui
ソラカは 知る 良くなったと 考え

erge-ni eme-rgi-kini nio molin saktul gaji-rgi-kini
気を 出し 人 馬を 連れてきた。 erge は、気、命だが、命令ではない。

eyi bangkui¹⁴⁸ komaka xuyu-ini xuyu-le omi-kune-mi deriuxen
人參 鹿 を煮て 煮て 飲ませた。

eyi asen-ni nale-ji mene tadu Kante-we omi-kune ulu-ini Kante omi-xen
妻は 手で カンタに 飲ませ 与えると、カンタは 飲んだ。

tuinemi eskuli ayi da-xan dere dere-kere-duni te-rgi-xen aki-ni yicikici
大変 良くなった。 卓 卓の側に 起き上がり 兄を 見る。

¹⁴⁷ Bが「病人の声」という。

¹⁴⁸ Bは、「朝鮮人參」と言う。漢語にも「棒槌」とある。

gelen-gelen eyi tousian xala-ni saktul kere-duni yili-rgi-le yicikici-le
各 頭領 たちを 側に 立ち 見る。

謡 (63)

xelilala xelila xelilala xelila xelei xeleilei

謡終

esi Kerbuda yici-le ami sene-rgi-ini
クルブダは 見た 父が 蘇ったのを

agdene-mi xonji kere-duni ene-le miakure-xen
喜び すぐ 側に 行き 跪いた。

Kante yicile goni-du oni bisin goni-ini
カンタは 見て 心に どうしたのか 思う

medele-ini si ni-ni site-ni e
問う「貴方は 誰の子だ。」

Solaki julu-siki ene xesu-re
ソラカは 前に 行き 言う。

Kerbuda (jori-mi) xesu-ini
カルブダを 指差しながら 言う。

eyi si-ni site-si niani ene-le
「貴方の 子で、 彼は 貴方が戦いに出て

ju bia-keci bi-sin amile-si baldi-xen
2ヶ月 後に 生まれた。

eyi arni juan ju se
今年 十二 才。

bi niani gerbi-kune-xei Kerbuda ne-mi xodale-i
私は 彼を 名づけて クルブダと 呼ぶ。」

Kante doldi-le ayiji yicici-le site yicici-xen
カンタは 聞いて よく見る 子を見た。

agdenemi site-yi nale-weni jafe-ini
喜んで 子を 手で 掴んだ。

謡 (64)

xelilala xelei xelilala xelei xelilala xelei

niani saktul sai·kini

彼は 知っている。

eyisi asen·ni Solaki niani mini erge·meni eme·rgi·u·kune·xen

これは妻 ソラカが 私の 命を とり返らせたことを。

xelila xeli xelei xelila xelei

esi niani bei·duni saktul ayiji da·ren·kini

彼の 体が 良く 回復し、

tergele·ni duleni ocikoli da·xan

服の 中が 暑く なった。

xelilala xela xelilala xelei xelilala xelei

niani tergele·yi uisiki titi·rgi tergele·yi titi·rgi·xen tuinel aci·xeni

彼は 服を 上に 着た 服を 着ていたのを 脱いだ。

xelilala xele xelilala xele

esi Ante ejin gelen nio saktul siangin buso·yi aci·le·kune·xen

アンタ・アジェンは 人々に 白い 布を 脱がせた。

gelen nio agdene·mi duriu·xen

人々は 喜んだ。

xelilala xeli xelile

譚終

alang (55)

Ante eyi amadi ini goni·ini de oni bi·si de sai·syen

アンタは この数日 考えるが どうかのかわからない。

yade baite·we de gia de saktul Yunjonbar guansile·kune·xen

どんな事も 別の事も ユンジョンバルに 管理させた。

esi Kante baldi·rgi·kini Solaki site·yi gaji·rgi·mi eme·rgi·kini

今 カンタが 生き返り ソラカが 子を 連れて 帰ってきた。

gelen nio jog·ni umbadu ayiji da·kini eskuli agdene·le

皆は 家に 一緒に 良くなったので 大変 うれしい。

Kante Solaki ayi-ji nei-duni tako-rgi-le
カンタは ソラカが よく そこで 面倒をみ、

segulidi-ni¹⁴⁹ eyi kusule-ki da-kini
世話をすると 力強く なり、

aki-ni neu-yi embadu eskuli agdene-rgi-le
兄と 弟は 共に 喜んだ。

謡 (65)
xelei xelila xelei xelilala xele xelile xelei

謡終

eme ini Kante aki-tiki xesu-ini eyi gelen-gulun-me eyi bu-iti
ある日 カンタは 兄に 相談し 皆に 褒章を与える。

ju axandu ayiji xesuci-le tousian gulun-me xergi bi-si gulun-me
2人 兄弟 良く相談し 頭領たちに 手下の人たちに

saktul tadu jake-we bu-yi amadi ini ami-xiki bi-kini
その場で 賞を 与えた。 数日後

gelen tulule bi-si yoxon xoton-ni tousian-me saktul eme-rgi-kune-le embadu
各 外地の 村 街の 頭領に みな 来させ 集め

sunjia ini dao-kune-le
五日 待たせた。

buti julu arki solgi saktul gelen nio ayiji omi-kune jefu-kune
我ら 二人 酒 肴を 人々に 飲ませ 食べさせた。

tuinele buti ete-xei baite-we xesuci-uyi esi gelen nio saktul agdene-mi deriu-xel
我ら勝ったことを 宣言し 人々は 皆 喜んだ。

esi Kante yili-rgi mini euke-yi de bude-xen ekeci arne duo da-xan
カンタは 立ち上がり 私の 兄嫁は 死んで 多くの年が経った。

mini aki-yi Ante ejin asen de anci
私の 兄 アンタ・アジェンは 妻が いない。

bi goni-yi eyi Tacila-we niani-dule asen da-kune-le
私は 思うに タチラを 彼に 娶ら せよう。

¹⁴⁹ 「世話をする」とBが言う。

gelen nio tiaxele-yi anci o xesu-mi mete-cen
人々は 賛成か 反対か? (反対を) 言わない。

gelen nio saktul nale-yi facikala-mi ayi ne-mi xodale-mi deriu-xen
人々は 手を たたき 同意したと 叫んだ。

Yunjonbar yuan suai yili-rgi-le ekin xesu-ini ejin-me ayiji nele-le
ユンジョンバル元帥は 立ち上がり 姉に 言う 「アジェンを 大切に。

tenele tomoki siun degde-ini erin su embadu eme-le
翌日 太陽が 昇った 時 貴方方は 共に 来て

ba-tiki na-tiki miakure-mi edi-asen da-xati
天に向かい 地に向かい 跪き 夫婦となる。」

eyi yilan ini sauli-xen
三 日 婚礼をし

gelen nio Ante ejin gelentousin gulu-meni (jake-we bu-xen)
人々に アンタ・アジェンは 各 頭領に 賞を与えた。

gelen nio saktul agdene-iti
人々は 喜び

amile furgian yakte xoton-du ejin-ni asen-meni
後 赤毛 村の アジェンの妻を

eyi Yunjonbar-du tadu yaxan dao-kune-iti
ユンジョンバルの 所の 下女に させた。

eyi Erbaile asen-meni Xurbín-du bu-xeti
エルバイラ の娘を フルビンに 与えた。

gelen tousian xala-ni saktul eyi asen-du bake-le
各 頭領 たちは 女を 得て

tuinele mene bi-si ba-dule xerbe-rgi-le
自分の 領地に 連れ帰る。

Kante agdene-mi jari-mi deriu-xen
カンタは 喜び 歌う

謡(66)

xelila xelila xelilala xelei xelilala xelei

eyi esi eme torki-xen-keci da-xai
今 夢をみた様 だ。

xelilala xelila xelilala xelei

buniu emedan xuli-xei

私は 陰界へ 一度 行った。

xelilala xelila xelei

mini asen-yi mini-we xoni-meyi gaji-rgi-xeni

私の 妻が 私を 魂を 持ち帰った。

xelei xelei xelilala xelei

esi gelen saman-ni enduli-ni seun-ni katan

各 シャーマンの守護神 霊は すごい力だ。

esi eyi okto-we-ni mini-we gaji-rgi-xeni

薬を使い 私を 連れ帰った。

xelila xelei xelilala xelei

mini-weyi yicile-cei site-yi site yicikici-xei Kerbuda

私に 会った事のない 子に 子に 会った。 クルブダ。

xelila xelilala xelei

esi ayiji baldi-uxen ayiji baldi-uxen

よく 生き抜き よく 生き抜いた。

esi-ji amile-kiti forgun-tiji baldi-uyi baldi-uyi

今後 幸福に 暮らす 暮らす。

mini goni-yi eskuli agdene-le-xeyi

私の 心は 喜んだ。

esi age-yi asen-ni Tacila

今 兄の 妻 タチラ。

xelilala xelei xelila xelei

niani-meni ti-gulun-mi ayiji forgun-ji baldi-u-kune-lo

彼を 幸福に 暮らさせたまえ。

etiki ami-siki bu eme joni embadu agdene-mi (baldi-uyi)

今後 我ら 一家 共に 楽しく 暮らし

giaokuto¹⁵⁰ baldi-sye
乞食の様に 暮らさない。

xelila xelei xelilalal xelila

謡終

第 23 章

alang (56)

ekeci ini xonji da-xani tuinemi adi arne da-xan
この様に 日は 早く過ぎ 多くの年を 経った。

eyi arne-ni Ante ejin niuju se-le da-xani
この年 アンタ・アジェンは 60 歳に なった。

ju bia sunjia ini-duni bude-xen
二月 五日 (アンタは) 死んだ。

ti erin Kante goni-ni eskuli exele tonggu unu-le
この時 カンタの心は 非常に 胸が 痛んだ。

goni-rgi-le yisikuli-dui ani ami bude-kune-le
思い起こすと 小さいとき 母 父に 死なれて

aki mini-we uji-xen sagdi dao-kune-xen
兄は 私を 養い 大きく 育てた。

eyi bi xe niani-meni xai ayiji ne-mi da-cen-dui niani ene-xen
私は まだ 彼に 恩返し しない内に 彼は 逝ってしまった。

emergele goni-rgi-mi emergele song-ini
こ思い起こしながら 泣いた。

Tacile Solaki emergele song-mi emergele xesu-le
タチラと ソラカは 泣きながら 言う

aji goni eji goni-le cuan¹⁵¹-le tuinemi song-sye da-xani
悲しまないで 悲しまないでと 勧める 泣きやんだ。

eyi bude-xeni baite-weni saktul ne-mi odi-le
葬 儀を し終え

¹⁵⁰ 「乞食」の意味と B は言う。

¹⁵¹ 勧 (漢語) ayi-ji xesu-kisi と言い換えることが出来ると B が説明。

Yunjonbar Xurbar zong¹⁵² guansile gulun xergile gelen tousian gulun
ユンジョンバル フルバル 管理する人と、 手下の各 頭領 たちが

eme eme·dule umbadu Kante·ni xesu·iti
来て 一斉に カンタに 言う、

esi Ante ejin bude·xen xoton·dulen ejin anci da·xan
アンタ・アジェンが 死に、 村に アジェンが いなくなった。

gelen nio sini·we ejin dao·kune·le
皆は 貴方を アジェンに させたい。

Kante gelen nio xesu·dui tiaxe·le·xeni
カンタは 皆が言うことに 応じた。

Ante ejin asen·ni Tacile eyi arne gosin niu se
アンタ・アジェンの妻 タチラは 今年 三十六歳、

tuinemi askete edi·ni anci da·xan aci·rsyen
若い 夫が 居なくなるのは よくない。

eyi ini niani·meni neu·ni asen·ji neu·le asen·ni
この日 タチラは 弟の妻

Yunjongbar de asen·ni Fuca dedu eyi song·mi xesu·ini
ユンジョンバルの妻 フチャ・ダドに 泣いて 言う。

amile Fuca dedu eyi baiti·we Yunjonbar xesu·xeni
後で フチャ・ダドは 事を ユンジョンバルに 話した。

Yunjonbar Xurbin xe¹⁵³ guansile·yi tousian·yi xodale·rgi·le
ユンジョンバルは フルビンと 管理する頭領を 呼び、

yilan nio embadu xesuci·iti na·nio·ni baite·ni koli·ni
三人が 共に 相談した。 ホジェンの 物事の 規則では

Kante ejin eyi ejin asen·meni bude·xen ejin asen·meni gade·rgi·ini aci·le
カンタ・アジェンが アジェンの妻を 死んだアジェンの妻を 娶るのは 正しい。

tumaki buti¹⁵⁴ Kante·dule ene·le xesu·yi
翌日 彼らは カンタの所へ 行き 言う、

152 惠 (漢語)

153 和 (漢語)

154 ti·gulun が正しい。

ti-gulun eyi baite-we Kante ejin xesu-xele
彼らは この事を カンタ・アジェンに 説明した。

Kante doldi-le tiaxe-le-syen Solaki sa-le eyi baite-we da-xei
カンタは 聞いても 応じない。 ソラカの 知る 事に なった。

xonji eme-le Kante xesu-ini eyi Tacila buti aki de asen da-xani
すぐ 来て カンタに 言う 「タチラは 私たちの兄の妻 だった。

esi ti si niani-meni edi-asen dao-kune-xeni esi akini bude-xeni
それは 貴方と彼女が 夫婦に させられる。 兄が 死んで

Tacila asikte si tiaxe-le-syen tui nio oni ne-u-kune-si
タチラは 若く、 貴方が 同意しない。 人に どうされるか」

Kante doldi eyi baite-we doldi-xeyi yade xesu-cen
カンタは 聞いて この事を 聞いて 何も 言えない。

gelen nio saktul ekeci xesu-le tuinemi tiaxe-le-syen de tiaxe-le-xen
皆は この様に 言うのを 応じざるを 得ない。

eyi gelen-gulun yilan bia juan sunjia eyi ini embadu baldi-le-kune-yiti
皆は 三月 十五日 共に 祝福され

edi-asen dao-kune-xiti
夫婦と なった。

謡 (67)

xelilala xelila xelila xelilala xelei xelilei xelei

謡終

eyi erin-du yisa-cen-du gelen tousian gulun arki-we solgi-we saktul belci-xen nede-xen
それ以前に、着かない内に 各頭領達は 酒 肴を 準備した。

ti erin-du yisa-xeni siun furgian-ji garfu¹⁵⁵-xeni gelen tousian-ni xala-ni eme-le
その日になると 太陽は 赤く 照らし 各 頭領たちが 来て

Kante Tacile embadu ba-du na-du miakore-mi edi-asen da-xan
カンタとタチラは 共に 天 地に 跪き 夫婦と なった。

gelen nio Kante ejin xesu-ini Solaki sagdi asen Tacile ju asen-yi
皆に カンタ・アジェンは 言う ソラカは第一妻 タチラは第二妻。

¹⁵⁵ 元 degde (昇る) を B が訂正。

bu yilan embadu arki-omi-le laoke-le
彼ら三人は 共に 酒を飲み 話しをする。

Kante Yunjonbar eji-ki tousian¹⁵⁶da-u-kune-le
コカントは ユンジョンバルを 東の役所の頭領に させ

ti erin olin eme se Xurbin olin eme se sagdi asen site-ni gade-kune-xeni
そのとき 二十一歳、フルビンの 二十一歳の 長女を 娶らせた。

謡 (68)

xelila

謡終

adi arne da-xen Kante ejin dexi yilan se
多くの年が 過ぎ カント・アジェンは 四十三 才で

ti erin eme bia olin sunjia ini-duni niani Solaki-ji embadu te-le
その時の 一月 二十五日に 彼と ソラカは 共に 座り、

arki-omi-mi bi-le ediasen edu te-le omi-mi omi-mi bude-xele
酒を 飲んでいたとき 夫婦は 座り 酒を飲みながら 死んだ。

tu-gulu niani site-ni Kerbuda xerbe-mi gelen-nio naini-me tule-siki xerbe-le
彼らの 子 クブダは 皆を 連れて 神前に運び

umubu-xen¹⁵⁷ amile ejin dao-kini bolo erin Kerbuda ejin
埋葬した。その後 アジェンに なった。 秋 カブダ・アジェンは

Xurbin-me xerbe-mi urken-dule adi nio ene-le wa-keci-xeti
フルビンを連れ 山に 多くの人を行かせ狩をした。

eme xuli-mi xuli-mi yici-xen eme edin sagdi edin eme-xen
進み 進み 見ると 風が 大風が 吹いてきて

tuinemi syolun jolo fulgi-ini saktul degde-mi duriu-xen
砂 石が 吹き 飛んだ。

ba-de yicikici-syen da-xan na-du ya-de bi-si de sai-syen
空も 見えない。 地上の 何処に居るのか 分からない。

Kerbuda bosiku-yi xerbe-mi yale ene de sai-syen da-xani
カブダは ブシクを 連れて 何処へ 進むか 分からなく なった。

¹⁵⁶ 元 jule tadu (南の役所) を、B が訂正。

¹⁵⁷ 元 fasongle 「發送 (漢語)」を B が訂正した。

tuinemi eyi erin eme molin sejin edin·dulu duleni niu·xen
そのとき 一台の馬車が 風の中から 出てきた。

uileni te·xeni eme xaxa eme asen ju nio
上に 座った 男 女 二人が 乗っていた。

Kebuda bosiku ui·siki ene·le (xokto) medele·kini medele·xe
カブダは ブシクに 上に上らせ 道を 尋ねさせた。

ti busiku eme·rgi·le Kerbuda·tiki xesu·ini
ブシクは 戻ってきて カブダに 言う、

sejin·du bi·si ti nio xaxa·nio baldi·xeni eme·tiki ejin ami·si keci bi·le
車に乗っている人 男の人は あのように 貴方の父に 似ている。

Kerbuda doldi·xen xonji molin·dule toki·le sejin·kere ene
カブダは 聞いて 直ぐ 馬に 乗り 車の方へ 行き

sejin·me asekte·le yicikikini yaosiki asikte de yicikici·syei
車を 追い 見るが どの方向に 追っても 見えない。

Kerbuda goni·ini eme·le yicici·cen yade yicici·cen
カブダは 思う 来たが 見えない 何も 見えない。

eyi ju nio kesi¹⁵⁸ enduli saman·ki
この2人は 神 シャーマンの

tuinemi ami·eni enduli da·le ne·xele goni·ini
父 母が 神に なったのかもしれない と思った。

niani xerbe·mi busiku agdene·mi mete·syen urken xergele·siki ene·xele
彼は ブシクを 連れ 喜ばず 山麓へ 行った。

Xerbin eyi colo·(anku)·kere·duni acile bi·le
ヘルビンが 草アंकの近くに 待っていた。

unakami eme·rgi·syen Kerbuda xesu·ini
そっと 帰らない。 カブダに 言う、

esi bu esikuli goni·me ya exele xonji ukesin·kini xodale
「私たちは 心配して 直ぐ 人に 命じ

eyi furgini·jake·yi gelen nio gelt·rgi·le anci
吹いてきた物を 皆 探したが 何もない。

¹⁵⁸ 可是 (漢語)

tuinemi embale bake·rgi·le eme·rgi yime·jake baite niu·ini
ここで 出会い 帰る。 一体何 事が 起こったか。」

Kerbuda xokto medele·ini tadu yici·xen sejin·du te·xeni nio esikuli
カブダは 「道を 尋ねたとき そこに見た 車に 座った 人は

mini ami eni keci emedali emedi erin tadu guidami de medele·cen
私の 父 母に 似ていた。 そのとき そこで 長い間 (自分で) 聞かなかった

men·siki medele·xei ayi bi·si¹⁵⁹

自分で 尋ねたら よかったのに (後悔した)。

Xurbin doldi·xeni xesu·ini xonji ene·le giran·meni demgele·iti yicikici·uyi
フルピンは 聞き、 言う すぐ 行って、棺を 開いて 見よう。

yicici·le tile sai·uyi Kerbuda doldi·xeni tuinemi gelen nio
見れば それが 分かる。 カブダは 聞いて 人を

xonji molin·du toketi·kune·xele dollbu·du jo·jule xoton·dule ene·xele
直ぐ 馬に 乗り様に命じ 夜のうちに 家へ 村へ 行った。

tumaki erde ti·gelen nio saktul ejin Kante Solaki·ni giran·duleni eme·xele
翌日 朝 彼らは アジェン カンタ ソラカの棺の所へ 来て、

giran·meni demgele·le yicici·xeni duleni yade anci
棺を 開けて 見ると 中に 何も ない。

gelen gulun xonji miakure·mi eyi·ji jule·kisi miakure
皆 すぐ 跪き 東 南に 額づく。

se·ni sagdi tousian gulun sai·le eyi Solaki fusian
年老いた 頭領たちは 知っている ソラカは 狐仙であり

niani eyi sifa·le·ni marxon ejin·me niani·meni gase xerbe·le enduli da·kiti
彼女は 術が 多く アジェンと 共に 連れだって 神に なったと。

Kerbuda ami eni enduli dao·kune·le
カブダは 父 母が 神に 祭り

esikuli agdene·mi deriu·xen goni·duyi
大変 喜んだ 心で。

謡 (69)

xelilala xelila xelila xelilala xelila xelei xelilei

¹⁵⁹ 元 xokto medele·le yicici·le da·xan·dule da·xan を B が訂正。

mini ami-yi saman mini eni-yi fusian
私の 父は シャーマン、母は 狐仙、

ti julu eme jalan gelen nio keci embadu eyi baldi-mi odi-xeti
2人は 一生 人のように 一緒に 過ごし 終えた。

xelilala xelila xelalila xelei

tuinemi munu-we gase ayiji baldi-u-kune-iti
私たちを 共に 生かせる。

munu gelen gulun-ni forkun-ji goro-ji baldi-u-kune-iti
私たち 幸福に 長く 生活させる。

xelei xelei xelei xelilei xelei

niani-meni ju sagdi gulun bude-le enduli da-xani
彼ら 二人 老人は 死んで 神に なり

bale tukti-xeti
天へ 上った。

xelilala xelei xelilala xelei xelei

ami eni-yi ba-duleni ayi-ji
父 母は 天に

forkun-ji tumen arne-ni ayi-ji baldi-lo ayi-ji baldi-lo
幸福に 万 年 生きろ 生きろ。

xelila xelila xelilala xelei

forkun-ji tumen arne-ni ayi-ji baldi-lo ayi-ji baldi-lo
幸福に 万 年 生きろ 生きろ。

謡終

geigen
個功